

14.4-519
1200501206979

14.4
519



始



昭和五年十二月發刊

上水道統計及報告

第八十號

(以印刷代謄寫)

上水協議會

144-179

目次

- 一 上水協議會ノ沿革 一
- 一 上水協議會々員加盟年月表 一
- 一 上水協議會開催年月表 六
- 一 上水協議會規則 七
- 一 協定事項 七
- 一 協定上水試験法 四七
- 一 統計諸表様式 四七
- 一 上水道職工工夫取締同盟規約其他 五七
- 一 上水協議會ノ職員 六〇
- 一 昭和六年度上水協議會歳入出豫算 六一
- 一 昭和五年度 上水協議會豫算對照表 六五
- 一 昭和六年度 加盟各所負擔額對照表 六七
- 一 昭和六年度上水協議會々費負擔額調 六九



發行所寄贈本

一 上水協議會財產目錄.....	七五
一 自昭和六年度 濾過速度調査費繼續年期及支出方法 至昭和八年度.....	八〇
一 昭和五年度上水協議會歲入出追加豫算.....	八二
一 昭和四年度上水協議會歲入出決算.....	八四
一 水道統計.....	九一
第一、工事、工費並規模.....	九一
第二、水源、水路.....	一〇九
(其一) 水 源.....	一一九
(其二) 鑿 井.....	一二七
(其三) 原水貯水池.....	一三五
(其四) 導 水路.....	一三五
第三、淨 水場.....	一四五
(其一) 沈 澄 池.....	一五二
(其二) 濾 過 池.....	一五二
(其三) 淨 水 池.....	一六一

發行者 寄贈本

第四、唧 筒.....	一七一
(其一) 取水唧筒.....	一七九
(其二) 送水唧筒.....	一九二
第五、水管並水壓.....	折込表
第六、經常收支.....	二一一
(其一) 收 入.....	二二一
(其二) 支 出.....	二二一
第七、配水實費.....	二二九
第八、水道ト河井トノ使用比較.....	二二九
第九、水質試驗成績.....	二三九
(其一) 濾過水質試驗成績.....	四〇二
(其二) 各種水質試驗成績.....	四六五
第十、源水濾過水比較試驗成績.....	五三二
第十一、水ニ因スル三病比較表.....	五八四
第十二、水質完全分析成績.....	三

一報 告

- (一) 會員異動……………六五五
- (二) 建議書提出ノ件報告……………六五五
- (三) 度量衡法改正方陳情ノ件報告……………六七二

上水道統計及報告第十八號

上水協議會ノ沿革

上水協議會ハ改良水道ヲ有スル全國各所ノ當事者會同シ上水道ニ關スル諸種ノ事項ヲ研究シ且相互報告類ヲ交換スル目的ヲ以テ明治三十七年東京市ノ首唱ニ依リ成立シタルモノニシテ爾來毎年一回各所輪番ニ開催シ其ノ費用ハ全部主催地ニ於テ負擔スルヲ例トシタルモ本會ノ振興發展ヲ期スル爲從來ノ制度ヲ變更シテ本會ノ經費ハ之ヲ會員ノ負擔トシ且本會ニ於テ上水道ニ關スル統計報告其ノ他ノ事項ヲ輯録刊行シ會員ニ配付スルコトトナリ大正十一年度ヨリ之ヲ實施セリ

上水協議會會員加盟年月表

會員名	所 在	加 盟 年 月	會員名	所 在	加 盟 年 月
東京市	東京府	明治三十七年三月	横濱市	神奈川縣	明治三十七年三月
大阪市	大阪府	同	長崎市	長崎縣	同
神戸市	兵庫縣	同	廣島市	廣島縣	同

木浦府	石卷町	桑名町	淀橋町	足利市
朝鮮全羅南道	宮城縣牡鹿郡	三重縣桑名郡	東京府	栃木縣
昭和四年六月	同	同	同	同
四日市市	宮崎市	直方町	岐阜市	計
三重縣	宮崎縣	福岡縣	岐阜縣	一二五箇所
昭和五年八月	同	同	同	同

目黒町	高砂町	釜山府	荒玉町	仁川府	長岡市	前橋市	大津市	群山市	鎮南浦府	平壤府	五所川原町	川崎市	大泊町	豐橋市	金澤市	豐原町	大邱府	
東京府在原郡	兵庫縣加古郡	朝鮮慶尙南道	朝鮮慶尙南道	朝鮮京畿道	新瀉縣	群馬縣	滋賀縣	朝鮮全羅北道	朝鮮平安南道	朝鮮平安南道	青森縣	神奈川縣	樺太縣	愛知縣	石川縣	樺太縣	朝鮮慶尙北道	
大正十五年四月	同	同	同	同	同	同	同	同	昭和二年四月	同	同	同	同	同	同	同	同	
			七月		八月	九月	十月										五月	
若松市	青島市	新發田町	大分市	株式會社	中津市	新義州府	明石市	松山市	伊東町	八幡市	箱根市	鐵道株式會社	戶畑市	咸興府	高岡市	姬路市	豐岡市	靜岡市
福島縣	東京府	新潟縣	北蒲原郡	大分縣	大分縣	朝鮮平安北道	兵庫縣	愛媛縣	靜岡縣	福岡縣	神奈川縣	下郡小田原町	福岡縣	朝鮮咸鏡南道	富山縣	兵庫縣	兵庫縣	靜岡縣
昭和二年六月	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
					三年四月													
			七月	八月	五月	六月	六月	七月	七月	八月	四月							六月

上水協議會開催年月表

主催地名	開催回次	開催年月	主催地名	開催回次	開催年月
東京市	第一回	明治三十七年三月	臺灣總督府	第十五回	大正七年十一月
大阪市	第二回	同 三十八年十月	大阪市	第十六回	同 八年十月
長崎市	第三回	同 三十九年十月	小樽市	第十七回	同 九年八月
横濱市	第四回	同 四十年七月	横濱市	第十八回	同 十年九月
神戸市	第五回	同 四十一年九月	名古屋市	第十九回	同 十一年十月
臺灣總督府	第六回	同 四十二年九月	甲府市	第二十回	同 十二年十月
廣島市	第七回	同 四十三年十月	小倉、門司、若松三市聯合主催	第二十一回	同 十三年十月
東京市	第八回	同 四十四年十月	高崎市	第二十二回	同 十四年十月
岡山市	第九回	大正 元 年十月	京城府	第二十三回	同 十五年十月
朝鮮總督府	第十回	同 二年十月	鹿兒島市	第二十四回	昭和 二年十月
新潟市	第十一回	同 三年十月	函館市	第二十五回	同 三年七月
佐世保市	第十二回	同 四年五月	臺灣總督府	第二十六回	同 四年九月
京都市	第十三回	同 五年十一月	福岡市	第二十七回	同 五年十月
京都市	第十四回	同 六年八月			

上水協議會規則

第一章 總 則

大正六年第十四回會議ニ於テ組織變更動議成立
 大正九年第十七回會議ニ於テ改正規則議決
 大正十一年第十八回會議ニ於テ改正規則實施議決
 大正十二年第十九回會議ニ於テ第三條一項追加
 大正二十三年第二十回會議ニ於テ第二十一條追加
 大正二十五年第二十一回會議ニ於テ第六條第九條改正

第一條 本會ハ上水道ニ關スル諸般ノ事項ヲ研究調査シ其ノ改良進歩ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ上水協議會ト稱ス

第三條 本會ハ官廳市區町村會社等ニシテ上水道ヲ經營スルモノ及上水道敷設計畫中ノモノヲ以テ會員トス

官廳ニシテ直接水道ノ經營ヲ爲ササルモ官公署ノ施設經營ヲ監督スルモノハ前項ノ會員ト看做ス

第四條 本會ハ第一條ノ目的ヲ以テ達スル爲會議ヲ開催シ水道統計類ヲ輯録シテ會員ニ配付ス

第五條 本會ニ關スル事務ヲ處理スル爲理事一名ヲ置ク

理事ハ會議ニ於テ會員中ヨリ出席會員之ヲ選舉ス投票同數ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

理事ハ名譽職トシ其ノ任期ハ二箇年トス但シ重任スルコトヲ得

第六條 本會ニ主事一名書記其他ノ職員若干名ヲ置ク

前項ノ職員ハ有給トシ理事之ヲ任免ス但シ其ノ一部ヲ無給トスルコトヲ得
職員ノ給與其ノ他ニ關シ必要ナル事項ハ理事之ヲ定ム

第二章 職務權限

- 第七條 理事ハ會議ノ都度次年度ノ豫算ヲ提出シ且前年度ノ收支決算ヲ報告スヘシ
- 第八條 理事ハ現金ノ收支並水道統計類議事録ノ編纂刊行ニ關スル事務ヲ總理ス
- 第九條 主事及書記其ノ他職員ハ理事ノ指揮ヲ受ケ會務ニ従事ス

第三章 會 議

- 第十條 會議ハ毎年一回之ヲ開キ會員ヨリ提出シタル議案其ノ他ノ事項及豫算決算ヲ議決ス
會議開催地ハ前年ノ會議ニ於テ豫メ之ヲ定ム
- 第十一條 會議ノ招集、會議ノ議長其ノ他會議ニ關スル一切ノ事務ハ開催地會員之ヲ擔任ス
- 第十二條 開催地會員ハ理事ト協議ノ上内務省其ノ他關係當局ニ對シ會議ニ臨席ヲ請求スヘシ
- 第十三條 會員ハ其ノ代表者ヲ會議ニ出席セシムヘシ
- 第十四條 會議ノ議事ハ出席會員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ據ル
- 第十五條 會議ハ議案其ノ他ノ事項ヲ調査スル爲委員ヲ設クルコトヲ得
- 第十六條 委員ハ出席會員中ヨリ之ヲ選舉ス但シ議長ノ指名ニ委スルコトヲ得

第十七條 委員會ハ委員長一名ヲ互選スヘシ

第十八條 委員及委員長ノ選舉ハ無記名投票トシ比較多數者ヲ以テ當選者トス同數者アルトキハ抽籤
ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 委員長ハ委員會ヲ招集シ議事ヲ整理シ其ノ經過及結果ヲ會議ニ報告スヘシ

第二十條 委員會ハ委員半數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開クコトヲ得ス其ノ議決ハ過半數ニ依リ
之ヲ決ス可否同數ナルトキハ委員長之ヲ決ス

第二十一條 議長ハ必要ニ應シ分科會ヲ設クルコトヲ得

分科會ニ於テハ委員會ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十二條 開催地會員ハ會議終了後議事録編纂ニ要スル一切ノ資料ヲ理事ニ回附スヘシ

第四章 水道統計類及議事録

第二十三條 水道統計類ニハ上水道ニ關スル統計、報告其ノ他ノ事項ヲ輯録シ議事録ニハ議事、講演
其ノ他會議ニ關スル事項ヲ掲載ス

第二十四條 水道統計類ハ毎年六月及十二月ノ二回ニ議事録ハ次回會議開催二箇月以前ニ發刊ス但シ

協定ニ依ル統計表ハ十二月發刊ノ分ニ掲載ス

第二十五條 水道統計類及議事録ノ配布部數ハ會議ニ於テ之ヲ決ス

第五章 會 計

第二十六條 本會ノ經費ハ會員之ヲ負擔ス

前項ノ經費ハ其ノ半額ヲ均分シ他ノ半額ハ左ノ標準ニ依リ按分シテ之ヲ定ム但シ水道敷設計畫中ニ係ル會員ノ按分率ハ各其ノ二分ノ一トス

級 別	會 員	別	按分率
一 級	臺灣總督府、朝鮮總督府、關東廳、南滿洲鐵道株式會社	十 萬以上ノ市區町村	一〇〇
二 級	總 戶 數	三十萬以上四十萬未満ノ市區町村	九〇
三 級	同	二十萬以上三十萬未満ノ市區町村	八〇
四 級	同	十五萬以上二十萬未満ノ市區町村	七〇
五 級	同	十萬以上十五萬未満ノ市區町村	六〇
六 級	同	五萬以上十萬未満ノ市區町村	五〇
七 級	同	三萬以上五萬未満ノ市區町村	四〇
八 級	同	一萬以上三萬未満ノ市區町村	三〇
九 級	同	五千以上一萬未満ノ市區町村	二〇
十 級	同	千未満ノ市區町村	一〇

前項ノ戶數ハ前年末現在數ニ依ル

第二十七條 前條ノ負擔額ハ毎年四月一日ヨリ六月末日迄ニ理事ニ納付スヘシ

新ニ入會シタルモノノ負擔額ハ當該年度ニ於ケル同一級會員ノ負擔額ニ依リ月割ヲ以テ隨時指定期限内ニ納付セシム其ノ級別ニ據リ難キモノハ會議ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム年度ノ中途ニ於テ退會スルモ當該年度ノ負擔額ハ之ヲ納付セシム

第二十八條 會議ニ要スル費用ハ開催地ノ會員ノ意見ヲ徵シ理事之ヲ定ム

前項ノ費用ハ開催地會員ヨリ現金ノ前渡シヲ請求スルコトヲ得

第二十九條 開催地會員ハ會議終了後直ニ會議費精算書ヲ作り理事ニ提出スヘシ

第三十條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月末日ニ終ル

第三十一條 本會ノ現金ハ信用アル銀行ニ預ケ入レ之ヲ出納スヘシ

第三十二條 豫算各費目ハ之ヲ流用スルコトヲ得

第三十三條 決算ノ結果剩餘金ヲ生シタルトキハ之ヲ準備金トシテ積立ツ

第三十四條 準備金ノ處分ハ會議ノ議決ニ依ル

第三十五條 收支計算上錢位未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ四捨五入ノ法ニ依ル

附 則

第三十六條 本規則ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十七條 本規則ハ會員ノ三分ノ二以上出席シ其ノ過半數ノ同意アルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第三十八條 協定上水試験法及協定事項其ノ他本則ニ牴觸セサル事項ハ從前ノ協定ニ依ルモノトス

●協定事項

●協定上水試験法(大正十五年第二十三回上水協議會ニ於テ改正議決)

第一 採 酌 法

一、上水試験用ノ採酌ハ左ノ三部ヨリスルコト。

(一) 水 源

毎年春秋ノ二季ニ水源適宜ノ地ニ就キ採酌ス。

水源池ニ沈澄池ヲ有スルモノハ本條ニ據ル。

其他ハ必要ニ應シ臨時採酌ヲ行フヘシ。

(二) 淨 水 場

濾池、淨水池、溜井及沈澄池ハ毎日一回採酌スルコト。

濾池、淨水池、溜井等甚々遠隔スルモノハ其ノ給水栓ニ就キ本條ヲ適用ス。

事情ニ依リ一週一回迄ハ省略スルコトヲ得。

(三) 給 水 栓

適宜ノ部分ニ就キ時々採酌スヘシ。

二、採水器具ハ「ハイロート」氏法或ハ「エスマルヒ」氏法ニ據ルモノヲ用フルコト、但シ細菌學的検査用ノモノハ各個ノ瓶ニ所屬スル全装置ヲ殺菌スヘシ。

三、濾池、淨水池、溜井等ニ於テハ可成周圍及ヒ深サノ中央ヨリ採酌スルコト。

四、給水栓ヨリ採酌スルトキハ充分開放シテ五分時以上放流セシメタル後採酌スルコト。

五、一定所ニ於ケル採酌ハ細菌學的検査用ノモノヲ先ニシテ化學的検査用ノモノヲ後ニスルコト。

六、濾池、淨水池、溜井ニ於テ採酌スル場合ニ被蓋アル部ニシテ降雨ノ際ナルトキハ開放ノ爲ニ汚水混入ノ虞アルヲ以テ暫時ノ後水質平均スルヲ待ツテ採酌スルコト。

第一 理化學的試驗

凡 例

- 一、本試験法ニ於テ使用セル略字、記號、度量衡ハ總テ第四改正日本藥局方ノ規定ニ據ルコトトセリ。
- 二、試験ハ製法及ヒ含有量ニ關シ特別ノ記載アルモノ竝ニ現行日本藥局方外ノモノヲ除ク外、第四改正日本藥局方ノ規定スルモノヲ使用スルモノトス。
- 三、單ニ「プロセント」トアルハ重量「プロセント」ヲ示スモノニシテ、溶液百重量中ニ存スル藥品ノ重量ヲ指スモノトス。
- 四、容量「プロセント」ハ溶液百容積中ニ存スル藥品ノ容積ヲ指スモノトス。

試験法

一、溫度

水溫ハ採酌所ニ於テ「ベッテンコーフェル」氏採水檢溫器ヲ以テ測リ、氣溫ハ可成採酌所ニ近キ處ニ於テ日光ノ直射ヲ避ケテ測ルヘシ、而シテ其ノ測定時間ハ十分時間、示度ハ攝氏ニ依ルモノトス。

二、濁度

檢水百立方センチメートル(100c.cm.) (濁濁甚タシキ場合ハ少量ヲ採リ蒸餾水ヲ以テ百立方センチメートル(100c.cm.)ニ稀釋ス)ト濁度既知ノ標準液トヲ各別ノ「ネスレル」管(無色平底硝子管ニシテ管底ヨリ二十センチメートル(20cm.)ノ所ニ百立方センチメートル(100c.cm.)ノ度目

ヲ有スルモノ)ニ採リ、黒紙上ニテ上方ヨリ透視シテ濁度ヲ定ム。但シ、濁度ハ蒸餾水一リートル(1l)中ニ白陶土一ミリグラム(1mg)ヲ含ムモノヲ以テ一度ト定ム。

三、色度

檢水百立方センチメートル(100c.cm.)ト色度既知ノ標準液トヲ各別ノ「ネスレル」管ニ採リ、白紙上ニ置キ上方ヨリ透視シ比色檢定ス。但シ色度ハ四萬倍「ビスマルクブラウン」水溶液一立方センチメートル(1c.cm.)ヲ蒸餾水ヲ以テ稀釋シ、全容積ヲ一リートル(1l)トナシタルモノヲ一度ト定ム。

四、臭味

檢水百五十立方センチメートル(150c.cm.)ヲ内容五百立方センチメートル(500c.cm.)ノ共口「エルレンマイエルコルベン」ニ採リ、栓塞シ重湯煎又ハ熱板上ニテ殆ント沸騰スルニ至リ、五分間放冷シ振盪シテ臭味ヲ檢ス。

五、反應

反應ハ「ロゾール」酸溶液ヲ以テ檢ス。評語ハ「弱酸性」「中性」「弱アルカリ性」及ヒ「アルカリ性」トス。

「ロゾール」酸溶液製法

「ロゾール」酸一グラム(1g)ヲ八十容量「プロセント」「アルコール」五百立方センチメートル(500 c.cm.)ニ溶解シ茲ニ得タル橙黄色ノ液ニ「バリット」水ヲ加ヘテ液色ノ正ニ赤色ニ變セントスルノ度ニ至ラシム。

「バリット」水ノ製法

「アルカリ」ヲ含マサル純粹ナル水酸化「バリウム」三・五グラム(3.5g)及ヒ「クロルバリウム」〇・二グラム(0.2g)ヲ蒸留水ニ溶解シ、全量ヲ一リートル(1l)トナシ靜置シテ偶々存在スル炭酸「バリウム」ヲ沈定セシムヘシ。

(イ)「アルカリ」度ノ測定

檢水百立方センチメートル(100c.cm.)ヲ内容二百五十立方センチメートル(250c.cm.)ノ共口「コルベン」ニ採リ、「エリトロシン」溶液一立方センチメートル(1c.cm.)(及ヒ中性ノ「クロロホルム」五立方センチメートル(5c.cm.)ヲ加ヘ振盪シ、此際「クロロホルム」カ蔷薇紅色ヲ呈セハ(水酸化物、重炭酸鹽、又炭酸鹽、存在ノ徴)之ニ五十分ノ一定規硫酸ヲ滴下シ、振盪シテ「クロロホルム」ノ脱色スルニ至ラシム。而シテ其ノ「アルカリ」度ハ炭酸「カルチウム」トシテ計算シ、消費セル五十分ノ一定規硫酸ノ立方センチメートル數ニ、十ヲ乗シタル數ヲ以テ示ス。「エリトロシン」溶液ハ「エリトロシン」(ナトリウム鹽)〇・五グラム(0.5g)ヲ新タニ煮沸シタル蒸留水一リートル

(II)ニ溶解シタモノナリ。

(ロ)酸度ノ測定

檢水百立方センチメートル(100c.cm.)ヲ磁製蒸發皿或ハ白紙上ニ置キタル「エルレンマイエルコルベン」ニ採リ、「フェノールフタレイン」溶液四滴ヲ加ヘ、五十分ノ一定規炭酸「ナトリウム」溶液ヲ以テ滴定ス。總酸度ハ消費セル炭酸「ナトリウム」溶液ノ立方センチメートル數ニ、十ヲ乗シタル數ヲ以テ示ス。

五十分ノ一定規炭酸「ナトリウム」溶液製法

無水炭酸「ナトリウム」一・〇六グラム(1.06g)ヲ煮沸シテ炭酸瓦斯ヲ驅逐シタル蒸留水ニ溶解シ、全容積ヲ一リットル(1l)トシタモノニシテ、其ノ一立方センチメートル(1c.cm.)ハ炭酸「カルチウム」一ミリグラム(1mg)ニ對應ス。

「フェノールフタレイン」溶液製法

「フェノールフタレイン」五グラム(5g)ヲ五十容量「プロセント」ノ「アルコール」ニ溶解シ、全容積ヲ一リートル(1l)トナシ十分ノ一定規苛性「カリ」ヲ以テ中和シテ製ス。
尙酒精ハ煮沸シテ炭酸瓦斯ヲ驅逐シタル蒸留水ヲ稀釋シタルモノナリ。

六、「クロール」の定量

檢水五十立方センチメートル(50c.cm.)ヲ直径十五センチメートル(15cm.)ノ磁製蒸發皿又ハ白紙上ニ置キタル「ペーヘル」ニ採リ、「クローム酸カリウム」溶液一立方センチメートル(1c.cm.)ヲ加ヘ、標準硝酸銀溶液ヲ以テ滴定シテ微ニ赤色ヲ呈スルニ至ラシム。

其ノ終末點ヲ知ルニハ檢水ト同様ノ器ニ蒸餾水五十立方センチメートル(50c.cm.)及ヒ「クローム酸カリウム」溶液一立方センチメートル(1c.cm.)ヲ入レタルモノノ色相ト比較セハ容易ナリ。「クロール」ノ含量大ニシテ標準硝酸銀溶液二十五立方センチメートル(25c.cm.)以上ヲ消費スル時ハ檢水ヲ少量ニ採リ、蒸餾水ニテ稀釋シテ用ヒ、之ニ反シ「クロール」ノ含量甚タ少ナル時ハ檢水二百五十立方センチメートル(250c.cm.)ヲ採リ蒸發シテ五十立方センチメートル(50c.cm.)ニ濃縮シテ試験ス。

檢水ノ色度三十度以上ナル時ハ水酸化「アルミニウム」ヲ以テ脱色シタル後試験ヲ行ヒ、檢水酸性ナル時ハ炭酸「ナトリウム」溶液ヲ以テ中和シ、之ニ反シ「アルカリ」性ナル時ハ「フェノール」フタレイン」ヲ標示藥トシテ硫酸ニテ中和シタル後滴定ス。

標準「クロール」ナトリウム「溶液」製法

純粹ナル「クロール」ナトリウム「一六・四八グラム(16.48g)」ヲ蒸餾水ニ溶解シテ全容積ヲ一リートル(1L)トナシ其ノ百立方センチメートル(100c.cm.)ヲ採リ蒸餾水ヲ以テ稀釋シテ一リートル(1L)

トナス、其ノ一立方センチメートル(1c.cm.)ハ「クロール」 0.001 グラム(0.001g)ヲ含ム。

標準硝酸銀溶液製法

硝酸銀二・四グラム(2.4g)ヲ蒸餾水ニ溶解シテ全容積ヲ一リートル(1L)トナシ、前記「クロール」ナトリウム「溶液」ヲ以テ本液ノ一立方センチメートル(1c.cm.)カ正シク「クロール」 0.001 グラム(0.0005g)ニ對應スル様力價ヲ定ム。

「クローム酸カリウム」溶液製法

「クローム酸カリウム」五十グラム(50g)ヲ少量ノ蒸餾水ニ溶解シ、之ニ微赤色ノ沈澱ヲ生スルニ至ルマテ硝酸銀液ヲ加ヘテ濾過シ其ノ濾液ニ蒸餾水ヲ加ヘテ一リートル(1L)トナス。

七、硫 酸

檢水二十立方センチメートル(20c.cm.)ニ鹽酸ヲ加ヘ酸性トナシタル後「クロール」バリウム「溶液」ヲ加ヘ十二時間放置シタル後上清ヲ傾斜シ残留セル硫酸「バリウム」ノ量ニヨリ其ノ多少ヲ定ム。評語ハ微痕跡、痕跡、極少量、少量、トス。但シ多量ノ場合ニハ定量ヲ行フヘシ。

八、硝 酸

檢水二十立方センチメートル(20c.cm.)ニ「サリチール酸」ナトリウム「溶液(1100)」一立方センチメートル(1c.cm.)ヲ加ヘテ蒸發乾燥シ、冷後硫酸一立方センチメートル(1c.cm.)ヲ加ヘテ残留物ノ全

面ヲ濕シ、後蒸餾水及ヒ「アムモニア」水、各十立方センチメートル(10c.cm.)ヲ加ヘテ比色スヘシ。

九、亞硝酸

(イ) 定性法

檢水五十立方センチメートル(50c.cm.)ニ稀硫酸(硫酸一容積及ヒ水二容積ヨリナル)一立方センチメートル(1c.cm.)ノ割合ヲ以テ、密閉シ得ヘキ硝子圓筒ニ採リ之ニ沃度亞鉛澱粉溶液ヲ加ヘテ試験ス。

(ロ) 定量法

檢水五十立方センチメートル(50c.cm.)ヲ「ネスレル」管ニ採リ、(若シ著色セル時ハ亞硝酸鹽ヲ含まサル水酸化「アルミニウム」ニテ脱色ス)別ニ數個ノ「ネスレル」管ニ夫々標準亞硝酸溶液0.0.0.1.0.2.0.4.0.7.1.0.1.4.1.7.2.0.2.5c.cm.)ヲ入レ亞硝酸ヲ含有セサル水ヲ以テ五十立方センチメートル(50c.cm.)ニ稀釋シ、檢水及ヒ標準液ノ各々ニ「スルファニール」酸及ヒ「アルファナフチールアミン」溶液各一立方センチメートル(1c.cm.)宛ヲ加ヘ、ヨク混和シ十分間放置シタル後比色ス。但シ比色試験ハ試藥注加後三十分以上ヲ經過スヘカラス。

檢水五十立方センチメートル(50c.cm.)ヲ使用セシ時ハ檢水ト同一色相ノ標準液中ノ標準亞硝酸溶液ノ立方センチメートルニ0.0.1ヲ乘スレハ檢水一リットル(1L)中ノ亞硝酸性窒素ノ「ミリグラム」數ヲ得。

試藥ノ製法

(一) 亞硝酸「ナトリウム」原液

亞硝酸銀一・一グラム(1.1g)ヲ亞硝酸ヲ含有セサル蒸餾水ニ溶解シ、「クロールナトリウム」溶液ヲ加ヘテ銀ヲ沈澱セシメ濾過シタルモノニ蒸餾水ヲ加ヘ全容積ヲ一リットル(1L)トナス。

(二) 標準亞硝酸「ナトリウム」溶液

前記原液ノ百立方センチメートル(100c.cm.)ヲ一リットル(1L)ニ稀釋シ其ノ五十立方センチメートル(50c.cm.)ヲ滅菌シ且ツ亞硝酸鹽ヲ含有セサル水ヲ以テ全容積ヲ一リットル(1L)ニ稀釋シ之ニ「クロロホルム」一立方センチメートル(1c.cm.)ヲ加ヘテ滅菌瓶中ニ貯フ。此ノ一立方センチメートル(1c.cm.)ハ窒素0.0005ミリグラム(0.0005mg.)ヲ含ム。

(三) 「スルファニール」酸溶液

純粹ナル「スルファニール」酸八グラム(8g)ヲ五定規醋酸(比重一・〇四一)ヲ以テ溶解シ、全容積ヲ一リットル(1L)トナス、五定規醋酸ニ代フル鹽酸五十立方センチメートル(50c.cm.)ヲ蒸餾水

ヲ以テ一リートル(11)ニ稀釋シタルモノヲ以テスルモ可ナリ。

(四)「アルフアナフチールアミン」溶液

「アルフアナフチールアミン」五グラム(5g)ヲ五定規醋酸ニ溶解シ一リートル(11)トナシ、脱脂綿ヲ以テ濾過ス。此際五定規醋酸ニ代フルニ鹽酸八立方センチメートル(8c.cm.)ヲ一リートル

(11)ニ稀釋シタルモノヲ以テスルモ可ナリ。

十、「アムモニア」

(イ) 檢水百乃至百五十立方センチメートル(100-150c.cm.)ニ對シ「ネスレル」氏試藥一立方センチメートル(1c.cm.)ノ割合ヲ以テ注加シ、白紙上ニ置キ反應ノ有無ヲ檢ス。但シ水層ノ高サハ二十センチメートル(20c.m.)トナス。

「ネスレル」氏試藥製法

沃度「カリ」五十グラム(50g)ヲ可及的少量ノ蒸留水ニ溶解シ、之レニ昇汞ノ飽和水溶液ヲ加ヘ少量ノ沈澱ヲ生セシメ、之ニ澄明ナル五十プロセント(50%)苛性「カリ」溶液四百立方センチメートル(400c.cm.)ヲ加ヘ蒸留水ヲ以テ、一リートル(11)ニ稀釋シ、靜置シタル後傾斜法ニヨリ 沈澱ヲ除去ス。

(ロ)「アムモニア」性窒素定量法

内容一・五乃至二リートル(15-21)ノ蒸留「コルベン」ニ還流冷却器ヲ連ネテ蒸留ヲ行フ、即チ此ノ「コルベン」ニ檢水五百立方センチメートル(500c.cm.)或ハ之ヨリ少量ノ檢水ヲ採リ、之レヲ「アムモニア」ヲ含有セサル蒸留水ニテ、五百立方センチメートル(500c.cm.)ニ稀釋シタルモノヲ容レ、此際檢水若シ酸性ナルカ、或ハ尿素含有ノ疑ヒアルトキハ蒸留前〇・五グラム(0.5g)ノ炭酸「ナトリウム」ヲ加ヘ、一分時間六乃至十立方センチメートル(6-10c.cm.)ノ割合ニテ蒸留ヲ行フ。此ノ蒸留液各五十立方センチメートル(50c.cm.)ヲ四本ノ「ネスレル」管ニトル、次ニ標準鹽化「アムモニウム」溶液ヲ種々ノ割合ニ「ネスレル」管ニ採リ、「アムモニア」ヲ含有セサル水ニテ五十立方センチメートル(50c.cm.)ニ稀釋シ、斯ノ如クシテ得タル標準液及ヒ、蒸留液ノ各ニ「ネスレル」氏試藥一立方センチメートル(1c.cm.)ヲ加ヘ攪拌スルコトナク試藥添加後少ナクモ十分時間放置シタル後比色檢定ス。

若シ蒸留液ノ著色カ標準液ノ何レヨリモ濃厚ナルモノアル時ハ其ノ蒸留液ヲヨク攪拌シ、色相ノ濃淡ニ應シ其ノ二分ノ一、四分ノ一或ハ八分ノ一容積ヲトリ、之ヲ五十立方センチメートル(50c.cm.)ニ稀釋シテ比色檢定ス。而シテ初メ檢水五百立方センチメートル(500c.cm.)ヲトリタル場合ニハ、各蒸留液ノ色相ト同一ノ色相ヲ呈スル標準液中ノ鹽化「アムモニウム」溶液ノ立方センチメートルノ數ノ合計ニ〇・〇二ヲ乘セハ檢水一リートル(11)中ノ「アムモニア」性窒素ノ「ミリグラ

ム」數ヲ得ヘシ。

標準鹽化「アンモニウム」溶液製法

昇華法ニヨリテ得タル純粹鹽化「アムモニウム」三・八二グラム(3.82g)ヲ「アムモニア」ヲ含有セサル蒸留水ニ溶解シ、全容積ヲ一リートル(1l)トナシ、此ノ溶液ノ十立方センチメートル(10c.cm.)ヲ「アムモニア」ヲ含有セサル蒸留水ヲ以テ全容積ヲ一リートルニ稀釋ス。此ノ一立方センチメートル(1c.cm.)ハ〇・〇〇〇〇一グラム(0.00001g)ノ窒素ヲ含有ス。

十一、蛋白アムモニア性窒素定量法

「アムモニア」性窒素檢定ニ於ケル殘留液ニ「アルカリ性過マンガン酸カリウム」溶液五十立方センチメートル(50c.cm.)ヲ加ヘ「アムモニア」性窒素檢定ノ場合ト同様ノ方法ニテ蒸餾シ、比色シテ檢定ヲ行フ。

「アルカリ性過マンガン酸カリウム」溶液ノ製法

蒸留水千二百立方センチメートル(1200c.cm.)ヲ磁製蒸發皿ニ容レ、十分時間煮沸シタル後加熱ヲ止メ、之ニ純過「マンガン酸カリウム」十六グラム(16g)ヲ加ヘ攪拌シテ、完全ニ溶解シタルモノニ澄明ナル五十プロセント(50%)苛性カリ溶液八百立方センチメートル(800c.cm.) (或ハコレニ當量ノ苛性ソーダ液)ヲ入レ、尙蒸留水ヲ加ヘテ、二千五百立方センチメートル(2500c.cm.)ト

ナシタル後、蒸發シテ、二千立方センチメートル(2000c.cm.)トナス。尙溶液中ノ「アムモニア」ノ有無ヲ檢定シ、若シ存在セハ試驗ノ結果ニ修正ヲ施スヘシ。

十二、過マンガン酸カリウム消費量

檢水百立方センチメートル(100c.cm.)ヲ内容二百立方センチメートル(300c.cm.)ノ「ビーヘル」ニトリ、之レニ稀釋酸五立方センチメートル(5c.cm.)及ヒ、百分定規過マンガン酸カリウム溶液十立方センチメートル(10c.cm.)ヲ加ヘ、(煮沸後濃赤色ヲ呈セサル時ハ更ニ多量ヲ加フ)沸騰重湯煎上ニテ、七分時間加熱シタル後、百分定規稀酸液十立方センチメートル(10c.cm.)ヲ加ヘテ靄色セル液ニ更ニ百分定規過マンガン酸カリウム溶液ヲ滴下シ微ニ紅色ヲ呈スルニ至ラシム。而シテ茲ニ費シタル百分定規過マンガン酸カリウム溶液ノ總立方センチメートル數ヨリ、百分定規稀酸溶液十立方センチメートル(10c.cm.)ニ對スル百分定規過マンガン酸カリウム溶液ノ立方センチメートル數ヲ減シタル差ハ、檢水百立方センチメートル(100c.cm.)ニ要スル百分定規過マンガン酸カリウム溶液ノ量ナリ。檢水一リートル(1l)中ノ被酸化物ノ酸化ニ要スル過マンガン酸カリウムノ量ハ次ノ如クシテ算出ス。

$$x = (K - K') \frac{0.0316}{K'}$$

茲ニKハ百分定規過マンガン酸カリウム溶液ノ總立方センチメートル數、K'ハ百分定規稀酸溶液

十立方センチメートル」ニ對スル過マンガン酸カリウム溶液ノ立方センチメートル數ヲ示ス。

試 藥

(一) 稀 硫 酸

濃硫酸一容積蒸留水二容積ヨリ成ル。

(二) 百分定規修酸溶液ノ製法

純結晶修酸 $0.633g$ ヲ蒸留水ニ溶シ全量ヲ一リートル(1L)トナス。

(三) 百分定規過マンガン酸カリウム溶液製法

結晶過マンガン酸カリウム $0.321g$ 乃至 $0.34g$ ヲ蒸留水ニ溶シ、全量ヲ一リートル(1L)トナシタルモノニシテ、其ノ力價ヲ檢定センニハ蒸留水百立方センチメートル(100c.cm.)ニ前記ノ稀硫酸五立方センチメートル(5c.cm.)ヲ加ヘ熱シ煮沸スルニ至リ、之ニ「ビュレット」ヲ用ヒテ過マンガン酸カリウム溶液五立方センチメートル(5c.cm.)ヲ注加シ、更ニ暫時間熱シタル後加熱ヲ止メ百分定規修酸溶液十立方センチメートル(10c.cm.)ヲ加ヘテ褪色セシメタル後、過マンガン酸カリウム溶液ヲ滴下シ、再ヒ消失セサル紅色ヲ呈スルニ至リ、之レニ修酸液十立方センチメートル(10c.cm.)ヲ注加シテ脱色セル液ニ過マンガン酸カリウム溶液ヲ滴加シテ微紅色ヲ呈スルニ至ラシム、而シテ玆ニ費シタル過マンガン酸カリウム溶液ノ量ハ修酸十立方センチ

メートル(10c.cm.)ニ對スル量ナリトス。

十三、硬 度

水十萬分中ニ含有スル酸化「カルチウム」(CaO)一分ヲ以テ一度トナス。内容二百立方センチメートル(200c.cm.)ノ共口「エルレン、マイエルコルベン」ニ檢水百立方センチメートル(100c.cm.)ヲトリ、標準石鹼液ヲ「ビュレット」ヨリ滴下シ、烈シク振盪シテ五分時間消滅セサル微細ノ泡沫ヲ生スルニ至リテ滴下ヲ止メ、消費シタル石鹼液ノ量ヨリ總硬度ヲ算出ス、總硬度六度以上ナルトキハ永久硬度ヲ測定スヘシ。

永 久 硬 度

内容二百立方センチメートル(200c.cm.)ノ「エルレン、マイエルコルベン」ニ檢水百立方センチメートル(100c.cm.)ヲ採リ、三十分時間靜カニ煮沸シタル後放冷シテ濾過シ、濾液ヲ百立方センチメートル(100c.cm.)ニ稀釋シタル後、前記ノ如ク石鹼溶液ニテ滴定シテ永久硬度ヲ定ム。

試 藥

(一) 石鹼原液製法

單鉛硬膏百五十グラム(150g.)ヲ磁製蒸發皿ニ採リ、重湯煎上ニテ軟化シ、之ニ炭酸「カリウム」粉末四十グラム(40g.)ヲ加ヘ、研和シテ均等ノ物質ヲ生スルニ至リ、強度ノ「アルコホル」ヲ加

へ、生成セル脂肪液「カリウム」ヲ浸出シ、能ク沈澱セシメタル後濾過シ、此ノ濾液ヲ蒸發シテ「アルコホル」分ヲ除去シタルモノヲ、五十六容量「プロセント」ノ「アルコホル」ニ溶解ス。

(一) 「クロールバリウム」溶液

空氣中ニテ乾燥シタル純「クロールバリウム」($\text{BaCl}_2 + 2\text{H}_2\text{O}$) 0.523g ヲ蒸餾水ニ溶解シテ全容積ヲ一リートル (1L) トナス。

(二) 標準石鹼液

「クロールバリウム」溶液百立方センチメートル (100c.cm.) ニ對シ、石鹼溶液四十五立方センチメートル (45c.cm.) ヲ消費スル様、石鹼原液ヲ五十六容量「プロセント」ノ「アルコホル」ヲ以テ稀釋ス、而シテ本液四十五立方センチメートル (45c.cm.) ハ水百立方センチメートル (100c.cm.) 中ノ酸化「カルチウム」(CaO) 十一ミリグラム (11mg.) 即チ硬度十二度ニ相當ス。

十四、蒸發残渣

豫メ秤量セル磁製蒸發皿ニ檢水二百五十立方センチメートル (250c.cm.) ヲトリ、重湯煎上ニ蒸發乾燥シ、之レヲ蒸氣乾燥器ニ移シ百度ノ温ニテ一時間乾燥シタルモノヲ除濕器ニ入レ冷却シテ秤量シ、更ニ蒸氣乾燥器ニテ一時間乾燥シテ秤量シ、コレヲ反覆シテ前後ノ重量ノ差異ナキニ至リ茲ニ得タル重量ヨリ蒸發皿ノ重量ヲ減シタル差ニ、四ヲ乗スル時ハ檢水一リートル (1L) 中ノ蒸

發残渣量ヲ得ルモノトス

十五、鉛

檢水三乃至四リートル (3-4L) (鉛ヲ含量小ナルトキハ更ニ多量) ヲ蒸發シテ、三十立方センチメートル (30c.cm.) トナシ、之ニ「クロールアンモニウム」溶液十乃至十五立方センチメートル (10-15c.cm.) 及ヒ「アンモニア」水數滴ヲ加ヘ、硫化水素ヲ通シタル後數時間 (出來得ヘクハ十二時間) 放置シ、尙少量ノ「アンモニア」水ヲ加ヘ硫化水素ヲ通シタル後數分時間煮沸シテ濾過シ、沈澱ハ熱湯ヲ以テ數回洗滌シタル後濾紙ト共ニ蒸發皿ニ入レ稀硝酸ヲ加ヘテ煮沸シテ沈澱ヲ溶解シ再ヒ濾過洗滌シタル後、濾液及ヒ洗滌液ヲ蒸發皿ニ入レ蒸發シテ十乃至十五立方センチメートル (10-15c.cm.) ニ濃縮シ、放冷シタルモノニ硫酸五立方センチメートル (5c.cm.) ヲ加ヘテ硫酸蒸氣ノ發生スルニ至ル迄加熱ス。此ノ残渣ヲ水ヲ以テ僅ニ潤シ、五十容量「プロセント」ノ「アルコホル」百五十立方センチメートル (150c.cm.) ヲ加ヘ、數時間 (出來得ヘクハ十二時間) 放置シテ硫酸鉛ヲ濾別シ、沈澱ハ五十容量「プロセント」ノ「アルコホル」ヲ以テ洗滌ス。而シテ沈澱ヲ濾紙ト共ニ蒸發皿ニ入レ、醋酸アンモニウム溶液ヲ加ヘ煮沸シテ溶解シ濾過シテ、少量ノ醋酸「アンモニウム」ヲ含ム熱湯ヲ以テ沈澱ヲ洗滌シ、濾液及ヒ洗滌液ヲ合シテ「ネスレル」管ニ入レ之レヲ二分シ其ノ一分ハ硫化水素水ヲ以テ處理シテ鉛ノ量ヲ概知シ、他ノ一分 (若シ鉛ノ量大ナル

時ハ其ノ二分ノ一、四分ノ一等)ニハ醋酸數滴竝ニ硫化水素水ノ過剰ヲ加ヘテ生シタル色相ヲ含量概知ノ鉛標準液ヲ右ト同様ニ處理シテ得タル液ノ色相ト比較ス。

試 藥

- (一) 鉛ノ標準溶液、純硝酸鉛($Pb(NO_3)_2$)一・六グラム(1.6g)ヲ蒸餾水ニ溶シ全容積ヲ一リートル(1l)トス、此ノ溶液一立方センチメートル(1c.cm.)ハ鉛(Pb)一ミリグラム(1mg)ヲ含ム。
- (二) 鹽化アンモニウム溶液、二十五プロセント溶液。
- (三) 醋酸アンモニウム溶液、五十プロセント溶液。
- (四) アンモニア水、 比重〇・九六。
- (五) 醋酸、 五十プロセントノモノ。
- (六) 硫化水素、
- (七) 稀硝酸、
- (八) 硫酸、

十六、鐵

檢水百立方センチメートル(100c.cm.)ヲ採リ、蒸發乾燥シ、鐵ノ不溶性酸化物ヲ生セサル様注意シテ赤熱シ、放冷シタル後、鹽酸五立方センチメートル(5c.cm.)ヲ加ヘ、蒸發皿ノ内面ヲ、ヨク

濕シ、二乃至三分時間温メテ殘渣ヲヨク溶解シタルモノヲ「ネスレル」管ニ移シ五十立方センチメートル(50c.cm.)ニ稀釋シ、必要アラハ豫メ蒸餾水ヲ以テ濕シタル濾紙ニテ濾過シ、五分ノ一定規過マンガネ酸カリウム溶液三滴ヲ加ヘ、硫チアンカウリム溶液五立方センチメートル(5c.cm.)ヲ加ヘヨク混和シタルモノヲ、標準液「標準鐵鹽溶液」〇・〇五乃至四立方センチメートル(0.05-4c.cm.)ニ鹽酸五立方センチメートル(5c.cm.)ヲ加ヘ、五十立方センチメートル(50c.cm.)ニ稀釋シ、五分ノ一定規過マンガネ酸カリウム溶液三滴及ヒ硫チアンカウリム溶液五立方センチメートル(5c.cm.)ヲ加ヘテ混和シタルモノ」ト比色檢定ス。

若シ檢水ノ有機物含量小ナル時ハ檢水五十立方センチメートル(50c.cm.)ニ硝酸六立方センチメートル(6c.cm.)ヲ加ヘ五分時間煮沸シタル後放冷シ、五分ノ一定規過マンガネ酸カリウム溶液一乃至二滴、及ヒ硫チアンカウリム溶液五立方センチメートル(5c.cm.)ヲ加ヘ、標準液ト其ノ色相ヲ比較スヘシ。但シ此際標準液ニハ鹽酸五立方センチメートル(5c.cm.)ニ代フルニ硝酸六立方センチメートル(6c.cm.)ヲ以テスヘシ。

過マンガネ酸カリウム及ヒ酸ハ「クロール」含量大ナル水ニ於テハ鹽素ヲ遊離シテ黃色ヲ呈セシムルカ故ニ檢水ハ先ツ適當ニ稀釋スル必要アリ。

尙過マンガネ酸カリウム」ヲ過剰ニ加フル時ハ鹽素ト作用シテ同様ノ惡結果ヲ齎スモノトス。

鹽酸及ヒ硫チアンカリウム溶液ノ容積ハ可及的精密ナルヲ要スコレ鹽酸ノ過剩ハ色相ヲ淡クシ
硫チアンカリウム溶液ノ過剩ハ色相ヲ濃厚ナラシムルカ故ナリ。

試 藥

(一) 標準鐵鹽溶液

純粹ナル硫酸酸化鐵アンモニウム $[\text{NH}_4\text{Fe}(\text{SO}_4)_2 + 12\text{H}_2\text{O}]$ 〇・八六三グラム (0.863g) [或ハ硫酸
酸化鐵カリウム $[\text{KFe}(\text{SO}_4)_2 + 12\text{H}_2\text{O}]$ ナラハ (濾紙間ニ壓シテ充分濕氣ヲ除キタルモノ) 〇・九
〇一グラム (0.901g)] ヲトリ稀鹽酸二十立方センチメートル (20c.c.m.) ヲ加ヘテ蒸餾水ニ溶解シ
全容積ヲ一リートル (1L) トナス。

本液一立方センチメートル (1c.c.m.) ハ 〇・一ミリグラム (0.1mg) ノ鐵ヲ含有ス

(二) 硫チアンカリウム溶液

硫チアンカリウムノ結晶二十グラム (20g) ヲ蒸餾水ニ溶解シ、全容積ヲ一リートル (1L) トナ
ス。

(三) 稀 鹽 酸

比重一・一ノモノニシテ約二十プロセントノ「クロール」水素ヲ含ムモノ。

(四) 五分ノ一定規過マンガン酸カリウム溶液

過マンガン酸カリウム六・六グラム (6.6g) ヲ蒸餾水ニ溶解シ、全容積ヲ一リートル (1L) トナ
ス。

五 鹽 酸

六 硝 酸

十七、本法五ノ(イ)、(ロ)、八、九ノ(ロ)、十ノ(ロ)十一、十三、十五及ヒ十六ハ必要ニ應シテ施行
スルモノトス。

但シ毎年源水及ヒ濾過水ニ就キテハ全試験ヲ施スヘシ。

第三 細菌學的試験

試 驗 法

一、試験用器具

イ、採 水 壺

細菌試験用採水壺ハ密接スル磨合セサル硝子栓ヲ有スルモノニシテ、充分ニ洗
滌シ紙ヲ以テ包ミタル後滅菌ス。尙運搬ニハ適當ノ函ニ入ルヘシ。

ロ、ピペット

ハ、稀釋用壺

ニ、ペトリー氏シヤレー、直徑九センチメートル(9cm.)ニシテ底部ハ可及的平坦ナルヘシ。
ホ、酸 酵 管 内容ハ少ナクトモ試験ス可キ水ノ三倍容量ノ培養基ヲ入レ得ルモノヲ用フ。

二、培養基ノ材料

イ、肉越幾斯 リービヒ氏肉越幾スヲ用フ。

ロ、ペプトン 照内「ペプトン」其他同一ノ結果ヲ與フルモノナラハ他ノ「ペプトン」ヲ用フルモ可ナリ。

ハ、糖 類 最モ純良ナルモノヲ用フ。

ニ、寒 天 使用スル寒天ハ良質ノモノヲ用フ。

ホ、膠 質 使用スル膠質ハ淡色ニシテ防腐劑ヲ含マス膠質培養基ノ融點ハ二十五度或ハ其以上ノモノトス。

ヘ、一般藥品 其他培養基ニ用フル他ノ藥品ハ總テ化學的ニ純粹ナルモノヲ得ル様特別ノ努力ヲ要ス。

三、培養基ノ調製

イ、寒天培養基

「リービヒ」氏肉越幾斯十分、食鹽五分、ペプトン十分、竝ニ寒天十五分ヲ水千分ト共ニ、「コルベ

ン」ニ入レ「アウトクラフ」ニテ百三十度ニ加熱溶解セシメ、反應ヲ中性若クハ微弱アルカリ性(標示藥ハ「ロゾール」酸ヲ用フ)ニ調整シテ、六十度以下ニ冷却シタル時、卵白二個ヲ加ヘテ充分攪拌シテ再ヒ「アウトクラフ」ニテ百三十度ニ加熱シ後濾過シテ得タル澄清液ヲ滅菌試験管ニ分チ綿栓ヲ施シ、更ニ「アウトクラフ」ニテ消毒ヲ行フ。

「リービヒ」氏肉越幾斯ノ代リニ、牛肉煎汁ヲ用フルモ可ナリ、其ノ製法左ノ如シ。

牛肉五百グラム(500g.)ヲ取り腱及脂肪ヲ去リ之ヲ細剉シテ「コルベン」ニ入レ、一リートル

(11)ノ水ヲ注キ直チニ重煎湯又ハ「コッホ」氏蒸氣消毒釜ニテ一乃至三時間煮沸シテ後濾過シ液量減少セル時ハ更ニ水ヲ加ヘテ一リートル(11)トナス。

ロ、膠質培養基

肉越幾斯十分、食鹽五分、及ヒ「ペプトン」十分ヲ水千分ト共ニ鍋ニ容レ、次ニ秤量前一時間百五度ニテ乾燥シタル膠質百乃至二百五十グラム(100-250g.)ヲ加ヘテ六十五度ニテ膠質カ全部溶解スルマテ徐々ニ熱シ消失シタル蒸發水量ヲ補足シ反應ヲ中性或ハ微弱アルカリ性(標示藥ハ「ロゾール」酸ヲ用フ)トナシ、之レヲ澄明ニナルマテ濾過シ、次テ滅菌試験管ニ分チ更ニ之レヲ三日間三十分宛「コッホ」氏蒸氣消毒釜ニテ滅菌ス、或ハ「アウトクラフ」ニテ十五ポンド(百二十度)ノ壓ニテ十五分間滅菌ス。

四、檢水ノ採酌及保存

檢水ハ必ラス滅菌採水壘ニ採リ、採酌後可及的早ク試験スヘシ。
採酌位置ニ於テ培養ヲ實行シ能ハサル場合ニハ、可檢水ヲ氷ヲ詰メタル冷器内ニ保存スヘシ。
但シ此ノ場合ト雖モ三時間ヲ超過スヘカラス。

五、平板培養法

聚落數檢査ニ用フル平板培養ニハ寒天培養基又ハ膠質培養基ヲ用フ、但シ使用シタル培養基ノ種類ハ備考欄ニ記スヘシ。

濾過水ハ各一種ニツキ一立方センチメートル (1ccm) 宛一個ノ「ペトリー」氏皿ニ注キ、之レニ豫メ溶解シタル四十五度内外ノ寒天又ハ膠質培養基ヲ加ヘ、靜カニ動搖シテ能ク混和セシム。
源水又ハ沈澱池ノ水ニシテ、細菌含量多數ナルモノハ殺菌水ヲ以テ適宜稀釋シ、然ル後培養ヲ行フモノトス。

培養溫度ハ寒天培養基ナルトキハ攝氏三十七度、膠質培養基ナルトキハ二十度トス。

六、聚落數計算法

イ、聚落數ノ計算ハ寒天平板ノ場合ハ、培養後二十四時間、膠質平板ノ場合ハ四十八時間ニ於テス但シ本文以上ノ時間ヲ經過シタル時ハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記スヘシ。

ロ、聚落多數ニシテ各個ノ計算困難ナルトキハ平均法ヲ用フルコトアルヘシ。
ハ、絲狀菌ノ聚落ハ加算セス。

第四 飲料適否ノ判定

左ノ數項ノ一ニ該當スルモノハ飲料ニ適セサルヲ以テ直ニ改善ノ方法ヲ實行シ、其ノ間ハ必ス煮沸ノ後飲料ニ供セシムヘシ。

- 一、外觀ノ異常アルモノ。
- 二、異臭味アルモノ。
- 三、直ニ亞硝酸及「アムモニア」ノ反應ヲ呈スルモノ。
- 四、過マンガン酸カリウム消費量十ミリグラム以上ノモノ。
- 五、細菌聚落數百一個以上ノモノ、但シ土地ノ狀況ニ依リ百五十一又ハ二百一個以上トナスコトアルヘシ。(第二十六回上水協議會ニ於テ「寒天平板培養ノ場合ハ細菌聚落數七〇個以上ノモノ」ト協定)
- 六、反應、クロール、硫酸、硝酸、固形物總量、硬度ノ異狀アルモノ又ハ鉛ヲ檢出スルモノハ適宜其ノ良否ヲ判定シ、其ノ他異常成分、病原的細菌混在ノ疑アルトキハ特ニ試験ヲ施シ判定ノ上改善ノ方法ヲ施行スルコト。

附一、大腸菌試験法

三八

大腸菌ハ乳糖ヲ分解シテ瓦斯ヲ發生シ、且ツ固形培養基上ニテ好氣的ニ生育スル所ノ無芽胞性桿菌ヲ包含スルモノトス、本試験ニ要スル培養基及ヒ其ノ製法左ノ如シ。

イ、遠藤氏培養基

三プロセント(3%)ノ中性寒天培養基千立方センチメートル(1000c.cm.)ニ十プロセント(10%)炭酸ナトリウム液十立方センチメートル(10c.cm.)ヲ加ヘテ「アルカリ」性トナシ、次テ純良ナル乳糖十グラム(10g)「フクシン」ノ酒精飽和液五立方センチメートル(5c.cm.)ヲ加ヘ然ル後新製シタル十プロセント(10%)無水亞硫酸「ナトリウム」液二十五立方センチメートル(25c.cm.)ヲ加ヘテ微カニ淡紅色トナシ、「コッホ」氏蒸氣消毒釜ニテ消毒シ或ハ滅菌試験管ニ十立方センチメートル(10c.cm.)宛注キ、或ハ滅菌「ペトリ」氏皿ニ注キテ平板トナシ、固定後逆轉シテ冷暗處ニ貯フヘシ。

ロ、乳糖加「ペプトン」水

「ペプトン」十分、食鹽五分、ヲ水千分ニ溶解シ、之レヲ「アフトクラフ」ニテ滅菌シテ反應ヲ中性トナシ、冷後〇・五プロセント(0.5%)ノ乳糖ヲ加ヘ各十立方センチメートル(10c.cm.)宛試験管ニ分與シ「アフトクラフ」ニテ十五「ポンド」ニ十五分、又ハ「コッホ」氏蒸氣消毒釜ニテ三十分宛三

日間消毒ス。

一、遠藤氏寒天平板培養法

檢水一立方センチメートル(1c.cm.)ヲ「ペトリ」氏皿ニ注キ豫メ溶解シタル遠藤氏寒天培養基ヲ加ヘ、靜カニ動搖シテ能ク混和セシム。

培養溫度及ヒ聚落數計算ハ前記ニ從フ、但シ聚落ハ遠藤氏寒天培養基ヲ赤變スルモノノ中大腸菌トシテノ其他ノ性質ヲ具備スルモノノミヲ計算スヘシ。

二、推定試験

イ、酸酵管ニ檢水ノ適當量ヲ容レ次ニ檢水ノ少クトモ三倍量ノ乳糖加「ペプトン」水ヲ加フ。

ロ、是等ノ酸酵管ヲ三十七度ニ於テ四十八時間培養シ、二十四時間、四十八時間毎ニ檢シ、瓦斯

發生量ヲ記スヘシ、其ノ記入ノ要項ハ次ノ如シ。

1、瓦斯發生ノ有無

2、閉管部ノ十プロセント(10%)以下ノ瓦斯發生量、

3、閉管部ノ十プロセント(10%)以上ノ瓦斯發生量、

ハ、二十四時間以内ノ瓦斯發生量カ酸酵管ノ閉管部ノ十プロセント(10%)以上ナル時ハ推定試験陽性ナリトス。

三九

ニ、二十四時間ニテ瓦斯發生量皆無ナルカ、或ハ十プロセント(10%)以下ナレハ更ニ二十四時間培養ヲ持續ス。

ホ、四十八時間培養後瓦斯發生ナキ場合ハ試験ハ陰性ナリトス。

三、部分的確定試験

イ、四十八時間培養後檢水ノ最少量ヨリ瓦斯發生ヲ示ス所ノモノニツキ、遠藤氏培養基ニテ平板培養ヲ作ル。例ヘハ試験ニ用ヒタル水ノ量カ十立方センチメートル(10c.cm.)一立方センチメートル(1c.cm.)〇・一立方センチメートル(0.1c.cm.)ナル時瓦斯ノ發生カ十立方センチメートル(10c.cm.)一立方センチメートル(1c.cm.)ノモノニ於テ發生シ、〇・一立方センチメートル(0.1c.cm.)ニ發生セサル時ハ此ノ試験ハ唯一立方センチメートル(1c.cm.)ノモノニツキ行フ。

ロ、平板ハ三十七度、十八乃至二十四時間培養ス。

ハ、此ノ時間内ニ平板上定型的赤變聚落ヲ見ル時ハ部分的確定試験ハ陽性ナリトス。

ニ、併シ二十四時間以内ニ定型的聚落カ現ハレサル場合ト雖モ、必ラスシモ陰性ナリト決定スルヲ得ス、何トナレハ大腸菌ハ遠藤氏培養基ニ於テ其ノ出現カ徐々ナル事アルヲ以テナリ。斯カル場合ハ次ノ試験ヲ行フヘシ。

四、完全試験

イ、前二項ノ遠藤平板培養ヨリ定型的聚落ヲ少クトモ、二個鈎菌シ、各々寒天斜面及ヒ乳糖肉汁醱酵管培養ヲ行フ。

ロ、前二項ニ於ケル二十四時間以内ニ遠藤氏平板上ニ定型的聚落ヲ生セサル場合ハ更ニ二十四時間培養シ、然ル後例ヒ定型的ノモノナラストモ、最モ大腸菌ニ近キ聚落ヲ少ナクトモ、二個鈎菌シテ寒天斜面ト乳糖肉汁醱酵管試験ヲ行フ。

ハ、斯クシテ接種シタル乳糖肉汁醱酵管ハ瓦斯發生カ生スル迄培養シ(但シ四十八時間ヲ超過スル要ナシ)寒天斜面ハ三十七度、四十八時間培養ス。乳糖肉汁ニ於テ瓦斯ヲ發生シ、且ツ顯微鏡的試験ノ結果無芽胞性桿菌ヲ證明スル時ハ陽性、然ラサル場合ハ試験ノ結果ハ陰性ナリトス。

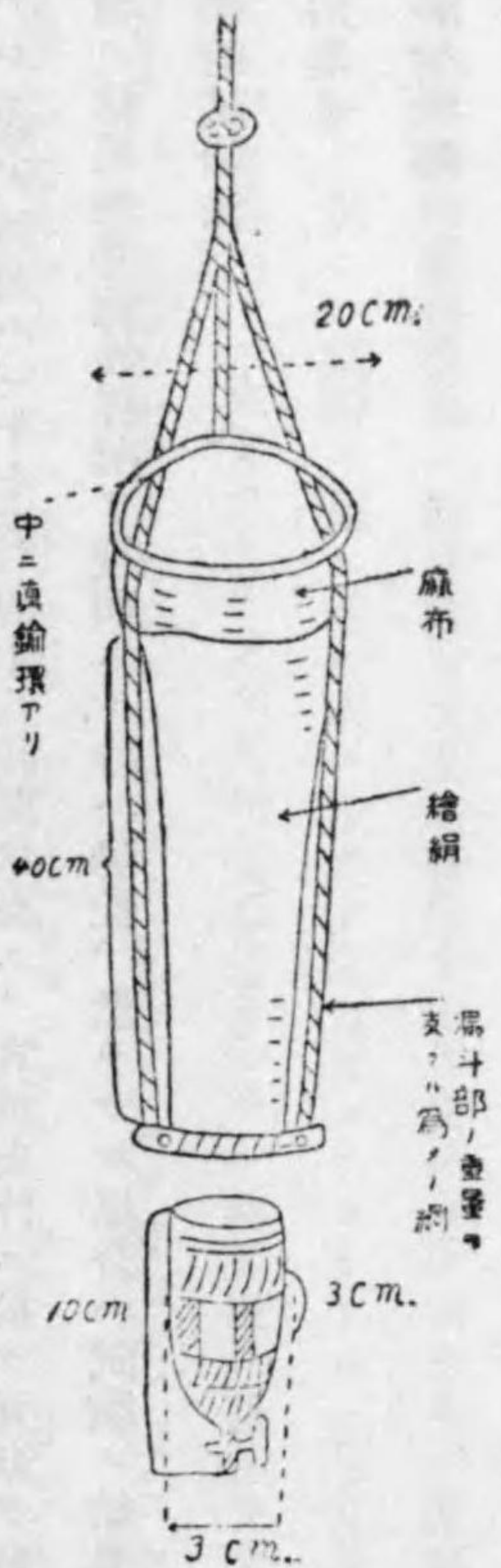
附二、生物學的試験法

一、試験用器具

イ、浮游生物網

源水及濾水ノ浮游生物ヲ採集スルニ用ヒコノ網ハ上部口徑二十センチメートル(20cm.)下端口徑三センチメートル(3cm.)深サ四十センチメートル(40cm.)ノ繪絹製倒圓錐形ノモノニシテ、ソノ上端ニ曳網ヲ附シ、下端ニ高サ十センチメートル(10cm.)ノ眞鍮製圓柱形漏斗部ヲ附シタルモノナリ、漏斗部ニハ側面ニ窓アリテ繪絹ヲ張り、水ヲ濾過シ終リタル時ソノ下端ニ於ケル

残留量約十立方センチメートル(10c.c.m.)ナラシム、網ノ全重量ハ曳網ヲ除キテ五百グラム(500g.)上部真鍮環ノ重量二百三十グラム(330g.)下部金屬部ノ重量約二百四十グラム(240g.)トス。



ロ、硝子製管罎

採集セル浮游生物ヲ保存スルニ用ヒ、口径二センチメートル(2c.m.)高サ八センチメートル(8c.m.)ノ圓筒形硝子罎ニシテコルク栓ヲ附ス。

ハ、計數用具

採集濃縮セル生物ノ計數ニ用フルモノニシテ、載物硝子、真鍮製杵〔深サ一ミリメートル(1mm.)内容一立方センチメートル(1c.c.m.)〕及覆蓋硝子ヨリナル。

二、採集法

イ、沈澱池及濾過池源水ノ浮游生物ヲ採集スルニハ前記ノ浮游生物網ヲ以テ池畔ニ立チ、先ツ曳網ノ上端ヲ手頸ニ縛シ置キ、岸ニ直角ヲナセル方向ニ曳網ノ全長ヲ引張ル様ニ投ケ出シ、網カ水面ニ落チテ沈マントスル時ヲ見計ヒ曳網ヲ引キテ網カ水面下約十乃至二十センチメートル(10-20c.m.)ノ邊ヲ横ニ動ク様ニ手操リ寄セ岸ヲ離ルル一メートル(1m.)許リノ所ニ來レル時急キ引揚ケテ流出スル水ヲナルヘク地上ニ落スヤウニス、右ノ採集ニ當リ網カ水中ヲ動ク距離ハ一回ニ五米(5m.)ナル様ニシ、同法ヲ反覆スルコト六回ニシテ止水ノ充分濾出シ去ルヲ待チテ下端ノ活栓ヲ開キテ残留セル水及採集生物ヲ豫メ十パーセント(10%)「フォルマリン」水五立方センチメートル(5c.c.m.)ヲ入レタル保存容器ニ移ス。

ロ、濾過層内ノ生物ヲ採集スルニハ底土押取器ヲ竿ノ先ニ固定シ濾過池中ノ代表的地點ヲ選ヒテ二十五立方センチメートル(25c.c.m.)ヲ採取スルカ又ハ濾過池削取前水ヲ落シタル直後砂層ノ垂直斷面ヲ作り表面ヨリ一定ノ距離ヲ置キテ二十五立方センチメートル(25c.c.m.)ノ砂ヲ採リ之ヲ硝子圓筒ニ移シ清水ヲ加ヘテヨク振盪シ上部ノ細微生物ヲ細砂又ハ泥土ヨリ傾瀉法ニヨリテ分離シイ項ニ示セル方法ヲ以テ保存スヘシ、池底ノ場合モ亦之ニ準ス。

ハ、濾水ノ生物ヲ採取スルニハ給水栓ヲ全開シ流出スル水一立方メートル(1c.m.)以上ヲ前記浮

游生物網ニテ採取ス、其ノ保存方法ハイ項ニ同シ。
ニ、附著生物ノ検査ハ之ヲ一定セス各地ニ於テ適當ニ之ヲ施行スヘシ。

三、試験法

採集生物ノ試験ハ左記甲乙ノ二法ノ何レカニ據ルヘシ。

甲、右法ニヨリ保存硝子管中ニ採集セル生物ハ各々之ヲヨク混和シ、其一立方センチメートル (1ccm.) ヲ所定ノ計數室ニ收メテ個數計算法ヲ行フ。則チ生物ノ種屬ヲ辨別シ各生物ノ個數ヲ計測シ之ヲ十倍シテ記録スヘシ。

乙、浮游生物ノ總量ヲ定ムルニハ「フオルマリソ」投入後管罫ヲ直立シテ三十分ヲ經テ沈澱量ノ多少ニヨリ左ノ等級ヲ附ス。(コレヲ總量示數ト稱ス)

- 1. 少量
- 2. 稍々多量
- 3. 多量
- 4. 甚々多量
- 5. 極メテ多量

細微ナル採集物ヲ檢鏡スルニハ採集物ノ容レル管罫ヲトリ「ビベット」ニテ適當ニ攪拌シタル後ソノ中心部ニテ水約〇・五立方「センチメートル」(0.5ccm.) ヲ「ビベット」内ニ吸ヒ上ケコレヲ小時計皿又ハ種痘皿内ニ吹キ出シ、顯微鏡下ニ齎シ、動植物ノ屬種ヲ檢定シ、其ノ結果數量ノ多少

ニヨリテ各種毎ニ左ノ五等級ノ一ニ該當セシム。(コレヲ種屬量示數ト稱ス)

- 1. 稀ニアルモノ
- 2. 少シクアルモノ
- 3. 稍々多クアルモノ
- 4. 多キモノ
- 5. 甚々多キモノ

一方ニ種屬名ヲ記シ他方ニ時日ヲ記シテ作りタル表中ニ前記兩示數ノ積ノ數字ヲ記入ス。

例ヘハ某日ノ採集物中ニナル動物「稍々多ク」アリ(即チ種屬量示數3)テ同日ノ總量「稍々多量」

(即チ總量示數2)ナリトセハ 3×2=6 即チ6ヲ記入スルモノトス。生物名ノ記入ハ屬名ヲ單位

トシ其ノ不明ナルモノハ科、亞目、又ハ目名ヲ記入スヘシ。

●統計諸表様式

(大正十一年第十九回會議ニ於テ議決
大正十五年第二十三回會議ニ於テ第十二表改正議決
昭和三年第二十五回會議ニ於テ水質試験表ニ水溫欄挿入議決)

第一、工事、工費並規模

前年度末現在

- 【備考】 (一) 増設ノ分ニ對シテハ第一、第二、第三ノ順ヲ逐ヒ其ノ起工、竣工年月日ヲ列記スルコト
- (二) 計畫中又ハ工事中ノモノハ「工費」欄ニ豫算ヲ掲ケルコト
- (三) 豫定給水人口、豫定一人一日平均給水量、極度一日總給水量ハ創設及擴張ヲ合シタル現在設備ニ依ルモノヲ記入スルコト

水道名	起工年月	竣工年月	工費	計
			円	豫定給水人口 平均給水量 リットル
				極度一日總給水量 立方米

第一、水源、水路 前年度末現在

(其一) 水源

水道名	河又ハ湖沼等ノ名稱	表面水、伏流水、地下水等ノ區別	最大湧水時季水量 毎秒リットル	取入方法	摘	要
-----	-----------	-----------------	--------------------	------	---	---

(其二) 鑿井

水道名	個數	口	鑿	徑	井ノ深	一晝夜最大水量	一晝夜最少水量
				米	米	立方米	立方米

(其三) 原水貯水池

水道名	池	原	貯	池
	數	堰堤ノ體積	高	總貯水量
		總	長	總水面積
			米	平方米

(其四) 導水路

水道名	取	導	路
	總延長	水	管
	上幅	竝	延長
	下幅	導	內
	水深	路	譯
			五百耗以上 四百耗以下 四百耗未滿

第三、淨水場 前年度末現在

(其一) 沈澄池

水道名	池	沈	澄	池
	數	總	容	積
		上	部	長
		下	部	長
		上	部	幅
		下	部	幅
		上	部	深
		下	部	深
		總	深	有效水深

(其二) 濾過池

水道名	池數	面積	濾過ノ池				濾床厚	一晝夜濾過速度
			上部	下部	上部	下部		
		立方米	米	米	米	米	米	

(其三) 淨水池

水道名	池數	總容積	淨水池				有效水深
			上部	下部	上部	下部	
		立方米	米	米	米	米	

第四、唧筒 前年度末現在

(其一) 取水唧筒

水道名	臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	一臺ノ工事	最大揚水落差	一臺一晝夜ノ最大揚水量
						キロワット	米	立方米

(其二) 送水唧筒

水道名	臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	一臺ノ工事	最大揚水落差	一臺一晝夜ノ最大送水量
						キロワット	米	立方米

第五、水管竝水壓 前年度末現在

水道名	鐵管、木管 鐵筋混泥土 管等ノ區別	配給水管延長	一平方糎水壓
	千二百以上 千二百以下 千九百以下 千八百以下 千七百以下 千六百以下 千五百以下 千四百以下 千三百以下 千二百以下 千一百以下 計	米	野

第六、經常收支

【備考】支出ニハ水道事務費、水源水路費、諸池費、唧筒運轉費、鐵管維持費等水道經營ニ要スル經常費ノミヲ掲テ各戸給水ニ要スル給水工事費及之ニ關スル事務費等ヲ除外シ雜支出中ニハ休退職並死亡給與金、水質試驗費等ノ雜費ヲ計上スルコト

(其一) 收入

水道名	收入		支出	
	本年 度 決 算	前 年 度 決 算	本年 度 決 算	前 年 度 決 算
	豫 算	豫 算	豫 算	豫 算
	専 用 計 畫	専 用 計 畫	専 用 計 畫	専 用 計 畫
	放 任 給 水 料	放 任 給 水 料	放 任 給 水 料	放 任 給 水 料
	普 通 計 量	普 通 計 量	普 通 計 量	普 通 計 量
	特 別 計 畫	特 別 計 畫	特 別 計 畫	特 別 計 畫
	給 水 料	給 水 料	給 水 料	給 水 料
	共 用 計 畫	共 用 計 畫	共 用 計 畫	共 用 計 畫
	雜 收 入	雜 收 入	雜 收 入	雜 收 入
	合 計	合 計	合 計	合 計
	入	入	出	出

(其二) 支出

水道名	支出		合計	
	本年 度 決 算	前 年 度 決 算	本年 度 決 算	前 年 度 決 算
	豫 算	豫 算	豫 算	豫 算
	事 務 費	事 務 費	事 務 費	事 務 費
	水 源 水 路 費	水 源 水 路 費	水 源 水 路 費	水 源 水 路 費
	淨 水 場 費	淨 水 場 費	淨 水 場 費	淨 水 場 費
	水 管 維 持 費	水 管 維 持 費	水 管 維 持 費	水 管 維 持 費
	維 支 出	維 支 出	維 支 出	維 支 出
	合 計	合 計	合 計	合 計
	出	出	計	計

第七、配水實費 前年度末現在

水道名	經常費		配水總量 = 配水一立方 米對スル實費 = 配水一立方 米對スル送水 費
	本年 度 決 算	前 年 度 決 算	
	豫 算	豫 算	
	事 務 費	事 務 費	
	水 源 水 路 費	水 源 水 路 費	
	淨 水 場 費	淨 水 場 費	
	水 管 維 持 費	水 管 維 持 費	
	雜 支 出	雜 支 出	
	立 方 米	立 方 米	
	圓 厘 毛	圓 厘 毛	
	圓 厘 毛	圓 厘 毛	

第八、水道ト河井トノ使用比較 前年度末現在

水道名	給水区域内總戸口數		水道使用戸口數		堀井又ハ河水 等使用戸數	堀井數	堀井又ハ河水 等ノ水質概況
	戸 數	人 口	戸 數	人 口			

第九、水質試驗表

【備考】 數位小數ハ三位迄ヲ掲クルコト

(其一) 濾過水質試驗成績

平均	十二月	十一月	十月

第十、源水濾過水比較試驗成績

【備考】 數位小數ハ三位迄ヲ掲クルコト

水道名	源水			
	沈澄池	濾過池	市内栓	源水
檢水種類				
回数 氏				
溫度 (攝氏)				
色度				
濁度				
臭味				
反應				
格魯兒				
硫酸				
亞硝酸				
安母尼				
硬度				
固形物				
總量				
滿色				
加色				
菌落				
細落				
備考				

(其二)

各種水質試驗成績

昭和

年 自一月至十二月

水道名	昭和 年								
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月
檢水種類									
回数 氏									
溫度 (攝氏)									
色度									
濁度									
臭味									
反應									
格魯兒									
硫酸									
亞硝酸									
安母尼									
硬度									
固形物									
總量									
滿色									
加色									
菌落									
細落									
備考									

第十一、水ニ關スル三病比較表

										水道名
平均	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年次
										人口
										戸數
										給水 栓數
										患者
										死亡
										虎列拉
										腸窒扶斯
										患者
										死亡
										赤痢
										患者
										死亡
										三病 患者總數
										人口十 萬ニ對スル 者割合
										三病 死亡總數
										人口十 萬ニ對スル 死亡割合
										備考

											水道名		
平均	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月	昭和 年
													降雨量
													細菌數
													格魯兒量
													ンカメレオ
													固形物總量
													備考

(水道名) _____

(十二) 水質完全分析成績 _____年 月 日

檢水種類	源水					濾過水				
	春	夏	秋	冬	平均	春	夏	秋	冬	平均
試驗季節										
試驗月日										
溫度										
濁度										
色度										
臭度										
反應度										
クロール										
硫酸 (SO ₃)										
硝酸 (N ₂ O ₅)										
亞硝酸 (N ₂ O ₃)										
アムモニア性窒素										
蛋白アムモニア性窒素										
過マンガン酸カリウム消費量										
硬度										
蒸發殘渣										
鉛 (Pb)										
鐵 (Fe)										

● 上水道職工工夫取締同盟規約 (明治四十二年第六回上水協議會ニ於テ決議)

- 第一條 上水協議會ニ加盟セル各應相互ノ便益ヲ謀ル爲上水工事ニ使役スル職工工夫ニ關シ本同盟規約ヲ締結ス
- 第二條 本規約ニ於テ職工工夫ト稱スルハ鐵工、鉛工其他ノ職工、工夫ヲ云フ
- 第三條 同盟各應ハ職工工夫ノ需用又ハ不用ニ關シ相互通知ヲ以テ融通上ノ利便ヲ謀ルノ義務ヲ有ス
- 第四條 從前他ノ同盟應ニ於テ使役シタル職工工夫ヲ備使セントスルトキハ最近使役應ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス但シ一箇年間ヲ經過シタルモノハ此ノ限ニアラス
- 第五條 不都合ノ行爲アリタルカ爲職工工夫ヲ解備シタルトキハ同盟各應ハ互ニ即時通知スルノ義務ヲ有ス但シ本條ノ職工工夫ハ滿一箇年間各應ニ於テ使役スルコトヲ得ス
- 第六條 同盟應ヨリ職工工夫需用ノ通知ヲ受ケタルトキハ其需用ヲ充タシタル後ニアラサレハ同盟應以外ノ需用ニ應スルコトヲ得ス
- 第七條 他ノ同盟應ニ就職中ノ職工工夫ヲ採用セシコトヲ發見シタルトキハ直チニ解備スヘシ
- 第八條 同盟各應ニ於テ職工工夫ノ待遇上ニ關シ設定セル規定(内規ヲ含ム)ハ互ニ通知スヘシ
- 第九條 同盟應ニシテ本規約ニ違背ノ行爲アリタルトキハ其關係應又ハ之ヲ知リタル應ヨリ上水協議

會ニ報告シ其ノ處分方ノ決議ヲ請求スルモノトス

第十條 同盟以外ノ應ニ本同盟規約ニ牴觸ノ行爲アリタルトキハ前條ノ手續ニ依テ上水協議會ヨリ當該應ニ警告ヲ與フルモノトス

●加盟各所ハ加盟ノ際濫過用細砂及水菌培養ヲ交換スルコト(明治四十二年第六回上水協議會ニ於テ決議)

但シ砂種ヲ變換シ又ハ新ニ水菌種ヲ得タルトキハ追加分配スルコト

●加盟各所ハ每年上水協議會ニ於テ水道使用條例ヲ交換スルコト(大正元年第九回上水協議會ニ於テ決議)

●加盟各所ハ給水條例同施行細則並内規類ヲ改廢シタル場合ハ各加盟所ニ送付スルコト(昭和五年九月第二十六回上水協議會ニ於テ議決)

●當番所ハ陸海軍省醫務局、内務省並東京、京都、東北及九州ノ各大學へ案内スルコト(大正元年第九回上水協議會ニ於テ修正決議(陸海軍省醫務局ヲ加フ)大正二年第十回上水協議會ニ於テ修正決議(各大學ヲ加フ))

●統計類及議事録配付部數 (第十九回上水協議會ニ於テ決議)

一、議事録

一箇所二部、外ニ各出席員ニ一部宛トス

二、統計類

一箇所最少三部トシ各會員ノ會費負擔額ニ按分シテ其ノ部數ヲ定ム但シ計算上一部當ニ滿タサル會費額ノ端數ヲ生シタルトキハ其ノ半額以上ノモノハ之ヲ一部トシ半額ニ滿タサルモノハ切捨ツ

以上部數ノ外配本ヲ希望スルモノニハ實費ヲ以テ願ツコトヲ得

上水協議會ノ職員

六〇

理事 昭和四年九月第二十六回
上水協議會ニ於テ改選重任

東京市長 永田秀次郎

東京市助役 十時 尊

輔佐 東京市收入役 小木千丈

東京市水道局長 原 全 路

東京市主事 武藤麒麟郎

同 横田富太郎

東京市事務員 西岡義男

同 秋山忠治

同 石瀬與作

同 今井永吉

同 磯村邦夫

筆生同 四年六月一日任命 中井春雄

主事 昭和四年二月六日囑託
書記 昭和五年五月十三日囑託
同 大正十三年一月二十九日囑託
同 昭和四年六月十一日任命
同 大正十五年六月十六日任命
同 昭和五年四月二十六日任命
同 四年八月十九日任命
筆生同 四年六月一日任命

昭和六年度上水協議會歲入出豫算 (第二十七回上水協議會議決)

歲入

一金貳萬五千壹百拾參圓也

歲入豫算總額

歲出

一金貳萬五千壹百拾參圓也

歲出豫算總額

差引殘金ナシ

昭和六年度上水協議會歲入出豫算

歲入

豫算	科目	項目	豫算額		豫算	科目	項目	豫算額		豫算	附	種別及箇數	單位	金額
			種	目				種	目					
歲入	一 上水協議會費收入	一 會費收入	一九〇九三	一會費收入	一 積立金處分	一 積立金處分	一 積立金處分	一 積立金處分	一 積立金處分	一 積立金處分	一 積立金處分	一 積立金處分	一 積立金處分	一 積立金處分
			二〇,一三三	二 預金利息收入										
歲入	二 繰入金	二 繰入金	五,〇〇〇	二 繰入金	三 雜收入	三 雜收入	三 雜收入	三 雜收入	三 雜收入	三 雜收入	三 雜收入	三 雜收入	三 雜收入	三 雜收入
			五,〇〇〇	三 雜收入										
合計	合計	合計	二五,一三三	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計

經常部

豫算	科目	項目	豫算額		豫算	科目	項目	豫算額		豫算	附	種別及箇數	單位	金額
			種	目				種	目					
歲入	一 上水協議會費	一 事務費	二三,一九三	一 事務費	一 給料	一 給料	一 給料	一 給料	一 給料	一 給料	一 給料	一 給料	一 給料	一 給料
			一六,五六三	二 雜給										
歲入	二 雜費	二 雜費	五,六〇〇	二 雜費	三 需用費	三 需用費	三 需用費	三 需用費	三 需用費	三 需用費	三 需用費	三 需用費	三 需用費	三 需用費
			三,〇〇〇	四 雜費										
合計	合計	合計	二九,〇九三	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計

科 款	項目	臨時部						科 款	項目	預算額	種 目	預算額	附 種別及箇數	單 位	金 額
		經常部計			臨時部計										
		二 會議費			三 豫備費					3,700					
		5,700			6,700										
		六 雜費			七					700					
		五 速記料			三					300					
		四 諸手当			二					200					
		三 印刷			二					500					
		二 消耗品			一					1,500					
經常部計		16,563			6,700										

昭和五年度 昭和六年度 上水協議會豫算對照表

歲 出	臨時部計	一 事務費		一 濾過速度 調査費本 年度支出 額
		二 調査費	一 雜費	
合計	八,五五〇	八,五〇〇	五〇	八,五五〇
	八,五五〇	一	依託調査費	八,五〇〇
				五〇
				五〇

豫算科目	昭和五年度		昭和六年度		五年 度ニ比 シ増減(△)	說
	一、上水協議會 收入	二、會費收入	一、上水協議會 收入	二、會費收入		
一、會費收入	16,893	19,092	2,100		本項ノ増加ハ會員ノ負擔額ヲ増加セシニ由ル	
二、利子收入	534	627	103		本項ノ増加ハ準備積立金増加ノ結果ニ由ル	
三、雜收入	663	394	26	△	本項ノ減少ハ印刷物實費配付減少スル見込ナルニ由ル	

豫算科目	昭和五年度		昭和六年度		五年 度ニ 比シ 増減 (△)	說
	項	金額	項	金額		
一、繰入金						
二、繰入金						
一、積立金繰入						
歳入合計		一八、〇七六		二五、一三三	七、〇三五	

歳出 (經常部)

豫算科目	昭和五年度		昭和六年度		五年 度ニ 比シ 増減 (△)	說
	項	金額	項	金額		
一、上水協議會費		一八、〇七六		一六、五六三	一、五一五	
一、事務費		一三、六六七		一三、一九三	一、四八五	本項ノ減少ハ前年度ノ実績ニ鑑ミ印刷費ヲ減少シタルト手當ヲ減少シタルニ由ル但シ通信數ハ増加セルヲ以テ通信及郵送費ノ増加ヲ見タリ
二、會議費		三、七〇〇		三、七〇〇	〇	
三、豫備費		七〇〇		六七〇	三〇	
經常部計		一八、〇七六		一六、五六三	一、五一五	

(臨時部)

豫算科目	昭和五年度		昭和六年度		五年 度ニ 比シ 増減 (△)	說
	項	金額	項	金額		
一、濾過速度調査費本年度支出額				八、五五〇	八、五五〇	
一、事務費				五〇	五〇	
二、調査費				八、五〇〇	八、五〇〇	
臨時部計				八、五五〇	八、五五〇	
歳出合計		一八、〇七六		二五、一三三	七、〇三五	

昭和五年度 昭和六年度 加盟各所負擔額對照表

級別	昭和五年度	昭和六年度	五年 度ニ 比シ 増減 (△)	備考
一級 (經營中) (計畫又ハ工事中)	三〇六七二〇	三四一八〇〇	三五〇八〇	
二級 (〃〃)				

級別	昭和五年度	昭和六年度	五年度ニ比シ増減(△)	備考
三級 (經營中 計畫又ハ工事中)	二五九三〇	二八九三五	三〇・二〇	
四級	二三五六四〇	二六三・一三〇	二七・四九〇	
五級	二二・九五〇	二二六・九〇〇	二四・九五〇	
六級	一八八・二六〇	二二〇・六八〇	二二・四二〇	
七級	一六四・五七〇 一七・一八〇	一八四・四五〇 一三三・〇〇〇	一九・八八〇 一四・八二〇	六年度ニ於テ七箇所ハ一五八圓二二一〇トス
八級	一四〇・八八〇 一〇五・三四〇	一五八・二三〇 一八・八八九〇	一七・三五〇 一三・五五〇	
九級	一一七・一八〇 九三・四九〇	一三三・〇〇〇 一〇五・七七〇	一四・八二〇 一三・二八〇	
十級	九三・四九〇 八一・六五〇	一〇五・七七〇 九三・六六〇	一二・二八〇 一一・〇一〇	

昭和六年度上水協議會會費負擔額調

(△印ハ計畫又ハ工事中
加盟所名欄〇ハ前年度豫算編成後新加入所)

加盟所名	昭和四年度末現在戸數	級別	按分率	半額均分額	按分額	合計負擔額
東京市	五〇六、七〇〇	一	一〇〇	七九・五五〇	二六二・二五〇	三四一・八〇〇
京都市	一四八、三五六	一	六〇	七九・五五〇	一五七・三五〇	三三六・九〇〇
大阪市	五六七、七〇〇	一	一〇〇	七九・五五〇	二六二・二五〇	三四一・八〇〇
神戸市	一三三、四八〇	一	六〇	七九・五五〇	一五七・三五〇	三三六・九〇〇
横濱市	一六五、六五七	一	七〇	七九・五五〇	一八三・五八〇	二六三・一三〇
名古屋市	二二四、一七七	三	八〇	七九・五五〇	二〇九・八〇〇	二八九・三五〇
名古屋	三五、九〇三	七	四〇	七九・五五〇	一〇四・九〇〇	一八四・四五〇
小樽市	二八、七〇三	八	三〇	七九・五五〇	七六・六八〇	一五八・二三〇
室蘭市	一〇、五一三	八	三〇	七九・五五〇	七六・六八〇	一五八・二三〇
釧路市	九、〇五二	九	二〇	七九・五五〇	五三・四五〇	一三三・〇〇〇
目黒市	一四、六九一	八	三〇	七九・五五〇	七六・六八〇	一五八・二三〇
澁谷町	二二、三八六	八	三〇	七九・五五〇	七六・六八〇	一五八・二三〇
橋本町	一四、三九五	八	三〇	七九・五五〇	七六・六八〇	一五八・二三〇
青森市	一、九〇五	十	一〇	七九・五五〇	二六・二三〇	一〇五・七七〇

加 盟 所 名	昭 和 四 年 末 現 在 戶 數	級 別	按 分 率	半 額 均 分 額	按 分 額	合 計 負 擔 額
宇 都 宮 市	一六、六四三	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
足 利 市	八、二八三	八	一〇	七九、五五〇	二六、二三〇	一〇五、七七〇
奈 良 市	一一、〇一三	八	三〇	七九、五五〇	七八六七〇	一五八、二三〇
津 日 市	一一、一四一	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
四 日 市	八、九一〇	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
桑 名 市	四、九四六	八	一〇	七九、五五〇	二六、二二〇	一〇五、七七〇
豐 岡 市	一七、八三三	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
靜 岡 市	二五、七二六	八	一五	七九、五五〇	三九、三四〇	一一八、八九〇
熱 海 市	二、五二八	八	一五	七九、五五〇	三九、三四〇	一一八、八九〇
伊 東 市	一、八五九	十	一〇	七九、五五〇	二六、二二〇	一〇五、七七〇
甲 府 市	一七、四一三	十	一〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
大 谷 市	一、五八九	八	一〇	七九、五五〇	二六、二二〇	一〇五、七七〇
長 津 市	七、八〇一	八	二〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
松 本 市	一四、五二八	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
上 野 市	一四、六四八	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
上 田 市	七、七〇〇	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
上 諏 訪 市	四、四七〇	九	一〇	七九、五五〇	二六、二二〇	一〇五、七七〇
仙 臺 市	三、三七五	七	一〇	七九、五五〇	一〇四、九〇〇	一八四、四五〇
鹽 釜 市	三、一五〇	七	一〇	七九、五五〇	二六、二三〇	一〇五、七七〇

加 盟 所 名	昭 和 四 年 末 現 在 戶 數	級 別	按 分 率	半 額 均 分 額	按 分 額	合 計 負 擔 額
堺 市	二六、六六〇	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
横 須 賀 市	一九、五六四	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
川 崎 市	二一、二九五	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
尼 崎 市	一〇、三四一	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
姫 路 市	一四、一四八	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
西 宮 市	八、九三四	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
明 石 市	八、五二五	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
高 砂 市	一、八五三	十	一〇	七九、五五〇	二六、二二〇	一〇五、七七〇
高 岡 市	二、一六八	十	一〇	七九、五五〇	二六、二二〇	一〇五、七七〇
長 崎 市	三九、八六五	七	四〇	七九、五五〇	一〇四、九〇〇	一八四、四五〇
佐 世 保 市	二二、五四六	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
新 潟 市	三二、五四六	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
新 潟 市	二四、一三九	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
新 潟 市	三、八五五	八	一〇	七九、五五〇	二六、二二〇	一〇五、七七〇
長 岡 市	一〇、四三八	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
高 橋 市	五、五八三	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
前 橋 市	一六、六七九	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
高 崎 市	一三、〇四三	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇
水 戸 市	一〇、三三八	八	三〇	七九、五五〇	七八六八〇	一五八、二三〇

加盟所名	昭和四年末現在戸數	級別	按分率	半額均分額	按分額	合計負擔額
吳市	三、二二五	七	四〇	七九、五五〇	一〇四、九〇〇	一八四、四五〇
尾道市	七、一一〇	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
福山市	八、〇二〇	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
下關市	二四、一〇九	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
宇部市	一六、九七五	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
徳島市	一八、九二四	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
高松市	一七、三三九	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
丸亀市	六、三三一	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
松山市	二一、四三二	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
宇和島市	九、三三七	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
高知市	二一、三七三	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
福岡市	三六、九三三	七	四〇	七九、五五〇	一〇四、九〇〇	一八四、四五〇
久留米市	一六、五九二	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
門司市	二二、七三一	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
小倉市	一七、一五六	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
若松市	一一、五六五	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
大牟田市	一八、九八七	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
八幡平市	三三、八八一	七	四〇	七九、五五〇	一〇四、九〇〇	一八四、四五〇
戸畑市	九、二九四	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇

加盟所名	昭和四年末現在戸數	級別	按分率	半額均分額	按分額	合計負擔額
石巻市	四、九三二	十	五	七九、五五〇	一三、二一〇	九二、六六〇
福島市	四、二九五	十	五	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
若松市	七、九一五	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
郡山市	九、四五三	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
平塚市	四、七一	十	一〇	七九、五五〇	二六、三二〇	一〇五、七七〇
青森市	一六、七二六	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
五所原町	一、五三三	十	一〇	七九、五五〇	二六、三二〇	一〇五、七七〇
山形市	一一、九三〇	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
秋田市	八、三〇一	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
福島市	一四、三〇五	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
金澤市	三三、五四八	七	四〇	七九、五五〇	一〇四、九〇〇	一八四、四五〇
高岡市	一〇、三〇二	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
鳥取市	七、六一〇	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
米子市	七、三四三	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
松江市	九、六九八	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
岡山市	二九、五二七	八	三〇	七九、五五〇	七六、六八〇	一五八、二三〇
倉敷市	六、五七〇	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇
廣島市	六、六八〇	九	二〇	七九、五五〇	五二、四五〇	一三三、〇〇〇

加盟所名	昭和四年末 現在戶數	級別	按分率	半額均分額	按分額	合計負擔額
飯塚町	七,七三三	九	二〇	七九,五五〇	五二,四五〇	一三二,〇〇〇
大分市	一〇,八三三	八	三〇	七九,五五〇	七八,六七〇	一五八,二二〇
別府市	八,九五八	九	二〇	七九,五五〇	五二,四五〇	一三二,〇〇〇
中津市	五,七三三	九	二〇	七九,五五〇	五二,四五〇	一三二,〇〇〇
佐賀市	八,三五七	八	二〇	七九,五五〇	五二,四五〇	一三二,〇〇〇
熊本市	二九,六六一	八	三〇	七九,五五〇	七八,六八〇	一五八,二三〇
鹿兒島市	二五,九三七	八	三〇	七九,五五〇	七八,六八〇	一五八,二三〇
那霸市	一三,三四三	八	一五	七九,五五〇	三九,三四〇	一一八,八九〇
朝鮮總督府	—	—	—	—	—	—
京城府	七四,三三一	一	一〇〇	七九,五五〇	二六,二二五	三四一,八〇〇
仁川府	一三八,六四〇	六	五〇	七九,五五〇	一三,一一三〇	二二〇,六八〇
群山市	五,三三四	八	三〇	七九,五五〇	七六,六八〇	一五八,二三〇
大邱府	二二,一八一	八	三〇	七九,五五〇	五二,四五〇	一三二,〇〇〇
釜山府	二六,一五三	八	三〇	七九,五五〇	七六,六八〇	一五八,二三〇
平壤府	三七,一五	八	四〇	七九,五五〇	一〇四,九〇〇	一八四,四五〇
鎮南浦府	八,〇四一	七	二〇	七九,五五〇	五二,四五〇	一三二,〇〇〇
元山府	九,五九六	七	二〇	七九,五五〇	五二,四五〇	一三二,〇〇〇
新義州府	九,〇一三	九	二〇	七九,五五〇	五二,四五〇	一三二,〇〇〇

加盟所名	昭和四年末 現在戶數	級別	按分率	半額均分額	按分額	合計負擔額
木浦府	六,二三五	九	二〇	七九,五五〇	五二,四五〇	一三二,〇〇〇
咸興府	六,八六五	九	二〇	七九,五五〇	五二,四五〇	一三二,〇〇〇
臺灣總督府	—	—	—	—	—	—
關東廳	五,二〇九	一	一〇〇	七九,五五〇	二六,二二五	三四一,八〇〇
豐原町	六,三四三	九	二〇	七九,五五〇	五二,四五〇	一三二,〇〇〇
大泊町	一七四,五三九	九	二〇	七九,五五〇	一八三,五八〇	二六三,一三〇
荒玉水道町村組合	一六四,九三三	九	七〇	七九,五五〇	一八三,五八〇	二六三,一三〇
江戶川上水町村組合	—	—	—	—	—	—
南滿洲鐵道株式會社	—	—	—	—	—	—
玉川水道株式會社	一三九,〇三四	六	一〇〇	七九,五五〇	二六,二二五	三四一,八〇〇
箱根登山鐵道株式會社	一三八	一	一〇〇	七九,五五〇	一五,七三五	二三六,九〇〇
湘南水道株式會社	六,〇三三	九	二〇	七九,五五〇	五二,四五〇	一三二,〇〇〇
計 百二十箇所	—	—	—	九,五四六〇〇	九,五四六〇〇	一九,〇九二〇〇

上水協議會財產目錄

(昭和四年度末現在)

一、準備積立金

一金壹萬壹千四百八拾圓八拾參錢也

二、備品

品名	數量	價格	摘要
手提金庫	一個	一三六〇〇	
謄寫版	二組	七六〇〇〇	
書籍戸棚	四組	二八五〇〇〇	
印箱	一個	三三〇〇〇	
肉池(朱肉共)	一個	三四五〇	
日附印	一組	一三八〇〇	
木印	理事印外 一〇個	九五五〇	
ゴム印	一個	四五〇	
コンパス	一個	四二〇〇	
分割器	一個	二〇〇〇	
三角定規	一組	一七〇〇	

三、消耗品

品名	數量	價格	摘要
珈琲茶碗(盆皿付)	三組	一五六〇〇	
簿記帳	三冊	九八〇〇	
計算器(アリスモス、ノバ) 1アリスモス、1ノバ)	二臺	一、一九〇〇〇	
パイソングラ	一個	三七〇〇	
紙綴器(ネバク)	一個	一三五〇〇	
書籍	行政執行法論外 六六冊	一三三、三八〇	
計		一、七六七、八三〇	
郵便葉書	一九八枚	三、九七〇	
郵便切手	一五枚	一、一五〇	
同	二〇六枚	四、二三〇	
同	一〇六枚	三、一八〇	

四、印刷物

品名	數量	價格	摘要
郵便切手五錢	三三枚	一六五〇 ^円	
同 十錢	六三枚	六三〇〇	
同 二十錢	三九枚	七八〇〇	
同 二十五錢	三〇枚	七五〇〇	
同 五十錢	五枚	二五〇〇	
市街電車回数乘車券	三九枚	二七三〇	
計		三八九〇〇	

品名	數量	價格	摘要
報上水道統計及告	第一號	二八部	二八〇〇 ^円
同	第二號	三五部	一〇五〇〇〇
同	第三號	七部	六八六〇
同	第四號	四二部	一三一八〇
同	第五號	四三部	九九九〇
同	第六號	三五部	一三三三〇〇
同	第七號	二一部	八四〇〇〇
同	第八號	四八部	一九三〇〇〇
同	第九號	二四部	八六四〇〇
同	第十號	三一部	一三六四〇〇
同	第十一號	三部	一一八五〇
同	第十二號	三九部	一六八五〇
同	第十三號	三八部	一三六八〇〇
同	第十四號	三三部	一三五四〇〇
同	第十五號	八部	一八八〇〇
錄第十九回上水協議會議事	一三部	三九〇〇〇	
錄第二十回上水協議會議事	四九部	一一〇二五〇	

品名	數	量	價	格	摘	要
第二十一回上水協議會議事錄		八〇部		一四・〇〇〇 _円		
第二十二回上水協議會議事錄		九五部		一七・〇〇〇		
第二十三回上水協議會議事錄		六二部		一四・四六〇		
第二十四回上水協議會議事錄		二六部		八〇・六〇〇		
第二十五回上水協議會議事錄		三四部		六一・二〇〇		
協定水道用鑄鐵管規格書		一五四部		三七・七三〇		
水道用鑄鐵管外三件規格書		二〇部		一七・〇〇〇		
水道用鐵管接手耐震試驗報告書		三九六部		五一・八〇〇		
水道用鉛管及翼車式量水器ニ關スル規格書		二六七部		四二・七三〇		
計				三一・四五六七〇		

自昭和六年度至昭和八年度 濾過速度調査費繼續年期及支出方法 (第二十七回上水協議會議決)

一金壹萬參千六百貳拾圓

濾過速度調査費

内 譯

- 金八千五百五拾圓
- 金參千六百圓
- 金壹千四百七拾圓

- 昭和六年度支出額
- 昭和七年度支出額
- 昭和八年度支出額

說明

本件ハ第二十六回上水協議會ノ議決ニ基キ濾過速度調査方水道研究會へ依頼スル爲之カ所要經費ヲ計上ス

自昭和六年度至昭和八年度 濾過速度調査費支出計算表

科 款	項 目	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	計
一 濾過速度調査費		八五五〇 _円	三、六〇〇 _円	一、四七〇 _円	一三、六三〇 _円
	一事務費	五〇	一〇〇	一、四七〇	一、六二〇
	二調査費	八五〇〇	三、五〇〇	—	一二、〇〇〇

自昭和六年度至昭和八年度濾過速度調查費支出計算表說明

科	款	項目	豫算		種別及箇數	單位	金額
			預算額	附			
一 濾過速度調查費	一 事務費	一 印刷	一三、六二〇	四			
			二 旅費	九三〇			
			三 雜費	二〇〇			
			二 調查費	二、〇〇〇			
一 依託調查費			二、〇〇〇				

昭和五年度上水協議會歲入出追加豫算 (第二十七回上水協議會議決)

歲入 一金九百參拾六圓也
 歲入 豫算總額 一金九百參拾六圓也
 歲出 歲出 豫算總額 一金九百參拾六圓也

差引殘金ナシ

昭和五年度上水協議會歲入出追加豫算

歲入

科	款	項目	豫算		種別及箇數	單位	金額
			預算額	附			
一 繰入金	一 積立金繰入	一 積立金處分	九三六	四			
			九三六				
歲入合計			九三六				

臨時部 歲出

科 款	項目	豫算額		種別及箇數	單位	金額
		種	目			
制水弁及 排氣弁調 査費		九三六		一印	刷	五〇〇
	一事務費	九三六		二旅	費	四三六
	合計	九三六				

說明

本件ハ第二十二回及第二十三回上水協議會ニ於テ制水弁及排氣弁ノ規格制定スルコト、シ其ノ調査方ヲ日本工學會ニ依頼スルコトニ議決セラレ其ノ經費トシテ第二十四回上水協議會ニ於テ昭和三年度同四年度繼續費支出議決セラレタルモ昭和四年度末ニ於テ完了セサルニ付未完了ノ分ハ昭和五年度ニ於テ繼續施行ノ必要アルヲ以テ資源ヲ準備積立金ニ需メ豫算ノ追加ヲナセリ

昭和四年度上水協議會歳入出決算 (第二十七回上水協議會議決)

歳入

一金貳萬五千四百圓四拾五錢

歳入 決算 高

歳出

一金壹萬五千九拾貳圓八錢

經常部 決算 高

一金五千九百八拾七圓九拾五錢

臨時部 決算 高

合計金貳萬壹千八拾圓參錢

歳入出差引

殘金四千參百貳拾圓四拾貳錢

内

金壹千壹百參拾參圓

翌年度へ繰越額

差引殘金參千壹百八拾七圓四拾貳錢

昭和四年度剩餘金

昭和四年度上水協議會歳入出決算

歳入

(△印ハ不足ヲ示ス)

科目	款項	預算額	決算額	超過又 ハ不足又	種目	豫算額	決算額	附 種別及箇數	單位	金額	記 豫算 決算	摘要
		二,三三〇,〇〇〇	二,三三〇,〇〇〇	〇	第二十五、二十六回上水協議會議決	二,三三〇,〇〇〇	二,三三〇,〇〇〇					本項ノ不足セシハ會 費未納ノ箇所アリタ ルニ由ル
		一〇,一四九,〇〇〇	一〇,一四九,〇〇〇	〇	一會費收入	一〇,一四九,〇〇〇	一〇,一四九,〇〇〇					
		六〇〇,〇〇〇	六〇〇,〇〇〇	〇	一利子收入	六〇〇,〇〇〇	六〇〇,〇〇〇					
		四七五,〇〇〇	四七五,〇〇〇	〇	一印刷物實費 一配付收入	四七五,〇〇〇	四七五,〇〇〇					
		〇	〇	〇	三雜收入	〇	〇					
		〇	〇	〇	三過年度會 費收入	〇	〇					
		二,四〇〇,〇〇〇	二,四〇〇,〇〇〇	〇	第二十五、二十六回上水協議會議決	二,四〇〇,〇〇〇	二,四〇〇,〇〇〇					本項ノ不足セシハ第 二目ニ於テ印刷物納 入契約於テ熱海町ヨ リ前年度會費納入第 三目ニ於テ熱海町ヨ リ印刷物費第一目ニ テ印刷物費配付ニ由 テ少ナカリシニ由ル
		二,四〇〇,〇〇〇	二,四〇〇,〇〇〇	〇	一積立金處 分線入金	二,四〇〇,〇〇〇	二,四〇〇,〇〇〇					
		一,六七五,〇〇〇	一,六七五,〇〇〇	〇								
		一,六七五,〇〇〇	一,六七五,〇〇〇	〇								
		二,五,九〇〇,〇〇〇	二,五,九〇〇,〇〇〇	〇								

歲出

經常部

(△印ハ超過ヲ示ス)

科目	款項	預算額	決算額	超過又 ハ不足又	種目	豫算額	決算額	附 種別及箇數	單位	金額	記 豫算 決算	摘要
	一上水協議 會費	一七,六三三,〇〇〇	一七,〇〇〇,〇〇〇	六三三,〇〇〇	第二十五回上水協議會議決	一七,六三三,〇〇〇	一七,〇〇〇,〇〇〇					本項ノ殘餘ヲ生セシ ハ各目ニ於テ豫定迄 ヲ要セサリシニ由ル
		二,八〇〇,〇〇〇	二,三三三,〇〇〇	四六七,〇〇〇	一給料	二,八〇〇,〇〇〇	二,三三三,〇〇〇	書記(會月)元 職員五日(一)	平均月俸 七圓七五	五四八,〇〇〇 四三六,〇〇〇		
		二,八〇〇,〇〇〇	二,五〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	三雜給	二,八〇〇,〇〇〇	二,五〇〇,〇〇〇	筆生 旅費 車馬賃		一,五三三,〇〇〇 一,四八二,〇〇〇 五九,〇〇〇		
		七,四九五,〇〇〇	六,六三三,〇〇〇	八二二,〇〇〇	三需用費	七,四九五,〇〇〇	六,六三三,〇〇〇	備品消耗 通信及郵 送費		二,〇〇〇,〇〇〇 九六七,〇〇〇 三〇〇,〇〇〇 三九二,〇〇〇		六八圓 豫備費充當
		三〇〇,〇〇〇	三八〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇	四雜費	三〇〇,〇〇〇	三八〇,〇〇〇	印刷		六,七四五,〇〇〇 六,一三三,〇〇〇		
	一事務費	二三,三九五,〇〇〇	二一,四八五,〇〇〇	一,八七〇,〇〇〇								

第一、工事、工費並規模

昭和五年三月三十一日現在

【備考】 計畫又ハ工事中ノモノハ工費上欄ニ豫算ヲ掲ゲ

水道名	起工年月	竣工年月	工費	計 水 入 口 給 入	畫 一日 總 給 水 量 立 方 米	備 考
京都市	創 設明治三十五年十二月	明治四十四年三月	九、一八、六七三			
京都市	第一回擴張大正二年十一月	昭和三十年三月	六八、二四五、九五五			
京都市	第二回擴張大正四年六月	明治四十五年三月	三五、五一、二九一			
京都市	第三回擴張大正九年七月	大正二年五月	五、二五、二六四			
京都市	第四回擴張昭和三年十二月	事 中	一、六〇、〇〇〇			
京都市	第一回擴張同 四十五年七月	大正二年五月	二、七六、九二			
京都市	第二回擴張同 九九年七月	同 十二年三月	六五九、二六			
京都市	第三回擴張同 十三年十二月	事 中	一、〇三、一〇一			
京都市	第四回擴張同 三十三年九月	同 三十四年十二月	二、五〇、〇〇〇			
京都市	創 設明治二十五年八月	明治二十八年十月	二、三九、九四五			
京都市	第一回擴張同 三十三年九月	同 三十四年十二月	八八、六三一			
京都市	第二回擴張同 四十一年一月	大正三年三月	九、四三、五九三			
京都市	第三回擴張大正八年九月	同 十一年三月	一〇、四三、九六六			
大阪市	創 設					
大阪市	第一回擴張同					
大阪市	第二回擴張同					
大阪市	第三回擴張同					

第一 工事、工費並規模

水道名	起工年月	竣工年月	工費	計		備考
				水豫 人口給	給一日平均 リットル	
横濱市	第四回擴張同	十四年五月昭和五年三月	七、七二、六一	七、七二、六一	一、〇四、七三	第三回擴張ハ工事中 擴張給水豫定人口ハ 七五〇、〇〇〇人 一日一八極度給水量 ハ二五〇リットル
	第一回擴張同	三十一年六月同三十四年十二月	一、九〇、六六九	一、九〇、六六九	一、九〇、六六九	
	第二回擴張同	四十三年八月大正四年三月	七、〇五、四二四	七、〇五、四二四	七、〇五、四二四	
	第三回擴張昭和五年九月昭和九年三月	七、三〇、〇〇〇	七、三〇、〇〇〇	七、三〇、〇〇〇		
神戸市	第一回擴張同	明治三十年五月明治三十八年五月	三、四〇五、八六七	三、四〇五、八六七	三、四〇五、八六七	第三回擴張ハ工事中 擴張給水豫定人口ハ 七五〇、〇〇〇人 一日一八極度給水量 ハ二五〇リットル
	第二回擴張同	十四年十一月大正十年三月	一、六一、二五六	一、六一、二五六	一、六一、二五六	
	第三回擴張同	十四年十二月昭和六年三月	九、八八、〇三三	九、八八、〇三三	九、八八、〇三三	
	第四回擴張同	十四年七月大正三年三月	四、九〇、七九四	四、九〇、七九四	四、九〇、七九四	
名古屋市	第一回擴張同	二年四月同三年三月	三、七九、〇八八	三、七九、〇八八	三、七九、〇八八	第三回擴張ハ工事中 擴張給水豫定人口ハ 七五〇、〇〇〇人 一日一八極度給水量 ハ二五〇リットル
	第二回擴張同	十二年九月同十三年三月	三、四六、〇四八	三、四六、〇四八	三、四六、〇四八	
	第三回擴張同	十五年一月昭和五年三月	七、三三、一八五	七、三三、一八五	七、三三、一八五	
	第四回擴張昭和四年十二月	三、七五、〇〇〇	三、七五、〇〇〇	三、七五、〇〇〇		
函館市	第一回擴張同	明治二十一年六月明治二十三年十二月	二、四一、六四七	二、四一、六四七	二、四一、六四七	第三回擴張ハ工事中 擴張給水豫定人口ハ 七五〇、〇〇〇人 一日一八極度給水量 ハ二五〇リットル
	第二回擴張同	二十七年九月明治二十九年十月	二、六六、九三三	二、六六、九三三	二、六六、九三三	
	第三回擴張同	六年五月大正十三年三月	三、三三、五〇四	三、三三、五〇四	三、三三、五〇四	
	第四回擴張同	六十一年三月大正三年九月	一、二二、九四九	一、二二、九四九	一、二二、九四九	
小樽市	第一回擴張同	明治四十一年三月大正三年九月	二、二七、九〇〇	二、二七、九〇〇	二、二七、九〇〇	第三回擴張ハ工事中 擴張給水豫定人口ハ 七五〇、〇〇〇人 一日一八極度給水量 ハ二五〇リットル
	第二回擴張同	三十一年七月昭和二年十二月	一、〇七、六六一	一、〇七、六六一	一、〇七、六六一	
	第三回擴張同	十年九月同十一年五月	八、四九、一	八、四九、一	八、四九、一	
	第四回擴張昭和二年十月昭和三年九月	九、六一、九三	九、六一、九三	九、六一、九三		
室蘭市	第一回擴張同	十年九月同十一年五月	一、〇七、六六一	一、〇七、六六一	一、〇七、六六一	第三回擴張ハ工事中 擴張給水豫定人口ハ 七五〇、〇〇〇人 一日一八極度給水量 ハ二五〇リットル
	第二回擴張同	十年九月同十一年五月	八、四九、一	八、四九、一	八、四九、一	
	第三回擴張同	十年九月同十一年五月	八、四九、一	八、四九、一	八、四九、一	
	第四回擴張昭和二年十月昭和三年九月	九、六一、九三	九、六一、九三	九、六一、九三		

水道名	起工年月	竣工年月	工費	計		備考
				水豫 人口給	給一日平均 リットル	
釧路市	創	設大正十三年十一月昭和五年三月	二、六五、〇〇〇	二、六五、〇〇〇	二、六五、〇〇〇	第二回擴張ハ工事中
	創	設大正十五年十一月昭和三年三月	九六、二八一	九六、二八一	九六、二八一	
八王子市	創	設大正十四年六月大正十五年五月	四、五、七九〇	四、五、七九〇	四、五、七九〇	第二回擴張ハ工事中
	創	設大正十三年四月大正十三年八月	一〇、〇、〇〇〇	一〇、〇、〇〇〇	一〇、〇、〇〇〇	
目黒町	第一回擴張	昭和四年三月	四、五、七九〇	四、五、七九〇	四、五、七九〇	第二回擴張ハ工事中
	第二回擴張	昭和五年三月	二、四、三三〇	二、四、三三〇	二、四、三三〇	
澁谷町	創	設大正十三年五月大正十三年九月	一〇、〇、〇〇〇	一〇、〇、〇〇〇	一〇、〇、〇〇〇	第二回擴張ハ工事中
	創	設大正十三年四月大正十三年八月	一〇、〇、〇〇〇	一〇、〇、〇〇〇	一〇、〇、〇〇〇	
淀橋町	第一回擴張同	十三年十一月同十四年一月	三、七〇、〇一七	三、七〇、〇一七	三、七〇、〇一七	第二回擴張ハ工事中
	第二回擴張昭和三年二月	六、八五、四三三	六、八五、四三三	六、八五、四三三		
青梅町	創	設大正十五年十一月昭和三年三月	二、六、九九二	二、六、九九二	二、六、九九二	第二回擴張ハ工事中
	創	設大正三年七月大正四年七月	五、九、九六六	五、九、九六六	五、九、九六六	
峰山町	第一回擴張同	十一年四月同十一年五月	一、九、五三八	一、九、五三八	一、九、五三八	第二回擴張ハ工事中
	創	設明治四十一年八月明治四十四年三月	六、八五、四三三	六、八五、四三三	六、八五、四三三	
堺市	第一回擴張大正四年十二月大正七年四月	六、二、七七八	六、二、七七八	六、二、七七八	第二回擴張ハ工事中	
	第二回擴張同	九年五月同十二年三月	三、六、九九九	三、六、九九九		
	第三回擴張同	十一年八月同十二年三月	八、二、〇五八	八、二、〇五八		
	第四回擴張同	十三年一月同十三年十一月	二、九、七、〇〇八	二、九、七、〇〇八		
	第五回擴張同	十五年七月昭和二年十一月	一、八、七、五五六	一、八、七、五五六		
	第六回擴張昭和三年七月	一、〇、六、六三三	一、〇、六、六三三	一、〇、六、六三三		
	第七回擴張同	三年八月同三年十二月	三、一、八七	三、一、八七		
	第八回擴張同	四年十月同四年十二月	三、一、四、四五	三、一、四、四五		
横須賀市	第一回擴張同	十二年六月同十三年十一月	一、四、九、七、七五	一、四、九、七、七五	第二回擴張ハ工事中	
	第二回擴張同	十五年九月昭和三年三月	七、一、五、三七	七、一、五、三七		

水道名	起工年月	竣工年月	工費	計		備考
				水豫 人定 口給	給一 水日 量平 均 リットル	
川崎市	創 設大正八年四月大正十年三月	第一回擴張同 十四年八月同 十四年十二月	九七〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	八	一人當八三リットル
姫路市	創 設大正十五年五月昭和四年六月	創 設大正六年四月大正七年十月	一三三,〇〇〇	七〇,〇〇〇	二	ノ外工場用水トシテ 米ヲ配水ス
尼崎市	第一回擴張同 十年九月同 十二年三月	第二回擴張同 十一年七月同 十二年八月	七九,五〇〇	二二,〇〇〇	二	立方米
	第三回擴張同 十三年三月同 十三年七月	第四回擴張同 十四年七月同 十四年九月	二二,九〇〇	八五,〇〇〇	二	一四,八八〇
	第五回擴張同 十五年四月昭和三年四月	第六回擴張昭和二年二月同 三年四月	一五,一〇〇	八六,六四七	二	七,二〇〇
明石市	創 設昭和三年三月昭和五年十一月	創 設大正十一年七月大正十三年六月	一〇〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	七	七,二〇〇
西宮市	創 設大正十一年七月大正十三年六月	創 設大正十一年七月大正十三年六月	一,一〇〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	二	七,五三三
高砂町	創 設大正十一年七月大正十三年六月	第一回擴張同 十二年二月同 十二年十二月	二八五,三五六	一五,〇〇〇	二	一,八七七
豊岡町	創 設昭和三年三月昭和五年十一月	第一回擴張同 十二年二月同 十二年十二月	三〇八,〇〇〇	二六,〇〇〇	一	三三,九六
長崎市	創 設明治二十二年四月明治二十四年三月	第一回擴張同 三十三年八月同 三十七年三月	二八二,〇〇〇	二六,〇〇〇	九	一〇,三八〇
佐世保市	創 設明治二十二年四月明治二十四年三月	第一回擴張同 三十三年八月同 三十七年三月	一四六,一〇五	二六,〇〇〇	九	一〇,三八〇
	第二回擴張大正八年十一月大正十五年三月	創 設明治三十九年三月明治四十一年三月	五,二四,六九五	二九,〇〇〇	二	
	第一回擴張同 四十二年一月同 四十二年三月	第二回擴張同 四十五年二月同 四十五年三月	二,九〇〇	二二,〇〇〇	八	

水道名	起工年月	竣工年月	工費	計		備考
				水豫 人定 口給	給一 水日 量平 均 リットル	
新潟市	第三回擴張大正十二年四月大正十五年三月	創 設明治四十一年五月明治四十三年十二月	六六,八七〇	六五,〇〇〇	八	第一回擴張ハ工事中
長岡市	創 設大正十二年十月昭和二年三月	創 設大正十三年四月大正十五年八月	一,〇〇〇,〇〇〇	四五,〇〇〇	二	
高田市	創 設大正十三年四月大正十五年八月	創 設大正十五年七月昭和三年三月	一,〇〇〇,〇〇〇	二七,〇〇〇	二	
新發田町	創 設大正十五年七月昭和三年三月	創 設大正十五年五月昭和五年三月	四四六,三八五	八〇,〇〇〇	二	
前橋市	創 設明治四十年十一月明治四十四年三月	創 設明治四十年十一月明治四十四年三月	二,〇一六,七〇〇	六〇,〇〇〇	二	
高崎市	第一回擴張大正十二年三月大正十四年三月	第二回擴張同 十四年四月同 十五年三月	一九一,一六三	五〇,〇〇〇	七	九,九六二
	第三回擴張同 十五年五月同 十五年十一月	第四回擴張昭和二年四月昭和二年十一月	一〇三,七六	九,七〇〇	七	
	第一回擴張大正五年三月大正五年十一月	第二回擴張同 十五年二月同 十五年五月	九五,七四四	三,五〇〇	一	二,五〇六
水戸市	創 設明治四十二年七月明治四十四年三月	第一回擴張同 十五年二月同 十五年五月	一九,八八三	二,一六	一	
	第二回擴張同 十五年二月同 十五年五月	第三回擴張昭和二年三月昭和二年五月	三三,一六七	三,五〇〇	一	
	第四回擴張同 四年九月同 四年十月	第五回擴張同 四年九月同 四年十月	七,四三六	三,五〇〇	一	
宇都宮市	創 設大正二年十一月大正五年七月	創 設昭和四年五月昭和六年三月	一,三五,四八〇	八〇,〇〇〇	八	八,三四八
足利市	創 設昭和四年五月昭和六年三月	創 設大正四年十二月大正十一年九月	一,二五,〇〇〇	五五,〇〇〇	四	七,七〇〇
奈良市	創 設大正四年十二月大正十一年九月	創 設大正十五年四月昭和五年三月	一,一五,一八七〇	五〇,〇〇〇	三	六,二五五
津市	創 設昭和四年十月	創 設昭和四年十月	三,八〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇	二	一三,三〇〇
四日市市	創 設昭和四年十月	創 設昭和四年十月	一,八五,〇〇〇	五〇,〇〇〇	九	七,三六〇
桑名町	第一回擴張昭和二年十月昭和四年九月	創 設明治三十三年七月明治三十七年六月	不詳	三〇,〇〇〇	九	四,一七四

第一 工事、工費並規模

當町内主要ノ施設ニナリ
取五五個ノ設備ニ任其用檢
本町ニ付テモノ大正十三年

水道名	起工年月	竣工年月	工費	水豫計	人口給	極度一日給水量	備考
豐橋市	創 設昭和二年三月	昭和五年三月	二六〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	二二	七,〇〇〇	計畫中
靜岡市	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
濱松市	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
伊東市	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
熱海市	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
甲府市	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
谷村町	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
大津市	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
岐阜市	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
長野市	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
松本市	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
上田市	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
上諏訪町	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
仙臺市	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
鹽釜町	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
石巻町	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
福島市	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
若松市	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中
郡山市	創 設昭和三年三月	昭和六年三月	二,〇〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	九	一六,〇〇〇	計畫中

水道名	起工年月	竣工年月	工費	水豫計	人口給	極度一日給水量	備考
平町	第二回擴張 大正七年十月	大正八年八月	一五,八四五	一〇〇	二	二,〇〇〇	昭和五年八月擴張工事認可工費二六四、〇〇〇圓、豫定給水量一人一日給水量五、〇〇〇リットル
青森市	創 設大正十三年十一月	昭和二年三月	八〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	八	八,三四八	
山形市	第一回擴張 同 十三年三月	同 十三年九月	一〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	八	二,七〇〇	
秋田市	第一回擴張 同 十四年四月	同 十五年三月	一〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	八	七,七二〇	
福井市	第一回擴張 同 十五年七月	同 十五年九月	一〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	八	七,七二〇	
金澤市	第一回擴張 同 十六年九月	同 十六年十一月	一〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	八	七,七二〇	
高岡市	創 設昭和三年三月	昭和六年五月	一,三五〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇	九	一四,六〇〇	大正七年九月災害ノ爲堰堤破壊セシニ付同八年七月改修工事ニ着手同十一月改修工事費五〇八、八五三圓
鳥取市	第一回擴張 昭和二年七月	昭和四年一月	三七,四九一	五〇,〇〇〇	二	五,五五五	
米子市	創 設大正十三年九月	大正十五年十一月	六八〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	二	二,三三六	

第一 工事、工費並規模

水道名	起工年月	竣工年月	工費	計	備考	
松江市	創 設大正三年十一月	大正八年三月	六四、〇六七	五五、〇〇〇	リフト 一五〇 二、〇〇〇	
	第一回擴張 昭和二年四月	昭和五年三月	三六、二四〇			
	創 設明治三十六年二月	明治三十八年三月	七四、六六六			
	第一回擴張 同 四十五年四月	大正元年十月	七、四九五			
	第二回擴張 大正二年八月	同 三年九月	二六、三四三			
	第三回擴張 同 四年八月	同 五年九月	四七、八八六			
	第四回擴張 同 七年三月	同 八年九月	二四、五三〇			
	第五回擴張 同 九年十一月	同 十一年三月	一、三三三、八四六			
	第六回擴張 同 十二年十月	昭和二年三月	三三〇、八〇〇			
倉敷市	創 設大正十一年二月	大正十二年九月	九三、九一一	二五、〇〇〇	九八	
	創 設明治二十九年五月	明治三十一年八月	一四、九四九			
	第一回擴張 同 四十年三月	同 四十一年三月	一、八九、七三〇			
	第二回擴張 大正十年六月	大正十三年六月	一、二九、二五八			
	創 設大正四年三月	大正七年三月	二五、六九八			
	第一回擴張 昭和二年一月	大正十四年三月	一、三五、四六一			
	第二回擴張 昭和二年一月	昭和二年三月	八、五九三			
	第二回擴張 同 三年六月	同 三年七月	二、四四五			
尾道市	創 設大正十一年六月	大正十五年三月	一、六六、三三八	五〇、〇〇〇	八〇	
福山市	創 設明治三十四年三月	明治三十九年三月	六六、六六六			從來ノ豫定給水人口ハ鐵道船舶製水等ノ特殊給水ハ一人當リ

水道名	起工年月	竣工年月	工費	計	備考	
下關市	第一回擴張 大正四年五月	大正五年五月	三九、七六一	八七、三〇〇	二〇、一七〇	基本水量ニ含メ計 シアルモ客年二月竣 功セル第三回擴張計 ハ是等ノ特殊給水 別ニ計算シ一人當 リ基本水量ヲ増大ス
	第二回擴張 同 九年八月	同 十一年三月	九二、五八九			
	第三回擴張 同 十四年十一月	昭和四年二月	一、三三、七〇九			
宇部市	創 設大正十二年十月	昭和二年三月	一、二五、一三三	七〇、〇〇〇	八、六四〇	
和歌山市	創 設大正十二年三月	大正十五年三月	二、八〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	三、三三〇	
徳島市	創 設大正十三年八月	昭和二年三月	二、三〇、五五四	一〇〇、〇〇〇	三、八〇〇	
高松市	創 設大正十三年十一月	大正十一年三月	一、四六、一一八	七五、〇〇〇	八、三四六	
	第一回擴張 同 十五年四月	昭和二年七月	二四、七九〇			
丸龜市	創 設大正十四年二月	大正十五年十月	六〇、一一三	三〇、〇〇〇	三、三三〇	
松山市	創 設昭和六年四月	昭和十年三月	二、九〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	計畫中
宇和島市	創 設大正十四年五月	大正十五年九月	八八、八四三	四三、〇〇〇	五、六五五	
高知市	第一回擴張 同 十四年八月	昭和二年三月	一〇〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇		
	第二回擴張 昭和二年十二月	同 四年三月	八六、〇〇〇			
	第三回擴張 同 四年四月	同 四年十二月	一〇五、〇〇〇			
福岡市	創 設大正二年二月	大正十三年三月	六、〇五、四九九	一〇〇、〇〇〇	一五、一三三	一部追加工事ヲ施ス 時ハ人口二十萬人迄 給水シ得
久留米市	創 設昭和二年一月	昭和五年三月	一、七二、〇七七	一〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	
門司市	創 設明治四十一年一月	明治四十五年三月	一、五三、七七八	八〇、〇〇〇	三、四四五	
	第一回擴張 大正九年十一月	大正十二年三月	三三、五七三			
小倉市	創 設明治四十三年九月	大正二年五月	一、〇七、七七七	八〇、〇〇〇	五、九一〇	
	第一回擴張 昭和五年二月		一八、〇〇〇			
若松市	創 設明治四十二年七月	明治四十五年三月	六二、〇〇〇	六五、〇〇〇	一〇、四三三	
	第一回擴張 大正十年一月	大正十四年三月	七九、一七五			

第一 工事、工費並規模

水道名	起工年月	竣工年月	工費	計	備考
大牟田市	創 設大正八年四月	大正十四年三月	一、七六、四〇五	六、〇〇〇	一五、二〇〇
八幡市	創 設昭和三年六月	昭和六年三月	七、七、四八六	一五、〇〇〇	一五、二〇〇
飯塚町	創 設大正十三年八月	大正十四年十月	二、五五、三三三	一、〇〇〇	三、八六六
直方町	創 設昭和五年一月		六、六八、一四八	三、〇〇〇	五、八三三
大分市	創 設大正十四年五月	昭和三年三月	一、二五、〇〇〇	七、〇〇〇	一〇、五〇〇
別府市	創 設大正二年十一月	大正六年三月	三、七三、五八〇	七、五〇〇	一三、五三三
中津市	創 設大正十五年十月	昭和三年三月	五〇二、五九〇	三〇、〇〇〇	三、七三〇
佐賀市	創 設大正四年十一月	大正五年十一月	五〇〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	五、〇九三
熊本市	創 設大正十一年四月	大正十四年三月	二、二九、六〇四	一〇〇、〇〇〇	三、三、一七
宮崎市	創 設大正四年八月	大正十一年三月	一、二七、六四七		
	第一回擴張同 十一年八月	同 十二年三月	六、五五元		
	第二回擴張同 十二年四月	同 十三年三月	二九、六三三		
	第三回擴張同 十三年七月	同 十四年三月	二九、四八九		

100

水道名	起工年月	竣工年月	工費	計	備考
鹿兒島市	第四回擴張同 十四年五月	同 十五年三月	五、七、七〇六	100,000	八、七三九
那覇市	第五回擴張同 十五年九月	昭和二年三月	七、二五二		
	第六回擴張同 二年四月	同 三年三月	三、三〇一		
	第七回擴張同 三年九月	同 四年三月	一六、〇九六		
	第八回擴張同 四年四月	同 五年三月	一五、七三四		
京城府	創 設明治三十九年八月	明治四十一年八月	二、八〇、一五三		
	第一回擴張大正八年四月	大正十三年三月	一、〇五、六七三	三三〇,〇〇〇	三、一七、七八
	第二回擴張昭和四年一月	昭和中	一、三三、〇〇〇		
	共ノ他	昭和四年度未迄	一、五八、三六九		
仁川府	創 設明治三十九年五月	明治四十三年九月	二、一〇、八三三	七〇,〇〇〇	七、七九三
	第一回擴張大正十一年五月	同 十一年八月	二、九、九七一		
	第二回擴張同 十三年十月	同 十四年一月	二、二九九	100,000	四、五〇〇
	第三回擴張昭和三年十二月	昭和五年三月	四、七七七		
	第四回擴張同 四年十一月		三三〇,〇〇〇		
群山市	創 設明治四十一年五月	明治四十四年五月	一、五、六五三		
	第一回擴張同 四十四年九月	同 四十五年二月	三、二、九三三		
	第二回擴張大正三年九月	大正五年十月	二、三、〇〇〇	10,000	一、八三八
	第三回擴張同 五年六月	昭和三年三月	一、三、八〇三		
	第四回擴張昭和三年九月	同 五年三月	一、五、五九八		
木浦府	創 設大正三年七月	大正七年三月	四、二、〇〇八	三五,〇〇〇	五、二八七
	第一回擴張同 十三年四月	同 十四年十二月	一、五、八〇九		
大邱府	創 設明治二十七年六月	明治二十八年二月	三、五、四五一		

第一工事、工費並規模

101

第一 工事、工費並規模

水道名	起工年月	竣工年月	工費	水豫入定額	口給	一日平均給水量	總給水量	備考
光州	第七回擴張	大正十年十月	昭和三十二年十一月	一、七、七	五、八〇九	100	三、〇〇〇	
	第八回擴張	昭和三十二年十月	昭和三十二年十一月	三、八、九	一、〇、〇〇〇	100	三、〇〇〇	
	第一回擴張	大正二年七月	大正五年三月	一、八、九	100	100	三、〇〇〇	
	第二回擴張	大正九年十月	大正十年三月	一、八、九	100	100	三、〇〇〇	
	第三回擴張	大正十年八月	大正十年十月	一、八、九	100	100	三、〇〇〇	
	第四回擴張	大正十一年四月	大正十一年十一月	一、八、九	100	100	三、〇〇〇	
	第五回擴張	大正十二年四月	大正十二年九月	一、八、九	100	100	三、〇〇〇	
	第六回擴張	大正十三年六月	大正十三年七月	一、八、九	100	100	三、〇〇〇	
元山府	第一回擴張	大正七年九月	大正十年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第二回擴張	大正十一年六月	大正十一年十一月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第三回擴張	大正十二年二月	大正十二年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第四回擴張	大正十二年四月	大正十二年九月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第五回擴張	大正十二年七月	大正十二年八月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
咸興府	第一回擴張	大正二年七月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第二回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第三回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第四回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第五回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
豐原町	第一回擴張	大正二年七月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第二回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第三回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第四回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第五回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
大泊町	第一回擴張	大正二年七月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第二回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第三回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第四回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第五回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
公州	第一回擴張	大正二年七月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第二回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第三回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第四回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第五回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
江景州	第一回擴張	大正二年七月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第二回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第三回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第四回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第五回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
全州	第一回擴張	大正二年七月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第二回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第三回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第四回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第五回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
新義州府	第一回擴張	大正二年七月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第二回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第三回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第四回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	
	第五回擴張	大正四年十一月	大正五年三月	一、〇、〇〇〇	100	100	三、〇〇〇	

目下工事中

水道名	起工年月	竣工年月	工費	水豫入定額	口給	一日平均給水量	總給水量	備考
釜山府	第一回擴張	明治三十三年一月	明治三十五年十月	一〇七、七四六	九六、二五〇	111	一四、七四八	
	第二回擴張	同	同	九六、二五〇	九六、二五〇	111	一四、七四八	
	第三回擴張	大正九年四月	大正十年三月	二四、九六六	二四、九六六	111	一四、七四八	
	第四回擴張	同	同	一五、六三三	一五、六三三	111	一四、七四八	
	第五回擴張	昭和二年三月	昭和三年三月	二、五〇〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇	111	一四、七四八	
	第六回擴張	昭和二年三月	昭和三年三月	二、五〇〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇	111	一四、七四八	
平壤府	第一回擴張	明治四十三年五月	明治四十四年五月	一、四〇、一三三	一、四〇、一三三	111	一四、七四八	
	第二回擴張	大正八年八月	大正九年十二月	七五、〇三三	七五、〇三三	111	一四、七四八	
	第三回擴張	同	同	九二、三三〇	九二、三三〇	111	一四、七四八	
	第四回擴張	同	同	三五、八八〇	三五、八八〇	111	一四、七四八	
	第五回擴張	昭和三年八月	昭和三年九月	五五、九七七	五五、九七七	111	一四、七四八	
	第六回擴張	昭和三年八月	昭和三年九月	六、八六八	六、八六八	111	一四、七四八	
鎮南浦府	第一回擴張	明治四十四年六月	大正三年十一月	四三、一四四	四三、一四四	111	一四、七四八	
	第二回擴張	大正十年六月	大正十年七月	五八、三九三	五八、三九三	111	一四、七四八	
	第三回擴張	同	同	二六、八八五	二六、八八五	111	一四、七四八	
	第四回擴張	同	同	二五、三五〇	二五、三五〇	111	一四、七四八	
	第五回擴張	同	同	七、九九九	七、九九九	111	一四、七四八	
	第六回擴張	同	同	九、九二二	九、九二二	111	一四、七四八	
新義州府	第一回擴張	大正七年八月	大正十年三月	二六、八八五	二六、八八五	111	一四、七四八	
	第二回擴張	同	同	二五、三五〇	二五、三五〇	111	一四、七四八	
	第三回擴張	同	同	七、九九九	七、九九九	111	一四、七四八	
	第四回擴張	同	同	九、九二二	九、九二二	111	一四、七四八	
	第五回擴張	同	同	七、九九九	七、九九九	111	一四、七四八	
	第六回擴張	同	同	九、九二二	九、九二二	111	一四、七四八	

水道名	起工年月	竣工年月	工費	計		備考
				水豫 入定 口給	畫 總給 水量	
高興	創 設大正十年三月	大正十一年七月	一六,九八八	三,三〇〇	七	
莞島	創 設昭和四年三月	昭和四年十一月	一六,九六九	二,〇〇〇	六	
浦項	創 設大正十三年十一月	大正十五年三月	二四,〇〇〇	一,〇〇〇	四	
金泉	創 設大正十四年一月	大正十五年九月	二四,一〇六	一五,〇〇〇	七	
晉州	創 設明治四十四年七月	明治四十四年七月	六,二二九	四,五〇〇	一〇〇	第三回擴張ハ、在工事中
鎮海	創 設明治四十一年二月	大正三年四月	一三五,一〇九	一〇,〇〇〇	一〇〇	
統營	創 設大正十一年五月	大正十三年三月	七五,三三六	一五,〇〇〇	三五	
海州	創 設大正十四年十一月	大正十四年十二月	一八七,九九九	一五,〇〇〇	三五	
	第一回擴張昭和二年十二月	昭和三年一月	二,一〇八			
	第二回擴張昭和二年七月	昭和三年十月	二,一〇八			
	第三回擴張昭和四年七月	昭和四年十一月	九〇,〇〇〇			
	第一回擴張同五年十月	大正五年九月	一,一三六			
	第二回擴張同五年七月	大正五年五月	一九,八四一			
	第三回擴張同十三年七月	同十三年九月	二〇,九二二			

水道名	起工年月	竣工年月	工費	計		備考
				水豫 入定 口給	畫 總給 水量	
義州	第三回擴張同十五年四月	同十五年五月	二,六二九	五,四〇〇	三〇	
	第四回擴張昭和二年九月	昭和三年三月	二,八九八			
	第五回擴張同三年六月	同三年七月	三,〇三七			
	第六回擴張同三年九月	同三年十月	一,三〇〇			
	第七回擴張同四年四月	同四年八月	三,一四三			
春川	創 設大正十二年九月	大正十四年三月	二六,九九三	五,〇〇〇	四	
平康	創 設大正十四年五月	大正十五年三月	八,五〇〇	三,二五〇	八	
	第一回擴張同十四年五月	同十五年三月	三,一〇〇			
	第二回擴張同十一年十二月	同十三年三月	二七,七三三			
	第三回擴張同十三年十月	同十五年三月	三,一四四			
	第四回擴張昭和三年四月	昭和四年十一月	二九,九八八			
	第五回擴張昭和四年九月	同五年三月	七五,〇六一			
	第六回擴張同四年九月	同五年三月	二二,六五五			
	第七回擴張同三年十一月	大正三年十二月	五,七三三			
	第八回擴張同九年八月	同十年十月	五,七三三			
	第九回擴張同十一年四月	同十一年十一月	七,七〇七			
	第十回擴張同十二年四月	同十二年十一月	五,三三四			
	第十一回擴張同十三年八月	同十三年十月	三,八八一			
	第十二回擴張同十四年四月	大正十五年五月	二六,四七七			
	第十三回擴張同十四年四月	大正十五年五月	二,三三六			
	第十四回擴張昭和四年四月	昭和四年四月	八,七六六			
	第十五回擴張同十二年十一月	同十五年五月	二四,〇〇〇			
	第十六回擴張同十四年四月	大正十五年五月	一八,七六六			
	第十七回擴張同十四年四月	大正十五年五月	一八,七六六			
	第十八回擴張同十四年四月	大正十五年五月	一八,七六六			
	第十九回擴張同十四年四月	大正十五年五月	一八,七六六			
	第二十回擴張同十四年四月	大正十五年五月	一八,七六六			

第一 工事、工費並規模

陸軍水道過剩水一日
五〇立方米ニ限リ
配給ヲ受クルニ付記
載事項ナシ

第二回擴張ハ、四箇年
繼續ニテ實施中

水道名	起工年月	竣工年月	工費	計	備
玉川水道株式會社	第二回擴張同 十五年一月	昭和二年二月	一、四一〇、〇四五	100,000	
株式會社	第一回擴張同 十年五月	大正八年十一月	六、四七〇、〇五	100,000	
株式會社	第二回擴張同 十三年十二月	同 十四年十二月	二、四四〇、四三		
株式會社	第三回擴張同 十五年七月	昭和四年三月	二、三三、七九		
瓦房店	設大正十二年四月	明治四十四年十月	三九、八五		
熊岳城	設大正三年四月	大正四年三月	一、五七三		
蓋平	設大正三年四月	昭和元年五月	八、三六		
大石橋	設大正三年四月	昭和元年五月	二、四三六		
海城	設大正六年八月	昭和四年三月	九、二八		
鞍山	設大正六年八月	昭和四年三月	一、〇一、三五	10,000	
遼陽	設大正十一年四月	大正十一年十月	九、五七、三五		
蘇家屯	設大正十一年四月	大正十一年十月	七、九三〇		
奉天	設大正十一年四月	大正十一年十月	一、〇〇〇、三九		
鐵嶺	設大正五年四月	昭和四年十月	二、五、九七		
開原	設大正五年四月	昭和四年十月	三、九、七七		
昌圖	設大正五年四月	昭和四年十月	六、二、〇		
雙廟子	設大正五年七月	昭和四年十月	四、五、九		
四平街	設大正三年四月	大正四年三月	三、七、五		

水道名	河又ハ湖沼等ノ名稱	表面水、伏流水、池下水等ノ區別	最大湯水時期水量	取入方法	備	考
公主嶺	創	設明治四十二年四月	明治四十四年十月	三九、四一		
郭家店	創	設		三、七、一〇		
范家屯	創	設		四、五、三三		
長春	第一回擴張昭和四年	設明治四十三年四月		一、五、四四		
本溪湖	創	設大正元年八月	大正三年三月	二、九、〇〇	五〇,〇〇〇	鐵道給水ヲ含ム
橋頭	創	設大正十年四月	大正十年十二月	九、〇、六四	一五,〇〇〇	
連山關	創	設大正三年四月	大正四年三月	四〇、一八	二、〇〇〇	
雞冠山	創	設明治四十五年四月	大正五年三月	六、七、三九		
安東	創	設明治四十四年四月	大正五年三月	一、三、九、六九		
撫順	創	設明治四十一年四月	明治四十二年四月	二、七、四八一		擴張工事ハ創立後漸次施行

第二、水源、水路

(其一) 水源

昭和五年三月三十一日現在

第二 水源、水路 (其一) 水源

四日市市	津良市	奈良市	宇都宮市	水戸市	高崎市	前橋市	新發田町	高田市	長岡市	新潟市	佐世保市	長崎市	豊岡町	高砂町	西宮市
田長野川	淀川支流木津川	渡良瀬川	大字谷川	不動山麓	茨城大東	烏城東	加治川沿岸	信濃川	信濃川	鹿ノ尾川	西谷川	中島川	加古川	武庫川	水分谷川
伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水
150	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水
舊三瀧川敷跡地	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス	「コンクリート」造リ集水管(内徑七五七耗)ヲ地下七米五七ノ深度ニ延長二三六米三六ヲ埋設ス

明石市	尼崎市	姫路市	川崎市	横須賀市	堺市	峰山町	青梅町	淀橋町	澁谷町	目黒町	八王子市	釧路市	室蘭市	小樽市	函館市	名古屋市	神戸市
淀川	多摩川	中野川	走水川	大和川	合和川	齊藤川	多摩川	多摩川	多摩川	多摩川	多摩川	多摩川	多摩川	多摩川	多摩川	多摩川	多摩川
伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水	伏流水
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水	唧筒揚水
集水井	集水井	集水井	集水井	集水井	集水井	集水井	集水井	集水井	集水井	集水井	集水井	集水井	集水井	集水井	集水井	集水井	集水井

水道名	等ノ名稱	池水面等ノ區別	最大湯水量	取入方法	備考
若松市	河又ハ湖沼	表面水、伏流水	一、三九	自然流下	會津電力株式會社發電所放水水路ヨリ分岐スル
郡山市	安積疏水分流	表面水	不	自然流下	第一横坑端ニ水槽ヲ設ケ之ヨリ取水ス
平町	好間川	表面水	五、六	自然流下	最大湯水時季水量四リツトルハ昭和三年九月ニ於ケル濁湯状態時ノ水量トス
青森市	飯詰川支流深澤	表面水	二、三	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
山形市	旭川	表面水	二、三	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
秋田市	旭川	表面水	二、三	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
福島市	厚川	表面水	二、三	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
金澤市	厚川	表面水	二、三	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
高岡市	厚川	表面水	二、三	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
米子市	美敷川	表面水	九	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
鳥取市	美敷川	表面水	九	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
松江市	日野川	表面水	一、七〇	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
松江市	日野川	表面水	一、七〇	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
岡山市	旭川	表面水	七、八〇	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
倉敷市	太田川	表面水	六、九七	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
廣島市	太田川	表面水	六、九七	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
吳市	二河川	表面水	一	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
尾道市	二河川	表面水	一	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
福山市	論田池	表面水	一	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
下關市	綾羅木川上流	表面水	一、五八	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ
宇部市	厚東川	表面水	一、五八	自然流下	最大湯水時季水量ハ大正十三年七月ニ於ケル平均流量ナリ

水道名	等ノ名稱	池水面等ノ區別	最大湯水量	取入方法	備考
桑名市	員辨川	伏流水	三、三	自然流下	内徑四五耗長九〇九耗鐵筋コンクリート管二百本湯水面下二米四二ニ埋設
豐橋市	安部川	伏流水	三、三	自然流下	計畫中
静岡市	安部川	伏流水	三、三	自然流下	計畫中
濱松市	安部川	伏流水	三、三	自然流下	計畫中
伊東市	荒川	表面水	三、五〇	自然流下	計畫中
熱海市	荒川	表面水	三、五〇	自然流下	計畫中
甲府市	荒川	表面水	三、五〇	自然流下	計畫中
谷村町	荒川	表面水	三、五〇	自然流下	計畫中
大津市	琵琶湖	表面水	七	自然流下	湖岸砂洲ニ集水埋渠(内法四五五耗×七五八七耗鐵筋コンクリート管)延長三二七米二七ヲ布設シ之ヲ淺井戸(鐵筋コンクリート内徑四米五五深地表下六米〇六)三個ニ連絡ス
岐阜市	瑞川	表面水	一、四	自然流下	延長九〇米九一深サ平均六米六七集水埋渠ヲ埋設シ唧筒井ニ取入ル
長野市	瑞川	表面水	一、四	自然流下	延長九〇米九一深サ平均六米六七集水埋渠ヲ埋設シ唧筒井ニ取入ル
松本市	瑞川	表面水	一、四	自然流下	延長九〇米九一深サ平均六米六七集水埋渠ヲ埋設シ唧筒井ニ取入ル
上田市	千曲川	表面水	八、〇	自然流下	延長九〇米九一深サ平均六米六七集水埋渠ヲ埋設シ唧筒井ニ取入ル
上諏訪市	千曲川	表面水	八、〇	自然流下	延長九〇米九一深サ平均六米六七集水埋渠ヲ埋設シ唧筒井ニ取入ル
仙臺市	角間川	表面水	八、〇	自然流下	延長九〇米九一深サ平均六米六七集水埋渠ヲ埋設シ唧筒井ニ取入ル
鹽釜町	宮城川	表面水	八、〇	自然流下	延長九〇米九一深サ平均六米六七集水埋渠ヲ埋設シ唧筒井ニ取入ル
石巻市	宮城川	表面水	八、〇	自然流下	延長九〇米九一深サ平均六米六七集水埋渠ヲ埋設シ唧筒井ニ取入ル
福島市	宮城川	表面水	八、〇	自然流下	延長九〇米九一深サ平均六米六七集水埋渠ヲ埋設シ唧筒井ニ取入ル

水道名	河又ハ湖沼 等ノ名稱	表面水、伏流水 池下水等ノ區別	最大 時水 量	取 入 方 法	備 考
和歌山市	紀ノ川	伏流水	10,000 <small>毎秒リットル</small>	自然流下	紀ノ川地下水ヲ千分ノ一勾配ヲ附シタル管ニテ自然流下方法ニテ唧筒井ニ集水ス水管ノ繼手ハ空接トシ管ノ周圍ニ小孔ヲ穿ツ
徳島市	吉野川	伏流水	三、八八	唧筒揚水	河川ヲ横斷シテ一五四米五五ノ木製暗渠ヲ布設シ一端ニ徑五〇八耗鐵管ヲ布設シポンプ場ビツトニ至ル
高松市	香東川	伏流水	五元	唧筒揚水	堰堤及送水渠ハ伊豫鐵道電氣株式會社發電所ノモノヲ使用ノ豫定
丸龜市	土器川	伏流水	三元	自來流下	河底ニ内徑六一〇厘ノ空鐵筋混凝土管ヲ延テ七六米三六ヲ沈設シ河水ハ砂利層ヲ滲透シテ長手ノ間隙ヨリ管内ニ流入セシム
宇和島市	柿原川	表面水	三三	自來流下	河川ヲ一ノ大堰堤ヲ以テ堰キ貯水ヲナシタルモ最大湯水量ハ既往數十年間ノ統計ニ依ル
松山市	石手川	表面水	三〇、〇〇	唧筒揚水	
高知市	鏡川	伏流水	一、二五	唧筒揚水	
福岡市	室見川	伏流水	三〇、〇〇	自來流下	
久留米市	筑後川	伏流水	三〇、〇〇	唧筒揚水	
門司市	福智山溪谷 (中谷貯水池) 風師山溪谷 (小森江貯水池)	表面水	四〇	自來流下	
小倉市	如瀨川	表面水	一五	自來流下	
若松市	遠賀川	表面水	不 明	唧筒揚水	遠賀川分ヲ八幡製鐵所ヨリ受ク
大牟田市	遠賀川	表面水	不 明	唧筒揚水	
八幡市	遠賀川	表面水	不 明	唧筒揚水	
戸畑市	遠賀川	表面水	不 明	唧筒揚水	
飯塚町	遠賀川	表面水	不 明	唧筒揚水	

水道名	河又ハ湖沼 等ノ名稱	表面水、伏流水 池下水等ノ區別	最大 時水 量	取 入 方 法	備 考
直方町	遠賀川	伏流水	二、〇〇	自然流下	最大湯水量時季水量ハ取水場附近ニ於ケル遠賀川ノ流量ナリ
大分市	朝見川 乙原溪谷	伏流水	一、七〇	自來流下	山國川右岸湯水面以下二米水端ヨリ三〇米ノ處ニ内徑六デシメト集水管ヲ埋設シ導水管ニヨリ伏流水ヲ引用ス
別府市	川支	伏流水	一、三〇	自來流下	
津賀市	山國川	伏流水	一、三〇	唧筒揚水	
佐賀市	山國川	伏流水	一、三〇	唧筒揚水	
熊本市	山國川	伏流水	一、三〇	唧筒揚水	
宮崎市	山國川	伏流水	一、三〇	唧筒揚水	
鹿兒島市	鹿兒島郡吉野村 窪切谷大字七	地下水	一、三〇	自然流下	
那覇市	漢江	表面水	五、六五	唧筒揚水	
京城府	漢江	表面水	五、六五	唧筒揚水	
仁川府	漢江	表面水	五、六五	唧筒揚水	
群山市	新豐里溪谷	表面水	五、六五	唧筒揚水	
木浦府	溪谷(無名)	表面水	五、六五	唧筒揚水	
大邱府	達城郡嘉昌面新 支流	表面水	五、六五	唧筒揚水	
釜山府	東川	表面水	〇、四五	自來流下	第一取水場 第二取水場
平壤府	東川	表面水	〇、三二	自來流下	
鎮南浦府	龍岡郡大代面牛 山溪流	表面水及地下水	三、四	唧筒揚水	最大湯水量時季ニ於テモ水源ニ不足ヲ生スルコトナシ
新義州府	義州古津面溪流	表面水	二五、〇〇	自來流下	最大湯水量時季水量ハ貯水量ヲ肥入ス

水道名	個數	口	徑	井ノ深	最大一晝夜水量	最少一晝夜水量	備	考
東京市								
京都市								
大阪市								
横浜市								
神戸市								
名古屋								
函館市								

第二、水源、水路 (其二) 鑿井

昭和五年三月三十一日現在

水道名	個數	口	徑	井ノ深	最大一晝夜水量	最少一晝夜水量	備	考
郭家店								
范家屯								
長春								
本溪湖								
橋頭								
連山關								
雞冠山								
安東								
撫順								

貯水池築造ニ依リ地下水ヲ涵養シ各井戸ノ水位ヲ高メ吸水ス
○河畔ニ集水井ヲ沈下シ伏流水ヲ集收各井ハ四
○耗サイホン管ニテ聯絡ス

水道名	河又ハ湖沼	表面水、伏流水	最大水量	取入方法	備	考
金州	北河	伏流水	二七	自然流		
魏家屯	宋家河	伏流水		揚水		
多摩川	多摩川	表面水	四、〇〇〇	揚水		
江川	江川	表面水	〇、〇〇〇	揚水		
荒川	荒川	表面水		揚水		
町川	町川	表面水		揚水		
玉川	玉川	表面水		揚水		
株式會社	株式會社	表面水		揚水		
瓦房店	瓦房店	伏流水		揚水		
熊岳城	熊岳城	伏流水		揚水		
蓋平	蓋平	伏流水		揚水		
大石橋	大石橋	伏流水		揚水		
海城	海城	伏流水		揚水		
鞍山	鞍山	伏流水		揚水		
遼陽	遼陽	伏流水		揚水		
蘇家屯	蘇家屯	伏流水		揚水		
奉天	奉天	伏流水		揚水		
鐵嶺	鐵嶺	伏流水		揚水		
開原	開原	伏流水		揚水		
昌圖	昌圖	伏流水		揚水		
四平街	四平街	伏流水		揚水		
公主嶺	公主嶺	伏流水		揚水		

河敷及堤内ニ多孔管ヲ埋設シ唧筒ニヨリ揚水

第二 水源、水路（其二） 鑿井

水道名	個數	口	徑	井ノ深	最大水量	最少水量	備	考
高岡市	1		3.8	25.5	373	269		
新發田市	1		3.0	4.5	605	533	集水井	
前橋市	1		2.5	2.6	900	733		
高崎市	1		2.7	2.4				
水戸市	1							
宇都宮市	1							
足利市	1							
奈良市	1							
津市	1							
四日市	1		5.4	2.7		730		
桑名市	1							
豊橋市	1							
静岡市	1							
濱松市	1							
伊東市	1							
熱海市	1							
甲府市	1							
大谷町	1							
谷津市	1							
岐阜市	1							
長野市	1							
上田市	1							

水道名	個數	口	徑	井ノ深	最大水量	最少水量	備	考
小樽市	1							
室蘭市	1							
釧路市	1							
八王子市	1							
目黒市	1							
澁谷町	1							
淀橋町	1							
青梅町	1							
峰山町	1							
堺市	1							
横須賀市	1							
川崎市	1							
姫路市	1							
尼崎市	1							
明石市	1							
西宮市	1							
高砂町	1							
豊岡町	1							
長崎町	1							
佐世保市	1							
新潟市	1							

第二 水源、水路 (其二) 井

水道名	個數	口	徑	井ノ深	最大水量夜	最少水量夜	備	考
八幡市								
大牟田市			三七	一・四 一・八 一・五	三、七 三、六 三、七	不 明		
若松市								
小倉市								
門司市								
久留米市								
福岡市								
高知市								
宇和島市								
松山								
丸龜市								
高松市			三〇〇	九 六 五	二、七 二、〇 一、七	一、三 一、八 二、〇		
德島市								
和歌山市								
宇部市								
下關市								
福山市								
尾道市								
吳市								
廣島市								
倉敷市			三三		一、〇	九七		

水道名	個數	口	徑	井ノ深	最大水量夜	最少水量夜	備	考
岡山								
松江								
米子								
鳥取								
高岡			三〇〇	一三〇 一七〇 一四七	三、六 三、三 三、六	一、六 一、三 一、四		
金澤								
福井			三八	九 六 五	四、一 三、八 三、七	二、一 一、五 一、三		
秋田								
山形								
五所川原								
青森								
平野								
郡山								
若松								
福島								
石巻								
仙台								
上諏訪								

水道名	個數	口	徑	井ノ深	最大水量	最少水量	備考
新義州府	1		三、六三六	五、七六	二、三三	六、五三	
元山府	1		五、四五四				
咸興府	3						
豐原町	1		二、三三	四、五	九〇	五八	
大泊町	1		一、八八	三、〇三	五、三〇	二、五〇	
朝鮮總督府	2		一、八八	二、七三	五、八	六、九	
義州府	1		四、四四	九、〇九	六、七六	六、三六	
平康府	1		四、四四	九、〇九	六、七六	六、三六	
清津府	3		六、〇六	七、五	一〇、三六	一〇、〇〇	
臺灣總督府	2		六、〇六	七、五	一〇、三六	一〇、〇〇	
新臺中	6		六、三六	七、七〇	二、九、五七	九、八四九	
關東廳	8		六、三六	七、七〇	二、九、五七	九、八四九	
大連	1		六、三六	七、七〇	二、九、五七	九、八四九	
旅順	1		三、三六	四、八三	二、〇〇〇	一、〇〇〇	
貔子窩	1		三、三六	四、八三	二、〇〇〇	一、〇〇〇	
荒玉水道	1		八、二〇〇	二、九	三、五	二、九	
村組水道	1						
江村組水道	1						
町組水道	1						
玉川水道	1						
式會社水道	1						

水道名	個數	口	徑	井ノ深	最大水量	最少水量	備考
戶畑市	2		三、〇〇〇	七、五	三、八六六	二、九〇〇	
飯塚町	1						
直方町	1						
大分市	1						
別府市	1						
中津市	1						
佐賀市	5		三、七五	二、八〇〇	三、六〇〇	一、三〇〇	
熊本市	2		三、七五	二、八〇〇	三、六〇〇	一、三〇〇	
宮崎市	1		三、七五	二、八〇〇	三、六〇〇	一、三〇〇	
鹿兒島市	1		三、七五	二、八〇〇	三、六〇〇	一、三〇〇	
那霸市	1		三、七五	二、八〇〇	三、六〇〇	一、三〇〇	
京城府	1		三、七五	二、八〇〇	三、六〇〇	一、三〇〇	
群山市	1		三、七五	二、八〇〇	三、六〇〇	一、三〇〇	
木浦府	1		三、七五	二、八〇〇	三、六〇〇	一、三〇〇	
大邱府	1		三、七五	二、八〇〇	三、六〇〇	一、三〇〇	
釜山府	1		三、七五	二、八〇〇	三、六〇〇	一、三〇〇	
平壤府	1		三、七五	二、八〇〇	三、六〇〇	一、三〇〇	
鎮南浦府	1		三、七五	二、八〇〇	三、六〇〇	一、三〇〇	

第一、第二井共唧筒二臺宛ヲ据付一臺ノ揚水能力ハ一晝夜八、四〇〇立方メートルス

管井集水井

水道名	個數	口	徑	井ノ深	最大水量	最少水量	備考
湖南水道株	二		一、五二五	五、五	一、四〇〇	一、四〇〇	
式會社							
箱根登山鐵道株式會社							
瓦房店	二		八、〇〇〇	六、六	一、〇九三		
熊岳城	二		六、〇〇〇	五、四	三、六八		
蓋平	二		三、〇〇〇	六、八	二、五〇		
大石橋	九	五個 管井 一五	九、〇〇〇	三、〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
海城	二		四、八〇〇	四、八	三、三〇	一、〇〇	
鞍山	二		六、〇〇〇	六、七	三、三	二、二	
遼陽	一		九、〇〇〇	〇、〇	六、〇〇〇	二、〇〇〇	
蘇家屯	一		六、〇〇〇	〇、〇	五、〇〇〇	二、〇〇〇	
奉天	三		九、〇〇〇	〇、〇	五、〇〇〇	二、〇〇〇	
鐵嶺	一		七、〇〇〇	二、〇	二、〇〇〇	一、五〇〇	
開原	一		九、〇〇〇	〇、〇	二、〇〇〇	一、八〇〇	
昌圖	三		七、〇〇〇	五、七	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
昌圖	三		七、〇〇〇	五、七	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
雙廟子	三		六、〇〇〇	四、七	一、〇〇〇	一、〇〇〇	

水道名	個數	口	徑	井ノ深	最大水量	最少水量	備考
四平街	一九	十五個管井	五、四八〇	七、七	八、五	四、五	
公主嶺	五	四個 一個	八、〇〇〇	九、七	一、二五	三、〇〇	
郭家店	二		五、二〇〇	七、七	五、〇	五、〇	
范家屯	三		六、〇〇〇	二、二	二、〇	二、〇	
長春	三		九、〇〇〇	三、九	三、六	三、六	井戸一三ノ内二ハ集水井トス
橋頭	二		六、八五〇	一、七	三、六	二、九	
連山關	一		八、七九〇	八、六	五、〇	五、〇	
鷄冠山	一		六、〇〇〇	六、一	二、七	三、〇	
安東	一		八、七九〇	八、六	五、〇	五、〇	
撫順	六		九、〇九〇	七、七	二、〇〇〇	一、五〇〇	

第一、水源、水路

(其三) 原水貯水池

【備考】 一、總高、總長、滿水面下ノ深ハ小數二位以下四捨五入ス
 二、總貯水量及總水面積ハ各貯水池ノ貯水量及水面積ノ合計ヲ記シ四捨五入ス

昭和五年三月三十一日現在

第二 水源、水路 (其三) 原水貯水池

水道名	池數	堰堤ノ體質	總高	總長	下滿ノ水面	總貯水量	總水面積	備考
東京市	二	土堰堤	一六・六七 二七・三	一、四四・四 二、〇〇・九	一〇・五 一五・九	二、三三、〇〇〇	一、四三、七四	總容積 村山上貯水池 村山下貯水池 九、九三、〇三立方米
京都市								
大阪市								
横濱市								
神戸市	三	粗石コンクリート積	三三・三 三三・三 三三・三	九六・九 一〇三・四 一〇三・四	三三・三 三三・三 三三・三	八、三三、四六八	九二〇、〇三六	目下堰堤嵩上げ工事中
名古屋市								
函館市	一	鐵筋混凝土中空式堰堤	一八・七	一〇・三	一八・九	六、〇六、〇七	七、〇三三	
小樽市	一	土堰堤	三・八	三・六	一八・九	四、七、四五	三、八二二	
室蘭市								
釧路市								
八王子市								
目黒市								
澁谷町								
青橋町								
峰山町								
横須賀市	一	コンクリート	六・〇〇	三・七	三・〇〇	一、五〇〇	五二五	株式会社日本製鋼所ヨリ分テ貯水池ヲ以テナシ

水道名	池數	堰堤ノ體質	總高	總長	下滿ノ水面	總貯水量	總水面積	備考
川崎市								
姫路市								
尼崎市								
明石市								
西宮市	二	土堰堤	六・七 七・〇	一〇・〇 一〇・八	五・〇 六・〇	七、五〇	一七、六〇	
高砂町								
豊岡町								
長崎市	四	一池 三池	一六・七 三三・七 三三・八 四〇・〇	二七・六 二五・五 一九・九 三三・六	一七・〇 一七・〇 一七・〇 一七・〇	四、三三、五八	三、八七、八九五	
佐世保市								
新潟市								
長岡市								
高田市								
新發田町								
前橋市								
高崎市								
水戸市								
宇都宮市								
足利市								
奈良市								
津市	一	土堰堤	二六・四	一三・七	一五・五	三、三三	一、五〇	
四日市市								
桑名町								

水道名	池數	堰堤ノ體質	總高	總長	下滿ノ深面	總貯水量	總水面積	備考
青森市	一	玉石コンクリート	三・二四	四・一八	六・三六	三、八八七	八、二四	總貯水量及總水面積ハ基礎面上
五所川原町	一	玉石コンクリート	三・二四	四・一八	六・三六	三、八八七	八、二四	總貯水量及總水面積ハ基礎面上
山形市	一	石造	九・〇四	六・八四	三・九六	三三、三三八	六六、〇八八	
秋田市	一	石造	九・〇四	六・八四	三・九六	三三、三三八	六六、〇八八	
福島市	一	石造	九・〇四	六・八四	三・九六	三三、三三八	六六、〇八八	
高岡市	一	粗石モルタル積	二七・七	一〇三・〇三	一六・三六	五七、九三	八、七〇	有效水深一三米三
米子市	一	粗石モルタル積	二七・七	一〇三・〇三	一六・三六	五七、九三	八、七〇	有效水深一三米三
松江市	一	石造粗石混泥土	一四・四	一九・三	七・五八	四七、八〇	一一、〇八	
岡山市	一	石造粗石混泥土	一四・四	一九・三	七・五八	四七、八〇	一一、〇八	
倉敷市	一	石造粗石混泥土	一四・四	一九・三	七・五八	四七、八〇	一一、〇八	
廣島市	一	石造粗石混泥土	一四・四	一九・三	七・五八	四七、八〇	一一、〇八	
吳市	一	石造粗石混泥土	一四・四	一九・三	七・五八	四七、八〇	一一、〇八	
尾道市	一	粗石モルタル積表面張石	三・三	九・九	一九・三九	七、八、三、四	二四、七三	原水ノ種類ハ溪流表面水ニシテ自然流下ニヨリ送水スルモノトス
福山市	一	土堰	二七・八七	一九・七〇	二六・〇六	七、七、六、六	九四、一六	總貯水量ノ内一三、〇七六ハ灌溉用水量ナリ
下關市	二	第一貯水池土堰堤	三・三	六・五	一〇・九	一、〇〇、〇〇〇	三〇、一三	
宇部市	二	第二貯水池土堰堤	三・三	六・五	一〇・九	一、〇〇、〇〇〇	三〇、一三	
和歌山市	一	土堰	三・三	六・五	一〇・九	一、〇〇、〇〇〇	三〇、一三	
徳島市	一	土堰	三・三	六・五	一〇・九	一、〇〇、〇〇〇	三〇、一三	

第二水源、水路（共三） 原水貯水池

水道名	池數	堰堤ノ體質	總高	總長	下滿ノ深面	總貯水量	總水面積	備考
平野町	一	粘土質内面石張	三・四	一、〇一・一〇	二・七三	一五、一七九	六六、三三	本池ハ淨水場構内ニアリテ沈澱池兼用トス
郡山市	一	粘土質内面石張	三・四	一、〇一・一〇	二・七三	一五、一七九	六六、三三	本池ハ淨水場構内ニアリテ沈澱池兼用トス
若松市	一	コンクリート	六・六	三七・四〇	五・三〇	七、三、九	三、四、九	有效水深二米二七六〇平方尺
福島市	一	コンクリート	六・六	三七・四〇	五・三〇	七、三、九	三、四、九	有效水深二米二七六〇平方尺
石巻市	一	コンクリート	六・六	三七・四〇	五・三〇	七、三、九	三、四、九	有效水深二米二七六〇平方尺
仙臺市	一	コンクリート	六・六	三七・四〇	五・三〇	七、三、九	三、四、九	有效水深二米二七六〇平方尺
上諏訪市	一	壁部コンクリート造圓井	五・三	四・五	二・五	四	二六集水井ナリ	
上田市	一	壁部コンクリート造圓井	五・三	四・五	二・五	四	二六集水井ナリ	
松本市	一	壁部コンクリート造圓井	五・三	四・五	二・五	四	二六集水井ナリ	
長野市	一	粘土及金入土堰堤	三・〇〇	三四・五・五	一六・〇	三三、四、五	四、〇〇	
岐阜市	一	粘土及金入土堰堤	三・〇〇	三四・五・五	一六・〇	三三、四、五	四、〇〇	
大津市	一	粘土及金入土堰堤	三・〇〇	三四・五・五	一六・〇	三三、四、五	四、〇〇	
谷村町	一	粘土及金入土堰堤	三・〇〇	三四・五・五	一六・〇	三三、四、五	四、〇〇	
甲府市	一	粘土及金入土堰堤	三・〇〇	三四・五・五	一六・〇	三三、四、五	四、〇〇	
熱海市	一	粘土及金入土堰堤	三・〇〇	三四・五・五	一六・〇	三三、四、五	四、〇〇	
伊東市	一	粘土及金入土堰堤	三・〇〇	三四・五・五	一六・〇	三三、四、五	四、〇〇	
濱松市	一	粘土及金入土堰堤	三・〇〇	三四・五・五	一六・〇	三三、四、五	四、〇〇	
静岡市	一	粘土及金入土堰堤	三・〇〇	三四・五・五	一六・〇	三三、四、五	四、〇〇	
豊橋市	一	粘土及金入土堰堤	三・〇〇	三四・五・五	一六・〇	三三、四、五	四、〇〇	

水道名	池數	堰堤ノ體質	總高	總長	下滿ノ水面	總貯水量	總水面積	備考
鹿兒島市								
那覇市								
京城府								
仁川府								
群山市	一	土堰	一七〇〇	二九七〇	一五〇〇	三七、八〇〇	四、二〇〇	
木浦府	五	二池 三池	六三七七 一四、五二五	三、九〇〇 一九、二二	五、六四 一三、七五	六四、七八	二六、五八	第二水源池 第一、三、四水源池
大邱府								
釜山府	六	四池 土堰 粗石コンクリート	二、八三三 一〇、〇〇 七、八八	一、三〇〇 三、〇六 三、七六	一、〇六 九、〇九 二、六	八七、七八	一〇、〇三	
平壤府								
鎮南浦府	一	土堰	一七〇〇	二七、五八	一一、三	三三、八〇	五、三三	
新義州府	二	土堰	一〇、六六 一五、一五	一七、三〇 二七、八二	一、八、八四 二、八	四五、〇七一	一四、〇〇	
元山府								
咸興府								
豐原府								
大泊町	一	土堰	一五、九二	一四、九二	一、四、〇〇	三〇、五七	三〇、五七	
朝鮮總督府	一	土堰	一九、五八	一〇、七七	一、八、三三	九四、一七五	二、一、九〇	
公州府	一	土堰	一五、三〇	三〇、一六	一三、〇	一七、三五〇	二八、五四五	
江州府	一	土堰	二五、二〇	一〇、五	二、一、六	六五、三三	一六、〇六	
光州府	一	土堰	二六、六					

第二水源、水路（其三）原水貯水池

水道名	池數	堰堤ノ體質	總高	總長	下滿ノ水面	總貯水量	總水面積	備考
宮崎市								
熊本市								
佐賀市								
中津市								
別府市	三	粗石積 ウエクマン式 コンクリート	一六、四〇 六、七〇	六〇、〇〇 二四、七〇	一三、〇〇 四、〇〇	一七、九六〇	二、六四〇	
大分市								
直方町								
飯塚市								
戸畑市								
八幡市								
大牟田市	一	土堰	二九、九二	一四、六四	一五、二	一〇〇、〇〇〇	二六、四六	
若松市	一	土堰	二五、九二	一三、七	一八、七	四六、八四三	五、〇五二	
小倉市	二	土堰	二九、四〇 二九、三三	一三、〇三 一三、〇三	一九、〇九 一八、八五	八五、一八九	七、四三	
門司市								
久留米市	一	混凝土	三、三	三四、四	二五、七五	一、四四、〇三	一四、〇三	
福岡市								
高知市								
宇和島市								
松山市								
丸龜市								
高松市								

水道名	取	水	放	導	水	路	備	考
大阪市	木鐵 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管
京都市	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管
東京市	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管
水道名	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管
總延長	四、九五	一〇、四六	八六、三四	三〇、三三	三〇、三三	三〇、三三	三〇、三三	三〇、三三
上幅		最廣四、五 最狹三、七	三、七	三、七	三、七	三、七	三、七	三、七
下幅		三、七	三、七	三、七	三、七	三、七	三、七	三、七
水深		最淺二、五 最深三、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五
水管延長	四、九五	二、八四	一三、〇三	一〇、七七	一〇、七七	一〇、七七	一〇、七七	一〇、七七
內課		一八五						
備考	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	暗渠 鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管	鐵筋 コン ク リ ー ト 管

第二、水源、水路
(其四) 導水路

【備考】 小數二位以下四捨五入トス

昭和五年三月三十一日現在

水道名	池數	堤堤ノ體質	總高	總長	下滿水面	總貯水量	總水面積	備考
安東	一	土	六・五	四八・〇〇	四・〇〇	六八、三四	三三、〇〇〇	
長春	三	粘 土	二・九	二〇・〇〇	一・三〇	一四六、〇〇〇	三〇、九〇〇	
金州	一	煉	五・九	三〇・〇〇	五・三六	四〇	七	
大連	三	粗 石 コン ク リ ー ト	三・八	三三・七三	三・三三	三七、三七・七九	四、四三、五八	工事中
關東	一	玉 石 入 混 凝 土	二・六	六四・五五	平均六、五三	五五、三〇六	八五、三〇八	
基隆	一	コ ン ク リ ー ト	三・〇	六・八二	三・三三	三、〇〇五	一、一〇三	貯水池ハ集水井ナ
平康	一	コ ン ク リ ー ト	一〇・九	九・〇〇	四・二四	一九、四八二	九、英〇	
海州	一	土	一四・八	一〇・一〇	一〇・〇〇	一六、三三三	二、〇四三	
鎮營	一	煉 土	三・二	四三・二二	二・〇〇	七五、五〇〇	八、一三六	
浦項	一	土	三・〇	二四・〇〇	一〇・〇〇	一、二五、五八九	二四、八七九	
莞島	一	粘 土	五・三	一〇一・〇〇	五・六四	一〇、四七〇	一一、二〇〇	
高興	一	煉 土	四・六	五〇・九一	三・九三	四七、七五〇	一七、二〇〇	

第二 水源、水路 (其四) 導水路

高崎市	前橋市	新發田町	高岡市	長岡市	新潟市	佐世保市	長崎市	高砂町	西宮市	明石市	姫路市	川崎市	横須賀市	堺市
蓋暗 コン ク リ ー ト	鐵開 筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト
渠管	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠
七、八六五	一、八七三	三、五五五	四、九七七	三、六六六	六、四九六	三、〇七〇	一、五五五	八、一〇一	一、〇九五	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	五、三三三
六・六	六・九	九	一・八	五・六	一・六	一・六	九	九	九	九	九	九	九	九
六・六	六・九	九	一・八	五・六	一・六	一・六	九	九	九	九	九	九	九	九
六・六	六・九	九	一・八	五・六	一・六	一・六	九	九	九	九	九	九	九	九
四、六三三	三、五五五	八、三三三	四、八三三	一、八三三	一、六三三	一、〇九五	一、〇九五	八、一〇一	二、八三三	二、八三三	二、八三三	二、八三三	二、八三三	二、八三三
一、六六七	九、五五五	八、三三三	一、八三三	七、四三三	一、五五五	一、五五五	一、五五五	一、五五五	一、五五五	一、五五五	一、五五五	一、五五五	一、五五五	一、五五五
蓋 鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長
六、三三八 三〇米	四、三三三 一六四 一八五 米	五、三三三 一六四 一八五 米	四、三三三 一六四 一八五 米	四、三三三 一六四 一八五 米	四、三三三 一六四 一八五 米	四、三三三 一六四 一八五 米	四、三三三 一六四 一八五 米	四、三三三 一六四 一八五 米	四、三三三 一六四 一八五 米	四、三三三 一六四 一八五 米	四、三三三 一六四 一八五 米	四、三三三 一六四 一八五 米	四、三三三 一六四 一八五 米	四、三三三 一六四 一八五 米

一三七

峰山町	青梅町	淀橋町	澁谷町	目黒町	八王子市	鉧路市	室蘭市	小樽市	函館市	名古屋市	神戸市	横濱市	水道名
鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト	鐵筋 コ ン ク リ ー ト
管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠	管渠
四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三
六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六
六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六
六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六	六・六
四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三	四、〇〇三
一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三	一、〇〇三
鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長	鐵筋 渠 延 長
六、六六六 六六六 米	六、六六六 六六六 米	六、六六六 六六六 米	六、六六六 六六六 米	六、六六六 六六六 米	六、六六六 六六六 米	六、六六六 六六六 米	六、六六六 六六六 米	六、六六六 六六六 米	六、六六六 六六六 米	六、六六六 六六六 米	六、六六六 六六六 米	六、六六六 六六六 米	六、六六六 六六六 米

一三六

五所川原町	青森市	平町	郡山市	若松市	福島市	石巻町	鹽釜町	仙臺市	上諏訪町	松本市
鐵筋コンクリート管	暗鐵管	開渠	鐵煉瓦 土管 木筋コンクリート管	鐵筋コンクリート管	鐵筋コンクリート管	鐵筋コンクリート管	鐵筋コンクリート管	鐵筋コンクリート管	鐵筋コンクリート管	鐵筋コンクリート管
二、七四	三、五四	四、六	一〇、三六	二、三	九、九	四、八元	一三、九〇	六、二六	七、四	
	・四五	・一八	・六				・四五	・一八		
	・五	・一三	・六				・四五	・一八		
	・四〇	・三〇	・三〇				・四五	・一八		
							七、三〇			
二、七四	二、八五〇		一、六六	二、三			四、〇五	六、二六	七、四	
鐵筋コンクリート管延長	暗鐵管延長	開渠延長	鐵土管延長 木管延長 鐵管延長	鐵筋コンクリート管延長	鐵筋コンクリート管延長	鐵筋コンクリート管延長	鐵筋コンクリート管延長	鐵筋コンクリート管延長	鐵筋コンクリート管延長	
二、五九一	二、八五〇	一、八三	八、五七四 一、五七五 一、四六六	六、六	二、七	一、三三三 一、三三七 一、三三七	七、三六〇 六、七六六	三、三三八 三、三三八 三、三三八	二、七五八 三、三三八	

長野市	岐阜市	大津市	谷津市	甲府市	熱海市	伊東市	濱松市	静岡市	豊橋市	桑名市	四日市市	津市	奈良市	足利市	宇都宮市	水戸市
鐵筋コンクリート管	鐵管	鐵管	鐵管	鐵管	鐵管	鐵管	鐵管	鐵管	鐵管	鐵管	鐵管	鐵管	鐵管	鐵管	鐵管	鐵管
二、九三		二、〇五	三、九	九、九三			三、六五		四、二六	二、七			三、六	二、七六	三、九七	
				・一四					・一五	・三六						
				・九					・三六	・八三						
							三、七五		三、〇							
三、九三		三、九		九、九三			七、四五		三、九七	一、九七						
鐵筋コンクリート管延長	鐵管延長	鐵管延長	鐵管延長	鐵管延長	鐵管延長	鐵管延長	鐵管延長	鐵管延長	鐵管延長	鐵管延長	鐵管延長	鐵管延長	鐵管延長	鐵管延長	鐵管延長	
一、五二七	九、五五	三、六六		九、五五			三、〇		一、七〇	三、一〇						

水道名	取	水	並	導	水	水	備	考
管、木管、鐵筋コンクリート管等ノ區別	總延長	上幅	下幅	水深	水管延長 以五百米以上 四百米未滿	內譯 四百米未滿		
高松市	二、九五一	一・五	一・五	一・八〇		二、七五	暗渠延長	二、一五五米
丸龜市	二、三六二	平均二・五	一・五	一・五	一五	一、三七	鐵筋管延長	一、二三七米
松山市	三、七五九		一・五	一・五	二、七〇七	四、九〇	暗渠延長	二、七九六米
宇和島市	一、九七	・五	・五	・九	六四七		鐵管延長	二、七〇七米
高知市	六、四七		・五	・九	一〇、三六	四、九〇	鐵管延長	八、九四米
福岡市	一、五、二、三、五	・三	・五	・九	二、九三	三	鐵管延長	二、七〇七米
久留米市	三、三、六〇				六四	三	鐵筋管延長	二、九三〇米
門司市	三、三、〇〇六				二、八六	一〇八	鐵筋管延長	二、九三〇米
小倉市	一、三、六、五二				三、八六	一、六九	鐵管延長	一、六九米
若松市	六、四、四七				四、七、八	一、六九	鐵管延長	一、六九米
大牟田市	四、四、四二				一、三、四、六	九、六〇	鐵管延長	九、六〇米
八幡市	二、二、九、七四				二、二、九、七四		鐵管延長	二、二、九、七四米
飯塚市	七、三					七、三	鐵管延長	七、三米
直方市	二、〇、七				三、四		鐵管延長	二、〇、七米
大分市	二、〇、四	・六			三、四		鐵管延長	三、〇、四米
別府市	二、〇、四				三、七	二、〇、二	鐵管延長	二、〇、二米
中津市	三、七				三、七		鐵管延長	三、〇、一、八三米

水道名	取	水	並	導	水	水	備	考
管、木管、鐵筋コンクリート管等ノ區別	總延長	上幅	下幅	水深	水管延長 以五百米以上 四百米未滿	內譯 四百米未滿		
山形市	九、五八	一・〇六	一・〇六	一・四	四、六五	一〇、八七	暗渠延長	四、〇九二米
秋田市	二〇、八七				五、七六	一、四、八七	鐵管延長	四、〇九二米
福島市	四、三、五					一、四、八七	鐵管延長	四、〇九二米
高岡市	一、〇、二〇					一、〇、二〇	鐵管延長	一、〇、二〇米
金澤市	八、三、五					八、三、五	鐵管延長	八、三、五米
鳥取市	八、三、五					八、三、五	鐵管延長	八、三、五米
米子市	八、三、五					八、三、五	鐵管延長	八、三、五米
松江市	八、〇、三					八、〇、三	鐵管延長	八、〇、三米
岡山市	四、四、三					四、四、三	鐵管延長	四、四、三米
倉敷市	五、四、七					五、四、七	鐵管延長	五、四、七米
廣島市	三、五、二					三、五、二	鐵管延長	三、五、二米
尾道市	八、八、三、九					八、八、三、九	鐵管延長	八、八、三、九米
福山市	二、五、〇、九、四					二、五、〇、九、四	鐵管延長	二、五、〇、九、四米
下關市	五、九、九					五、九、九	鐵管延長	五、九、九米
宇部市	五、八、四、九					五、八、四、九	鐵管延長	五、八、四、九米
和歌山市	八、二、八、五					八、二、八、五	鐵管延長	八、二、八、五米
徳島市	八、二、八、五					八、二、八、五	鐵管延長	八、二、八、五米

水道名	取	水	竝	導	水	水管延長内課	備	考
朝鮮總督府	鐵	取	九	〇	〇	二、三三七	鐵管延長	二、三三七
公州	鐵	管	二、三三七	〇	〇	二、三三七	鐵管延長	二、三三七
江州	鐵	管	三、四七五	〇	〇	三、四七五	鐵管延長	三、四七五
全州	鐵	管	五	〇	〇	五	鐵管延長	五
光州	鐵	管	二、七三三	〇	〇	二、七三三	鐵管延長	二、七三三
高州	鐵	管	六	〇	〇	六	鐵管延長	六
晉州	鐵	管	一四、四八二	〇	〇	一四、四八二	鐵管延長	一四、四八二
義州	鐵	管	六、一五一	〇	〇	六、一五一	鐵管延長	六、一五一
春川	鐵	管	三、一八一	〇	〇	三、一八一	鐵管延長	三、一八一
平康	鐵	管	一、五六一	〇	〇	一、五六一	鐵管延長	一、五六一
清津	鐵	管	三、九六九	〇	〇	三、九六九	鐵管延長	三、九六九
臺北	鐵	管	一、三三七	〇	〇	一、三三七	鐵管延長	一、三三七
基隆	鐵	管	一、三三七	〇	〇	一、三三七	鐵管延長	一、三三七
淡水	鐵	管	一、三三七	〇	〇	一、三三七	鐵管延長	一、三三七
新竹	鐵	管	二、三三〇	〇	〇	二、三三〇	鐵管延長	二、三三〇
臺中	鐵	管	五九	〇	〇	五九	鐵管延長	五九
彰化	鐵	管	六、九五六	〇	〇	六、九五六	鐵管延長	六、九五六
臺南	鐵	管	二、八五六	〇	〇	二、八五六	鐵管延長	二、八五六
嘉義	鐵	管	一四、四三六	〇	〇	一四、四三六	鐵管延長	一四、四三六

水道名	取	水	竝	導	水	水管延長内課	備	考
佐賀市	鐵	管	二、七五二	〇	〇	二、七五二	鐵管延長	二、七五二
熊本市	鐵	管	三、七〇一	〇	〇	三、七〇一	鐵管延長	三、七〇一
宮崎市	鐵	管	六、二四三	〇	〇	六、二四三	鐵管延長	六、二四三
那覇市	鐵	管	一、一三三	〇	〇	一、一三三	鐵管延長	一、一三三
京城府	鐵	管	四、二二六	〇	〇	四、二二六	鐵管延長	四、二二六
仁川府	鐵	管	一、二二二	〇	〇	一、二二二	鐵管延長	一、二二二
群山府	鐵	管	二、四〇〇	〇	〇	二、四〇〇	鐵管延長	二、四〇〇
木浦府	鐵	管	五七七	〇	〇	五七七	鐵管延長	五七七
大邱府	鐵	管	一、〇七九	〇	〇	一、〇七九	鐵管延長	一、〇七九
釜山府	鐵	管	四、四〇〇	〇	〇	四、四〇〇	鐵管延長	四、四〇〇
平壤府	鐵	管	一、三三七	〇	〇	一、三三七	鐵管延長	一、三三七
鎮南府	鐵	管	二〇、四五九	〇	〇	二〇、四五九	鐵管延長	二〇、四五九
新義州府	鐵	管	五、〇九七	〇	〇	五、〇九七	鐵管延長	五、〇九七
元山府	鐵	管	六、七三三	〇	〇	六、七三三	鐵管延長	六、七三三
咸興府	鐵	管	七〇〇	〇	〇	七〇〇	鐵管延長	七〇〇
豐原府	鐵	管	五〇〇	〇	〇	五〇〇	鐵管延長	五〇〇
大泊町	鐵	管	七、四八六	〇	〇	七、四八六	鐵管延長	七、四八六

水道名	取	水道	水道	水道	水道	備考
水道名	管	管	管	管	管	管
熊岳城	モ	ル	タ	ル	管	一三〇
道根式會社					管	
箱根山鐵道株式會社					管	
株南水會社					管	
株南水會社					管	
玉川水道					管	
江村組					管	
町村組					管	
荒玉水道					管	
魏子窩					管	
旅順					管	
金州					管	
大連					管	
關東					管	
臺東					管	
花蓮港					管	
高雄					管	
鐵道、暗渠、開渠、鐵管、木管、鐵筋コンクリート管等ノ區別						
總延長						
上幅						
下幅						
水深						
水管延長内譯						
五百以上						
四百未滿						
備考						

水道名	池數	總容積	池	大	サ	備考
水道名	池數	總容積	池	大	サ	備考
大石橋	ル	タル				五、六七 鐵管延長 土管延長 七、一六 七、四二 六、六六
鞍陽山	鐵	鐵				五、〇〇 鐵管延長 土管延長 一、六二 一、六一 一、六一
遼天	鐵	鐵				四、三九 鐵管延長 土管延長 二、七五 二、七五 二、七五
奉嶺	鐵	鐵				四、三九 鐵管延長 土管延長 二、七五 二、七五 二、七五
開原	鐵	鐵				四、三九 鐵管延長 土管延長 二、七五 二、七五 二、七五
昌平	鐵	鐵				四、三九 鐵管延長 土管延長 二、七五 二、七五 二、七五
四子街	鐵	鐵				四、三九 鐵管延長 土管延長 二、七五 二、七五 二、七五
雙廟	鐵	鐵				四、三九 鐵管延長 土管延長 二、七五 二、七五 二、七五
長春	鐵	鐵				四、三九 鐵管延長 土管延長 二、七五 二、七五 二、七五
本湖	鐵	鐵				四、三九 鐵管延長 土管延長 二、七五 二、七五 二、七五
橋頭	鐵	鐵				四、三九 鐵管延長 土管延長 二、七五 二、七五 二、七五
鷄冠山	鐵	鐵				四、三九 鐵管延長 土管延長 二、七五 二、七五 二、七五
撫順	鐵	鐵				四、三九 鐵管延長 土管延長 二、七五 二、七五 二、七五

第三、淨水場

(其一) 沈澄池

昭和五年三月三十一日現在

水道名	池數	總容積	池	大	サ	備考
水道名	池數	總容積	池	大	サ	備考
東市	四	三三、九八	上	二、八〇	六、〇六	四、〇四
京市	一	九、四八	下	一、〇一	三、六六	二、〇四
大市	三	二五、〇八	上	七、〇〇	三、五五	三、〇三
			下	一、〇一	六、〇六	四、〇四
			總	七、〇一	三、五五	三、〇三
			深	一、〇一	六、〇六	四、〇四
			有效水深	一、〇一	三、五五	三、〇三
			備	一、〇一	六、〇六	四、〇四
			考	一、〇一	三、五五	三、〇三

第三淨水場(其一) 沈澄池

水道名	池數	總容積	上部	下部	上部	下部	總深	有效水深	備考
尼崎市	三	五、八四四	三、八八五	二、七六六	三、四八五	二、七六六	三、六四	三、〇三	
明石市	二	七、五〇〇	五、〇一九	三、三〇〇	三、七〇〇	三、六四	三、〇三		
西宮市	二	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
高砂町	三	一五、五九六	五、七八六	四、〇〇六	三、八七九	四、八五	三、〇三		
長岡市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
新沼市	三	一五、五九六	五、七八六	四、〇〇六	三、八七九	四、八五	三、〇三		
佐保市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
長崎町	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
豐岡町	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
高岡市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
新發田町	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
前橋市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
高崎市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
水戸市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
宇都宮市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
足利市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
奈良市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
津市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
四日市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
桑名市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
豐橋市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
静岡市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
濱松市	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		
伊東町	三	三、七五七	三、〇九二	二、三六四	二、八七九	三、五五	三、〇三		

水道名	池數	總容積	上部	下部	上部	下部	總深	有效水深	備考
横濱市	六	五、八三七	三、〇〇〇	二、七八三	三、〇〇〇	二、七八三	三、〇〇〇	三、〇〇〇	青山西谷 扇形ニシテ直立
神戸市	四	三、二一六	一、〇三六	一、〇三六	一、〇三六	一、〇三六	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
名古屋市	五	一、七、〇六六	三、三三三	一、三三三	三、三三三	一、三三三	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
函館市	二	三、四八三	二、七三三	二、七三三	二、七三三	二、七三三	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
小樽市	二	四、一五三	四、一〇〇	四、一〇〇	四、一〇〇	四、一〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
室蘭市	一	一、八四六	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	配水池
釧路市	三	八、四八九	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
八王子市	三	一、八四六	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
目黒町	三	一、八四六	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
澁谷町	三	一、八四六	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
淀橋町	三	一、八四六	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
青梅町	三	一、八四六	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
峰山町	三	一、八四六	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
堺市	四	一、九、八〇三	三、三三三	一、三三三	三、三三三	一、三三三	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
横須賀市	三	五、九四三	三、三三三	二、六〇〇	三、三三三	二、六〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
川崎市	三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
姫路市	三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、〇〇〇	三、〇〇〇	

第三 淨水場 (其一) 沈澱池

水道名	池數	總容積	上部長	下部長	上部幅	下部幅	總深	有效水深	備考
高知市	二	一、三三三	一七・二七	一七・二七	一五・二四	一五・二四	三・七九	三・〇三	内法直徑二七・二七米ノ圓形ニシテ中央ノ隔壁ニヨリテ二個ニ區分ス尙中ニハ二條ノ導流壁ヲ設ク 武池ノ場合ハ第一期給水入口十萬人參池ノ場合ハ第二期給水入口十五萬人ヲ以テ豫備池ヲ設ケズ 源水概ネ清澄ナルヲ以テ豫
宇和島市	五	一八、七五〇	三六・〇〇	三六・〇〇	二六・〇〇	二六・〇〇	四・五〇	三・五〇	
松山市	三	四八六	九・〇〇	九・〇〇	六・〇〇	六・〇〇	三・〇〇	二・五〇	
丸龜市	一	三、一五九	三六・三六	三六・三六	二六・〇六	二六・〇六	三・九四	三・三三	
徳島市	二	一、三三〇	三六・八八	三六・八八	二七・七四	二七・七四	三・九六	三・〇五	
和歌山市	三	三、七〇一	四八・七七	四八・七七	三九・六二	三九・六二	三・九六	三・〇五	
下關市	四	二七、七五五	四二・四三	四二・四三	四四・三〇	四四・三〇	三・四二	三・二二	
福山市	三	三、七〇一	四八・七七	四八・七七	三九・六二	三九・六二	三・九六	三・〇五	
尾道市	三	三、七〇一	四八・七七	四八・七七	三九・六二	三九・六二	三・九六	三・〇五	
吳島敷市	三	三、七〇一	四八・七七	四八・七七	三九・六二	三九・六二	三・九六	三・〇五	
廣島市	三	三、七〇一	四八・七七	四八・七七	三九・六二	三九・六二	三・九六	三・〇五	
倉敷市	三	三、七〇一	四八・七七	四八・七七	三九・六二	三九・六二	三・九六	三・〇五	
岡山市	三	三、七〇一	四八・七七	四八・七七	三九・六二	三九・六二	三・九六	三・〇五	
松江市	三	三、七〇一	四八・七七	四八・七七	三九・六二	三九・六二	三・九六	三・〇五	
米子市	三	三、七〇一	四八・七七	四八・七七	三九・六二	三九・六二	三・九六	三・〇五	
鳥取市	三	三、七〇一	四八・七七	四八・七七	三九・六二	三九・六二	三・九六	三・〇五	
高岡市	三	三、七〇一	四八・七七	四八・七七	三九・六二	三九・六二	三・九六	三・〇五	
金澤市	三	三、七〇一	四八・七七	四八・七七	三九・六二	三九・六二	三・九六	三・〇五	

水道名	池數	總容積	上部長	下部長	上部幅	下部幅	總深	有效水深	備考
熱海市	一	一六、六六六	八〇・〇〇	七〇・八五	五七・〇九	四〇・五四	五・八六	四・五五	有效容積ヲ計上ス 各池ニ長一四・五米ノ導流壁アリ 沈澱池ニ類スル排砂池トス
甲府市	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
谷村町	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
大津市	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
岐阜市	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
長野市	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
上田市	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
上諏訪町	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
仙臺市	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
鹽釜町	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
石巻市	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
福島市	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
若松市	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
郡山市	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
平山町	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
青森市	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
五所川原町	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
山形市	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
秋田市	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	
福井市	一	一、四五五	二七・二七	二六・〇六	二〇・〇六	一九・三九	二・七二	二・三三	

水道名	池數	總容積	上部	下部	上部	下部	總深	有效水深	備考
群山浦府	二	七,五〇〇	四〇〇〇	二,一〇〇	三,一〇〇	一,八〇〇	四,九〇〇	三,一〇〇	自然溪谷ヲ利用セルニ依リ 長幅等一定ナラズ
木邱府	三	三,〇〇〇	四〇〇	三,〇〇〇	一,九〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
大釜山府	三	三,三〇〇	四〇〇	三,〇〇〇	一,九〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
平壤府	三	三,三〇〇	四〇〇	三,〇〇〇	一,九〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
鎮南浦府	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
元山府	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
咸興府	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
豐原府	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
大泊町	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
臺灣總督府	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
基隆府	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
新竹府	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
彰化府	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
臺南府	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
嘉義府	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
高雄府	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
花蓮港	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
臺東	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
關東廳	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
大連	二	二,六〇〇	三〇〇	二,三〇〇	一,六〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		
旅順	一	七,八〇〇	三,〇〇〇	二,七〇〇	一,九〇〇	四,九〇〇	三,〇〇〇		

水道名	池數	總容積	上部	下部	上部	下部	總深	有效水深	備考
福岡市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	灘島水源池 鷺梁津水源池
久留米市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
門司市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
小倉市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
若松市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
大牟田市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
八幡市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
飯塚市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
直方市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
別府市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
中津市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
佐賀市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
熊本市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
宮崎市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
鹿兒島市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
那霸市	一	一六,六六六	七,二〇〇	六,〇〇〇	五,五〇〇	四,五〇〇	五,三〇〇	四,五〇〇	
京城府	五	二五,七三三	四,七〇〇	四,〇〇〇	三,七〇〇	三,〇〇〇	四,〇〇〇	三,七〇〇	
仁川府	三	一五,天三	五,四〇〇	四,〇〇〇	三,七〇〇	三,〇〇〇	四,〇〇〇	三,七〇〇	

第三淨水場 (其二) 濾過池

水道名	池數	總面積	上部	下部	上部	下部	總深	濾床厚	濾過速度	備考
東京市	五	一五、七三	二四池	七、一八	七、七	五、九一	五、三〇	二、七	三、〇三	昭和四年度中ノ濾過水量 計一四、二二、六三 八六四立方七、五七七、 四、七六八立方六、二、六 淨水場七、九、五七七、 境淨水場七、九、五七七、 四、七六八立方六、二、六
京都市	五	九、五六	二〇池	六、四〇	六、四〇	六、四〇	二、三三	一、三	三、〇三	急速濾過ニ依ル圓形濾 過槽ニ〇個及緩速濾過 法ニヨル五池ヲ備フ
大阪市	三	一三、〇八	一〇池	七、七	七、七	七、七	三、〇〇	一、〇	四、八四	急速濾過用
横濱市	一五	二四、二五	八池	六、三三	九、三三	四、五	二、八	一、〇	三、〇三	緩速...川井
神戸市	三九	三六、七三	三池	一、八	一、七	一、七	二、八	二、二	二、二	北野構場
名古屋市	一四	四〇、〇六	六池	七、八八	七、九一	六、二	二、八	二、二	二、二	同
函館市	五	九、三九	一池	三、〇九	三、〇九	三、〇九	二、四	一、五	三、〇三	同
小樽市	七	八、四八	三池	四、八二	四、五二	三、七	二、二	三、〇三	三、〇三	高區
室蘭市	四	三、九三	三池	四、〇〇	四、〇〇	二、四	二、二	三、〇三	三、〇三	低區
釧路市	四	三、九三	三池	四、〇〇	四、〇〇	二、四	二、二	三、〇三	三、〇三	株式會社日本製鋼所ヨ リ分水ヲ受クルヲ以テ 濾過池ナシ

第三、淨水場

(其二) 濾過池

【備考】 一、圓形濾過池ニアリテハ長上部欄ニ上底直徑ヲ長下部欄ニ下底直徑ヲ記入シ備考欄ニ「圓形」ト附記ス
二、小數二位以下四捨五入ス
三、總面積ハ各濾過池面積ノ合計ヲ記入ス

昭和五年三月三十一日現在

水道名	池數	總面積	池ノ長		池ノ幅		總深	濾床厚	濾過速度	備考
			上部	下部	上部	下部				
荒玉水道	三	一〇九、七四	一三、三九	二、二〇	九、八三	七、三六	五、〇〇	三、〇三	三、〇三	河水濁濁ニ限リ使用ス
町村組水	二	一〇九、七四	一八、一八	三、三三	七、二七	七、三六	四、二三	三、〇三	三、〇三	
玉川水道	八	四三、三〇	七、七九	三、三三	六、八三	三、六四	三、八六	三、〇三	三、〇三	河水量濁ニ限リ使用ス
株式會社	一	四三、三〇	七、七九	三、三三	六、八三	三、六四	三、八六	三、〇三	三、〇三	
湘南水道	一	七〇	七、七九	三、三三	六、八三	三、六四	三、八六	三、〇三	三、〇三	河水量濁ニ限リ使用ス
箱根鐵道	一	七〇	七、七九	三、三三	六、八三	三、六四	三、八六	三、〇三	三、〇三	
株式會社	一	七〇	七、七九	三、三三	六、八三	三、六四	三、八六	三、〇三	三、〇三	河水量濁ニ限リ使用ス
本溪湖	一	七〇	七、七九	三、三三	六、八三	三、六四	三、八六	三、〇三	三、〇三	
撫順	一	七〇	七、七九	三、三三	六、八三	三、六四	三、八六	三、〇三	三、〇三	河水量濁ニ限リ使用ス
本溪湖	一	七〇	七、七九	三、三三	六、八三	三、六四	三、八六	三、〇三	三、〇三	

水道名	池數	總面積	上部長	下部長	上部幅	下部幅	總深	濾床厚	濾過速度	備考
高田市	四	二九	三〇三	三〇三	二一三〇	二一三〇	三〇三	一五	六〇六	圓形キヤンデー式急速濾過機
新發田町	三	六九	一八一	一八一	四一五	四一五	二八	一五	五〇	水深〇・九一米
前橋市	三	六九	一八一	一八一	四一五	四一五	二八	一五	五〇	機械濾過池ニシテ一池ノ大サ一六・五平方米
高崎市	四	四九	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	底ヨリ笠石下端迄(笠石高一尺)
水戸市	三	二五	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
宇都宮市	三	六	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
足利市	四	二七	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
奈良市	四	三	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
津市	四	三	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
四日市	三	一四	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
桑名市	三	四〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
豐岡市	三	三	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
靜岡市	三	三	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
濱松市	三	三	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
伊東市	三	三	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
熱海市	三	三	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
甲府市	三	三	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
大谷町	三	三	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
岐津市	三	三	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
岐阜市	三	三	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
長野市	三	三	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
松本市	三	三	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
上田市	三	三	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
約										
濾過池										
濾床面積										
濾過速度										

水道名	池數	總面積	上部長	下部長	上部幅	下部幅	總深	濾床厚	濾過速度	備考
八王子市	三	一、〇〇〇	二七・七	二七・七	二〇・〇	二〇・〇	二・七	一五	六〇六	二池ヲ常用一池ハ豫備
目黒町	三	五、〇五	三六・六	三六・六	三三・三	三三・三	三・三	一五	四・五	二池ヲ常用シ一池ヲ豫備トシ交互ニ使用ス
澁谷町	三	三三・二	一五・五	一五・五	七・七	七・七	二・八七	一五	六〇六	二池ヲ常用シ一池ヲ豫備トシ交互ニ使用ス
青梅町	三	一八・五	一三・六	一三・六	七・五	七・五	三・〇三	一三	三・〇三	海軍水道ノ分水ヲ受ケルヲ以テ該當ナシ
峰山町	六	三、〇一	三〇・〇	三〇・〇	一八・八	一八・八	二・五〇	一三	三・〇三	二池ヲ常用シ一池ヲ豫備トシ交互ニ使用ス
横須賀市	四	三、〇六	三三・二	三三・二	三〇・七	三〇・七	二・六	一三	三・六	二池ヲ常用シ一池ヲ豫備トシ交互ニ使用ス
川崎市	三	三、六六	三三・二	三三・二	三〇・七	三〇・七	二・六	一三	三・六	二池ヲ常用シ一池ヲ豫備トシ交互ニ使用ス
姫路市	八	四、〇三	三三・二	三三・二	三〇・七	三〇・七	二・六	一三	三・六	二池ヲ常用シ一池ヲ豫備トシ交互ニ使用ス
尼崎市	三	三、六六	三三・二	三三・二	三〇・七	三〇・七	二・六	一三	三・六	二池ヲ常用シ一池ヲ豫備トシ交互ニ使用ス
明石市	二	二、四九	二七・七	二七・七	二二・二	二二・二	二・四	一三	二・五	二池ヲ常用シ一池ヲ豫備トシ交互ニ使用ス
西宮市	二	二、四九	二七・七	二七・七	二二・二	二二・二	二・四	一三	二・五	二池ヲ常用シ一池ヲ豫備トシ交互ニ使用ス
高砂町	二	二、四九	二七・七	二七・七	二二・二	二二・二	二・四	一三	二・五	二池ヲ常用シ一池ヲ豫備トシ交互ニ使用ス
豊岡町	二	二、四九	二七・七	二七・七	二二・二	二二・二	二・四	一三	二・五	二池ヲ常用シ一池ヲ豫備トシ交互ニ使用ス
長崎市	三	二、〇六	三三・二	三三・二	三〇・七	三〇・七	二・六	一三	三・六	二池ヲ常用シ一池ヲ豫備トシ交互ニ使用ス
佐世保市	三	三、四四	三三・二	三三・二	三〇・七	三〇・七	二・六	一三	三・六	二池ヲ常用シ一池ヲ豫備トシ交互ニ使用ス
新潟市	四	三、五八	三三・二	三三・二	三〇・七	三〇・七	二・六	一三	三・六	二池ヲ常用シ一池ヲ豫備トシ交互ニ使用ス
長岡市	三	一、〇九	二六・〇	二六・〇	二四・七	二四・七	二・六	一三	四・五	外一池豫備ヲ設ケ

第三 淨水場 (其二) 濾過池

水道名	池數	總面積	上部	下部	上部	下部	總深	濾床厚	濾過速度	備考
岡山市	10	10,311	3,900	3,000	3,900	3,000	2,400	7	2.7	扇形ニ配列シ其兩側ハ同心ノ圓トス外徑ハ百六十尺內徑ハ九十尺テナリ切壁ハ直線ニテテ角トシテ九十度ノ垂角トシテ周圍ハ九度ノ
廣島市	7	7,377	4,894	5,578	3,584	2,600	2,800	3	3.3	同前
尾道市	4	1,866	3,000	2,973	2,300	2,500	2,500	3	3.3	同前
福山市	4	2,822	3,788	3,691	2,700	2,800	2,800	3	3.3	同前
下關市	7	8,342	4,062	4,200	3,500	2,800	2,800	3	3.3	同前
宇部市	3	2,602	3,282	3,282	2,700	2,700	2,700	3	3.3	同前
和歌山市	4	5,554	4,090	4,090	3,300	2,700	2,700	3	3.3	同前
徳島市	2	1,658	2,679	2,679	2,600	2,600	2,600	3	3.3	同前
高松市	6	2,033	3,303	2,818	2,400	2,400	2,400	3	3.3	同前
丸龜市	3	1,408	2,285	2,285	2,200	2,200	2,200	3	3.3	同前
松山市	4	6,666	4,330	4,330	3,300	2,700	2,700	3	3.3	同前
宇和島市	8	833	3,348	3,348	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
高知市	3	2,334	3,394	3,394	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
福岡市	4	6,787	4,677	4,677	3,300	2,700	2,700	3	3.3	同前
久留米市	4	7,260	5,516	5,516	3,300	2,700	2,700	3	3.3	同前
門司市	4	4,906	4,344	4,344	3,300	2,700	2,700	3	3.3	同前

水道名	池數	總面積	上部	下部	上部	下部	總深	濾床厚	濾過速度	備考
上諏訪町	4	5,876	4,684	4,684	3,300	2,700	2,700	3	3.3	内一面ハ豫備
仙臺市	2	882	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
鹽釜町	3	4,484	4,684	4,684	3,300	2,700	2,700	3	3.3	同前
石巻市	3	2,400	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
若松市	3	3,740	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
郡山市	8	1,860	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
平町	3	2,599	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
青森市	3	562	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
五所川原町	3	3,948	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
山形市	2	663	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
秋田市	3	3,948	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
福井市	3	3,948	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
金澤市	8	3,300	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
高岡市	5	3,300	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
鳥取市	1	3,300	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
米子市	1	3,300	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前
松江市	6	3,300	3,300	3,300	2,800	2,800	2,800	3	3.3	同前

水道名	池數	總面積	上部長	下部長	上部幅	下部幅	總深	濾床厚	濾一晝夜度過	備考
木浦府	四	一、二六四	一八・八	一八・八	四・五	四・五	二・七	一・〇六	二・四三	圓形
大邱府	四	六八四三	四・五	四・五	二・八	二・八	二・七	一・〇六	二・四三	圓形
釜山府	二	六、九七三	二・八	二・八	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
平壤府	四	三、八七四	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
鎮南浦府	五	一、五二五	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
新義州府	二	一九八	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
元山府	四	一、〇七一	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
咸興府	一	一、二二	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
豐原府	一	一、四八七	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
大泊町	三	一、八二二	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
朝鮮總督府	三	一、八二二	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
公州府	二	一、一〇	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
江州府	二	一、一〇	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
全州府	二	一、一〇	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
光州府	四	三、四三	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
高興府	一	二、九	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
莞島府	一	一、八	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
浦項府	二	一、〇	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形
金泉府	二	一、八	二・七	二・七	二・七	二・七	二・八	一・〇六	二・四三	圓形

圓形
中央ニ集水井ノ裝置アリ
分劃シテ四個ニ

水道名	池數	總面積	上部長	下部長	上部幅	下部幅	總深	濾床厚	濾一晝夜度過	備考
小倉市	四	三、四三	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
若松市	七	五、四三	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
大牟田市	一	七、四	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
八幡市	六	七、四	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
飯塚市	三	三、三	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
直方町	三	一、四〇	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
大分市	四	四、〇〇〇	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
別府市	七	三、九六	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
中津市	四	九、八	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
佐賀市	八	五、二	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
熊本市	一	三、七	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
宮崎市	一	七、七	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
鹿兒島市	一	四、三	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
那覇市	九	七、七	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
京城府	四	四、三	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
仁川府	四	四、三	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	
群山市	三	四、三	三・六	三・六	三・六	三・六	二・五	一・〇六	二・四三	

自至
蘇島水源池
鷺梁津水源池

目下工事中

グラビテイ式濾過機
内一個ハ豫備

水道名	池數	總面積	池長		池幅		總深	濾床厚	濾一晝夜度過	備考
			上部	下部	上部	下部				
晉州	一	一、六五三	八・二	八・二	八・三	八・三	三・六	三	五・六〇	
鎮海	二	一、七	八・八	八・八	八・八	八・八	三・三	二	七・五〇	
海州	二	一、八	八・八	八・八	八・八	八・八	三・三	二	三・八四	
義州	一	一、六	九・〇	九・〇	六・六	四・五五	二・九	三	三・九〇	
春川	二	七	七・五七	七・五七	七・五七	七・五七	二・三	九	七・一八	
平康	二	七	八・八	七・八	五・五	四・八七	二・二	三〇	六・三六	
清津	一	九	一〇・九〇	一〇・九〇	八・八	七・五七	二・四	二	四・七〇	從來ノ濾過池ハ配水池ニ變更セリ
會寧	一	二〇	九・〇	九・〇	七・五七	七・五七	二・三	五	六・〇六	圓形
臺南	八	九、八三	七・八	七・七	三・〇	二・九七〇	二・四	三	三・〇三	
基隆	三	四、一三	三・〇	三・〇	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
新竹	三	二、三	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
彰化	五	二、二	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
臺南	一	一、四	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
嘉義	三	二、〇六	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
高雄	三	三、六三	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
花蓮	二	八・一	二・四	二・四	二・四	二・四	一・九	一	三・〇三	
臺東	二	五・九	二・三	二・三	二・三	二・三	一・六	一	三・〇三	

水道名	池數	總面積	池長		池幅		總深	濾床厚	濾一晝夜度過	備考
			上部	下部	上部	下部				
關東	一〇	三、八	四池	四池	二七・二七	二七・二七	二・四	三	二・四二	
大連	一	一、三	六・〇	六・〇	五・四	五・四	二・四	三	三・二二	
金州	二	一、五	七・四	七・四	六・〇	六・〇	二・四	三	三・二二	
旅順	六	一、六	三・三	三・三	一・九	一・九	二・四	九	三・〇三	
荒井	八	二、九	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
町川	二	二、九	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
江村	二	二、九	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
玉川	二	二、九	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
株式會社	二	二、九	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
湘南	二	二、〇	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
株式會社	二	二、〇	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
箱根	二	二、〇	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
道根	二	二、〇	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
株式會社	二	二、〇	三・三	三・三	三・三	三・三	二・七	一	三・〇三	
本溪湖	三	三、三	七・三	七・三	三・六	三・六	二・五	三	二・〇〇	濾過機附屬沈澱塔内徑二米七三高六米〇九二個ヲ有ス
撫順	三	三、三	七・三	七・三	三・六	三・六	二・五	三	二・〇〇	

第三、淨水場

(其三) 淨水池

昭和五年三月三十一日現在

【備考】
 一、圓形淨水池ニアリテハ長上部欄ニ上底直徑ヲ長下部欄ニ下底直徑ヲ記入ス
 二、小數二位以下四捨五入ス
 三、總容積ハ各淨水池容積ノ合計ヲ記入ス

水道名	池數	總容積	上部	下部	上部	下部	有效水深	備考
小樽市	六	100,616	40,616	3,970	10,000	1,950	4.4	配水池
室蘭市	二	2,500	3,500	2,970	1,600	2.7		
釧路市	二	3,900	2,970	1,800	1,000	3.6		
八王子市	二	3,900	2,970	1,800	1,000	3.6		
目黒町	二	5,500	1,250	1,400	1,800	1.8	圓筒形	
澁谷町	二	5,500	1,250	1,400	1,800	1.8	圓筒形	
青梅町	二	1,500	1,300	800	300	3.3		
峰山町	一	2,000	1,000	800	200	3.3		
堺市	一	2,000	1,000	800	200	3.3		
横須賀市	二	2,700	1,900	1,500	400	4.0	(圓形) 濕ヶ谷配水池 逸見配水池	
川崎市	三	2,500	2,000	1,600	400	2.6		
姫路市	三	3,000	3,000	2,400	600	3.0		
尼崎市	二	1,000	1,800	1,300	500	2.0		
明石市	二	7,500	5,900	4,700	1,200	3.4		
高砂町	一	1,600	2,400	1,800	600	3.3	二池ニ區分シアリ	
豊岡町	一	1,600	2,400	1,800	600	3.3		
長崎市	六	15,148	13,400	11,000	2,400	4.0	圓形	

水道名	池數	總容積	上部	下部	上部	下部	有效水深	備考
函館市	四	15,050	13,400	11,000	2,400	4.0	第一高區 第二低區	
名古屋市	四	4,700	5,600	4,800	800	4.9	會下山構場	
神戸市	七	5,200	3,000	2,700	300	3.3	北野構場	
横濱市	七	6,300	4,800	4,200	600	5.5	川井	
大阪市	九	13,300	10,000	8,000	2,000	3.3	西谷	
京都市	三	26,300	20,000	16,000	4,000	4.5	松ヶ崎	
東京市	四	25,300	20,000	16,000	4,000	4.5	淀橋 芝本郷 和田堀	

第三 淨水場 (其三) 淨水池

水道名	池數	總容積	上部	下部	上部	下部	有效水深	備考
大津市	二	一、四八八	一九七〇	一九五三	一五二五	一四八八	三・六四	
岐阜市	四	四、七九	三・八三	二・八三	一五・五五	一五・四五	三・三三	
長野市	二	四、一九	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・三三	導流壁アリ
松本市	二	四、一九	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・三三	
上田市	二	三、二二	三・八三	三・八三	三・八三	三・八三	三・三三	
上諏訪町	二	三、二二	三・八三	三・八三	三・八三	三・八三	三・三三	
仙臺市	二	一四、三五	五・八三	五・八三	五・八三	五・八三	三・三三	
鹽釜町	一	七〇	三・三三	三・三三	三・三三	三・三三	三・三三	
石巻町	一	七〇	三・三三	三・三三	三・三三	三・三三	三・三三	
福島市	二	二、七三	二・六七	二・六七	二・六七	二・六七	三・六四	
若松市	二	二、五一	二・八一	二・八一	二・八一	二・八一	三・一六	
郡山市	二	二、六九	二・八一	二・八一	二・八一	二・八一	三・一六	
平山市	三	一、一〇	三・四三	三・四三	三・四三	三・四三	三・〇三	
青森市	三	二、四九	三・三三	三・三三	三・三三	三・三三	三・〇三	
五所川原町	三	五・六一	一三・三三	一三・三三	一三・三三	一三・三三	二・七三	
山形市	三	二、七三	二・八一	二・八一	二・八一	二・八一	三・〇三	
秋田市	三	四、五八	三・〇七	三・〇七	三・〇七	三・〇七	三・〇三	
福島市	三	七、三五	三・四五	三・四五	三・四五	三・四五	四・〇三	
金沢市	三	五、〇九	三・〇三	三・〇三	三・〇三	三・〇三	三・六四	工事中
高岡市	二	三、〇三	三・〇三	三・〇三	三・〇三	三・〇三	三・六四	
鳥取市	一	三、〇三	三・〇三	三・〇三	三・〇三	三・〇三	三・六四	

水道名	池數	總容積	上部	下部	上部	下部	有效水深	備考
佐世保市	二	五、〇〇〇	二九・〇九	二九・〇九	三・八三	三・八三	四・〇九	
新潟市	三	三、八四	三・〇二	二・八六	二・四五	二・九一	五・四五	
長岡市	一	一、三六	三・七六	三・三六	三・三三	三・三三	二・七三	
高田市	二	一、九三	二・三三	二・三三	二・三三	二・三三	三・〇三	
新發田町	二	八・五	一三・六〇	一三・四九	一〇・〇〇	九・八五	三・三三	圓形
前橋市	二	三、五〇	六・六四	六・六四	一七・九四	一七・九四	三・六四	
高崎市	二	二、六〇	二・四四	二・三三	一四・七〇	一三・七	三・六四	
水戸市	二	四・天	一四・九一	一四・五五	一〇・五五	一〇・〇〇	二・四三	
宇都宮市	二	七、三三	三・〇九	三・〇九	三・〇九	三・〇九	三・九四	
足利市	二	三、四〇	三・六〇	三・六〇	一八・五〇	一八・五〇	三・六四	配水池
奈良市	一	三、三三	一九・九三	一九・九三	一九・〇九	一九・〇九	三・〇三	
津市	一	三、三三	三・〇三	三・〇三	三・三三	三・三三	三・〇三	
四日市	一	三、三三	二・七七	二・七七	二・七七	二・七七	三・一八	
桑名町	二	一、七〇	一九・三〇	一九・三〇	一五・七六	一五・七六	三・〇三	
豊橋市	二	三、六〇	三・九四	三・九四	二・八三	二・八三	三・七九	
静岡市	二	三、三三	一九・三〇	一九・三〇	一五・七六	一五・七六	三・〇三	
濱松市	二	三、三三	一九・三〇	一九・三〇	一五・七六	一五・七六	三・〇三	
伊東市	二	三、三三	一九・三〇	一九・三〇	一五・七六	一五・七六	三・〇三	
熱海市	二	三、三三	一九・三〇	一九・三〇	一五・七六	一五・七六	三・〇三	
甲府市	二	四、〇三五	三・六二	三・五五	一五・七五	一五・一五	四・一〇	
谷村町	一	五・五六	一八・一八	一八・一八	一六・一六	一六・一六	二・二三	

水道名	池數	總容積	上部	下部	上部	下部	有效水深	備考
福岡市	二	七、三〇三	三、四八四	三、四八四	三、三〇三	三、三〇三	四、五五	
久留米市	二	四、〇〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	四、七〇	
門司市	二	五、七九八	三、〇〇〇	二、七九八	二、七九八	二、七九八	二、七九	
小倉市	三	四、二七七	一、二二三	一、〇〇〇	一、二二三	一、二二三	四、二四	
若松市	三	四、二七七	一、二二三	一、〇〇〇	一、二二三	一、二二三	四、二四	
大牟田市	一	三、八二三	三、八二三	三、八二三	三、八二三	三、八二三	四、〇〇	池ノ内側ハ上部ト下部ト同一寸法ニテ下部ヲ外側ニ擴大築造セリ
八幡市	四	八、八九四	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	五、〇〇	高區用 低區用
戸畑市	二	一、七〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇	二、四二	
飯塚町	二	一、六八〇	一、六八〇	一、六八〇	一、六八〇	一、六八〇	四、三五	
直方町	二	三、一八〇	二、六七〇	二、六七〇	二、六七〇	二、六七〇	三、〇〇	
大分市	二	四、七四〇	二、六七〇	二、六七〇	二、六七〇	二、六七〇	四、三〇	
別府市	四	四、七四〇	二、六七〇	二、六七〇	二、六七〇	二、六七〇	四、三〇	
中津市	二	六、七〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、〇三	
佐賀市	四	一、九四八	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、〇三	圓形 長方形
熊本市	二	七、五二一	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	四、七〇	
宮崎市	二	五、三八八	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	三、三〇〇	四、三〇	
鹿兒島市	二	三、九八〇	三、九八〇	三、九八〇	三、九八〇	三、九八〇	三、〇三	
那覇市	二	三、九八〇	三、九八〇	三、九八〇	三、九八〇	三、九八〇	三、〇三	
京城府	二	三、八九六	三、八九六	三、八九六	三、八九六	三、八九六	四、五五	藤島水源池 鷺梁津水源池
仁川府	二	三、八九六	三、八九六	三、八九六	三、八九六	三、八九六	三、六四	

水道名	池數	總容積	上部	下部	上部	下部	有效水深	備考
米子市	二	一、八五〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	四、五五	配水池トス 流導壁六個アリ
松江市	二	二、三三三	二、七二七	二、六〇六	二、三三三	二、三三三	二、七五	
岡山市	五	八、五五五	二、六〇六	二、六〇六	二、六〇六	二、六〇六	四、〇九	圓形 長方形
倉敷市	二	九、八八六	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇五	
廣島市	五	五、四八八	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇五	
尾道市	二	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	二、八八	
吳市	二	二、四四二	二、七二七	二、七二七	二、四四二	二、四四二	三、〇三	圓形中央隔壁ニヨリテ二個ニ區分ス二條ノ導流壁ヲ設ク
福山市	二	一、九九九	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、九九九	一、九九九	三、七九	總容積ハ導流壁ノ容積ヲ減ジタル満水ノ水量ヲ示ス
下關市	四	一、三五一	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、三五一	一、三五一	三、三三	上部ニ濾過池ヲ設ク 配水池ト兼用ス
宇部市	二	三、七三三	二、八七九	二、八七九	三、七三三	三、七三三	四、二四	
和歌山市	二	七、七九〇	二、七〇〇	二、七〇〇	七、七九〇	七、七九〇	四、二四	扇形
徳島市	二	四、二一〇	二、七〇〇	二、七〇〇	四、二一〇	四、二一〇	三、〇〇	
高松市	三	一、三三六	一、四〇〇	一、四〇〇	一、三三六	一、三三六	四、五五	
丸龜市	二	七、五〇〇	二、八〇〇	二、八〇〇	七、五〇〇	七、五〇〇	三、五〇	
松山市	三	一、八七五	一、四〇〇	一、四〇〇	一、八七五	一、八七五	三、六四	
宇和島市	二	三、〇八〇	二、八〇〇	二、八〇〇	三、〇八〇	三、〇八〇	四、八五	
高知市	二	二、二八二	二、二八二	二、二八二	二、二八二	二、二八二	四、八五	

第三 淨水場 (其三) 淨水池

水道名	池數	總容積	上部	下部	上部	下部	有效水深	備考
新臺中	一	二,〇八七	二五・八五	二五・八五	二四・〇〇	二四・〇〇	三・六四	圓形
彰化	一	一,四三三	一〇・四三	一〇・四三	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
臺南	一	六,四〇〇	一八・七六	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
嘉義	一	一,三三三	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
高雄	一	四,二〇〇	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
花蓮	一	八三五	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
臺東	一	一五,九五	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
關東	九	一五,九五	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
大連	一	一三,六三五	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
金州	一	四四三	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
荒玉水道町	一	一三,六三五	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
村組合	一	五,九五	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
江川水上	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
町村組合	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
玉川水道	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
式會社	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
湘南水道	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
式會社	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
箱根登山鐵	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
道株式會社	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
瓦房店	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形

水道名	池數	總容積	上部	下部	上部	下部	有效水深	備考
新臺中	一	二,〇八七	二五・八五	二五・八五	二四・〇〇	二四・〇〇	三・六四	圓形
彰化	一	一,四三三	一〇・四三	一〇・四三	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
臺南	一	六,四〇〇	一八・七六	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
嘉義	一	一,三三三	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
高雄	一	四,二〇〇	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
花蓮	一	八三五	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
臺東	一	一五,九五	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
關東	九	一五,九五	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
大連	一	一三,六三五	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
金州	一	四四三	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
荒玉水道町	一	一三,六三五	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
村組合	一	五,九五	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
江川水上	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
町村組合	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
玉川水道	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
式會社	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
湘南水道	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
式會社	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
箱根登山鐵	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
道株式會社	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形
瓦房店	一	一五,〇九二	一八・八	一八・八	一八・八	一八・八	三・〇	圓形

昭和四年十二月擴張シ上部直徑五・三〇米ヲ
 増シ(有效水位表面ヨリ二米下部迄)容積一九
 〇立方米ヲ增加ス

水道名	臺數	名	稱	型	式	原動力	製造所名	工一臺ノ	最大揚	夜一臺ノ	備	考
目黒町	三	渦巻	渦巻	横式單段	電	電	氣 瑞西ツルツァー兄弟商會	キロワット 三	米 五・七一	立方米 一〇、四八		
澁谷町	一	一	一	離心型	電	電	氣 三菱造船所	一五・〇〇		九、〇九		
青梅町	一	一	一	離心型	電	電	同 神藤製作所	一八・〇〇		七、六八		
峯山町	一	一	一	離心型	電	電	同 神藤製作所	一八・〇〇		七、六八		
堺市	九	一	一	離心型	電	電	同 神藤製作所	一八・〇〇		七、六八		
横須賀市	六	一	一	離心型	電	電	同 神藤製作所	一八・〇〇		七、六八		
川崎市	六	一	一	離心型	電	電	同 神藤製作所	一八・〇〇		七、六八		
姫路市	三	一	一	離心型	電	電	同 神藤製作所	一八・〇〇		七、六八		
尼崎市	三	一	一	離心型	電	電	同 神藤製作所	一八・〇〇		七、六八		

水道名	臺數	名	稱	型	式	原動力	製造所名	工一臺ノ	最大揚	夜一臺ノ	備	考
明石市	一	一	一	電動機直結	電	電	氣 藤田鐵業	七	五、〇〇	七、四八〇		
西宮市	三	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	五、〇〇	四、八〇八		
高砂町	五	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		
豊岡町	一	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		
長崎市	一	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		
佐世保市	一	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		
新潟市	一	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		
長岡市	一	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		
高田市	一	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		
新發田町	一	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		
前橋市	一	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		
高崎市	一	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		
水戸市	一	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		
宇都宮市	一	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		
足利市	一	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		
奈良市	一	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		
津市	一	一	一	電動機直結	電	電	同 西島製作所	三	三、〇〇	三、九六一		

水道名	臺數	名	稱	型	式	原動力	製造所名	工一臺ノ率	最大揚水落差	一臺ノ最大揚水量	備考
四日市市	四	タービン	唧筒	堅型二段片吸込式	電	電	氣荏原製作所	三六	三五・七五	五、三八	
桑名市											
静岡市											
伊東市											
熱海市											
甲府市											
谷村町											
大津市											
岐阜市											
長野市											
松本市											
上田市											
上諏訪町											
仙臺市											
鹽釜市											
福島市											
若松市											
郡山市											
平山町											
青森市											

水道名	臺數	名	稱	型	式	原動力	製造所名	工一臺ノ率	最大揚水落差	一臺ノ最大揚水量	備考
五所川原町											
山形市											
秋田市											
福島市											
金澤市											
高岡市											
鳥取市											
米子市											
松江市											
岡山市											
倉敷市											
広島市											
吳市											
尾道市											
福山市											
下関市											
宇部市											
和歌山市											
徳島市											

第四 唧筒 (其一) 取水唧筒

水道名	臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	工率ノ	最大揚水落差	一臺ノ最大揚水量	備考
高松市	二	二臺渦巻唧筒	電動機直結	電	同	二	七・九〇	四、二四〇	
		一臺タービン唧筒	同	同	日立製作所	三	一五・五	一、八〇三	
		一臺ポアール唧筒	電動機革掛	同	同	三	二・二	一、八〇三	
		一臺同	電動機直結	同	同	三	二・三	三、三〇九	
		一臺同	電動機直結	同	同	三	二・三	三、三〇九	
丸龜市	二	タービン唧筒	單段脈送型	電	氣西島製作所	三	三・〇〇	五、〇〇八	
宇和島市									
高知市									
福岡市									
久留米市									
門司市									
小倉市									
若松市									
大牟田市									
八幡市									
戸畑市									
飯塚市									
直方市									
別府市									

水道名	臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	工率ノ	最大揚水落差	一臺ノ最大揚水量	備考
中津市	三	復吸水離心動唧筒	電動機直結式	電	氣西島製作所	九	三・三	二、八三三	
佐賀市	五	空氣壓縮機タービン唧筒	横置式	電	常盤商事合資會社 日本電機鐵工株式會社	二五 四〇	一・五 一・三九	一、五三三 八〇一	取水送水兼用トス
熊本市	四	離心動唧筒	水平式二段	電	氣瑞西ブルツェル ラザール會社	一五	六・〇〇	八、四〇〇	
宮崎市									
鹿兒島市									
那覇市									
京城府	二	二臺低揚唧筒	セントフューガル電	同	氣浦賀船渠株式會社	四	一三・七	一五、三八八	
		一臺同	同式	同	英國ウオルシント	三	一三・三	一八、七二五	豫備
		一臺離心型唧筒	豎立復式機關	蒸	英國ウオルシント	二七	九・〇二	三、三三七	
		一臺離心型		蒸	氣浦賀船渠株式會社	七	一三・三	一五、五八三	各一臺宛豫備
		一臺離心型		重	油英國ラストン會社	五	一七・〇〇	四三、六三六	
群山府									
木浦府									
大邱府									
釜山府									
平壤府									
鎮南浦府									
新義州府									
元山府									
咸興府									
豐原町									

水道名	臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	工率	最大揚水落差	一臺一晝夜ノ最大送水量	備考
京都市	七	四臺タービン唧筒 三臺セントリフ 三臺ニューガル	タービン式	電	スイスエツシヤ ブルザー會社	二九 二〇	三・五 六・六	一八、三三 二、〇〇	蹴上ノ高區配水池ニ 揚水ノ爲使用 松ヶ崎配水池へ揚水 ノ爲使用
大阪市	三	六臺蒸氣タービ ン連結渦巻 唧筒 十二臺電動機直 結タービン 三臺同	離心型 シングルステージ 型	蒸 電	氣エツシヤエス社 日立製作所	一、〇三七 三三	五、〇〇 五、〇〇	一三、九一〇 二四、二四〇	
横濱市	九	三臺川上式水壓 機關 六臺タービン唧 筒	唧筒直動式 唧筒直結式	水 電	力川崎造船所 一臺三菱造船所 五臺荏原製作所	三三 九七 二、一五 二、一五	七、〇三 三、三三 二、二五 二、二五	中層及高層 中層 高層 高層 最高層	
名古屋市	一〇	一〇求心型唧筒	タービン式	電	氣 三臺荏原製作所 三臺芝浦製作所 三臺荏原製作所	三三 三三 三三	三、九一 三、〇〇	二、〇九四 一、〇四七 六、五三	
函館市	三	三三三タービン	ゐのくち式	電	氣荏原製作所	三三	五、〇〇	一五、四九〇	
小樽市	三	三タービン	一段式	電	カブルツァー會社	一五	二、一六	四、〇七一	
室蘭市	三	三高揚唧筒	二段タービン	電	氣西島製作所	三三	五、五〇	三、四一八	
八王子市	三	三タービン唧筒	横式二段	電	氣瑞西ブルツァー兄 弟社	一三	四、八七	八、四〇〇	

水道名	臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	工率	最大揚水落差	一臺一晝夜ノ最大送水量	備考
淀橋町	二	二タービン唧筒	ゐのくち式四時六	電	氣荏原製作所	一九	九、〇〇	一、三三六	取水兩用トス
青梅町	一	一臺タービン 一臺セントリフ 一臺ユーガル	離心型 同 同	電	氣三菱造船所 高岡鐵工所 ブルツァー會社	三三 三三 三三	一五、一〇 一五、一〇 二、一〇	九、二〇六 五、五〇三 五、四五〇	
青山町	七	一臺タービン 二臺ウオレント 一臺セントリフ 一臺ユーガル	離心型 横置式 離心型	蒸 ガソリン	氣 リチャムエス社 ツルツァー會社	二 二	一四、〇六 一四、〇六	三、八九九	
峯山町	八	四臺タービン 四臺トリフレツ クス	三相交流誘導電 動機	電	力 早川鐵工所 アポロ鐵工所 浦賀ドック株 式會社	四〇 三三 三三 二六	二四、八四 一八、四八 二四、八四 三九、六九	一、四〇〇 六、六 六、六 九、六〇	
川崎市	六	六高壓タービン唧筒	横置式	電	力荏原製作所	三三	四、一二	三、〇〇〇	
姫路市	三	三タービン唧筒	三段式	電	氣エツシヤエス	三三	四、八五	三、〇〇〇	
尼崎市	三	三二聯式タービン唧 筒	電動機直結横式單 段	電	氣 帝國機械製作所 荏原製作所 西島製作所	三三 三三 三三	三、一五 三、一五 一〇、四八	二、八〇五 一〇、四八 一〇、四八	
明石市	二	二タービン唧筒	電動機直結	電	氣 藤田礦業 西島製作所	三三	二、九四	三、八四六	
西宮市	二	二タービン唧筒	電動機直結	電	氣 藤田礦業 西島製作所	三三	二、九四	三、八四六	
高砂町	二	二八時複吸水タービ ン唧筒	直結式 クランプ、カッ プ、リング、カッ ルト掛	電	氣 西島製作所	三三	二、〇〇	三、五九七 二、四〇七	
豊岡町	二	二タービン唧筒	直結式	電	氣 西島製作所	三三	二、〇〇	三、五九七 二、四〇七	
長崎市	二	二タービン唧筒	直結式	電	氣 西島製作所	三三	二、〇〇	三、五九七 二、四〇七	
佐世保市	二	二タービン唧筒	直結式	電	氣 西島製作所	三三	二、〇〇	三、五九七 二、四〇七	

水道名	臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	工率ノ	最大揚水落差	一臺一晝夜ノ最大送水量	備考			
新潟市	三	コンクエラー	タービン	電	氣英國アレン會社	三	二元・七	六、三三				
長岡市	四	二臺八時タービン 二臺六時タービン	井ノ口式二段	電	氣荏原製作所	二臺五	四〇・〇〇	六、三二				
										二臺三	四〇・〇〇	三、六一
高田市	九	三臺六時タービン 二臺六時タービン 二臺八時タービン	井ノ口式單段 井ノ口式單段	電	氣荏原製作所	二臺二	二四・九	二、五〇〇				
										二臺二	四八・七六	二、五〇〇
										二臺二	二四・九	二、五〇〇
新發田町	二	二臺八時タービン 二臺六時タービン	井ノ口式單段	同	同	三	四・四六	四、二二	非常時使用			
										二	二、五〇〇	二、五〇〇
前橋市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七				
										二	三・七二	三・七二
高崎市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七				
										二	三・七二	三・七二
水戸市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七				
										二	三・七二	三・七二
宇都宮市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七				
										二	三・七二	三・七二
足利市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七				
										二	三・七二	三・七二
奈良市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七				
										二	三・七二	三・七二
津市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七				
										二	三・七二	三・七二
四日市市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七				
										二	三・七二	三・七二
桑名町	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七				
										二	三・七二	三・七二
豊橋市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七				
										二	三・七二	三・七二

水道名	臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	工率ノ	最大揚水落差	一臺一晝夜ノ最大送水量	備考
静岡市	二	タービン	タービン	電	氣荏原製作所	二	七〇・〇	七、〇〇	
濱松市	二	二臺八時タービン 二臺六時タービン	井ノ口式二段	電	氣荏原製作所	二	四〇・〇〇	六、三二	
伊東市	二	二臺八時タービン 二臺六時タービン	井ノ口式單段	電	氣荏原製作所	二	二四・九	二、五〇〇	
熱海市	二	二臺八時タービン 二臺六時タービン	井ノ口式單段	同	同	三	四・四六	四、二二	非常時使用
甲府市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
谷津市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
大津市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
岐阜市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
長野市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
松本市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
上田市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
上諏訪町	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
仙臺市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
鹽釜町	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
石巻市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
福島市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
若松市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
郡山市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
平森町	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
青森市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
五所川原町	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
山形市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	
秋田市	二	二臺七時タービン 二臺九時二段タービン	同	同	同	三	三・七二	四、八〇七	

水道名	臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	工一臺ノ	最大揚	一臺一晝	備考
福井市	四	送水唧筒	電動機直結高壓「タービン」	電力	獨乙シールメン スシユケルト 會社 瑞西「エツシヤ ウエス」會社	六	五・九〇	四、八八二	
金澤市	六	タービン唧筒	井ノ口式渦卷	電力	氣荏原製作所	四	三〇・三〇	四、四六六	
高岡市	一	タービン唧筒	直結式	電力	氣荏原製作所	五	二六・五六	八、三三八	
鳥取市	三	二臺電動機高壓タービン 一臺重油機關	吸排水口共水平型開放式 ラストン型	電力 重油	芝浦製作所 英國ラストン 社 ドホーンズビー 會社	四	五・〇〇	三、七〇二	電動機ノ内一臺ハ豫備重油機一臺ハ停電豫備
米子市	三	横軸電動「タービン」唧筒	二聯式	電力	三臺(電動機)芝浦製作所(ボ ンブ)スイス ズルザ 二臺(電動機)獨 乙シールメン (ポンプ)エツ シヤウエス會社	七	四・四五	八、〇二四	
岡山市	二	タービン唧筒	二聯式	電力	西島製作所	三	三・〇〇	二、四五〇	
倉敷市	六	渦卷ポンプ	横置式	電力	三臺(ポンプ)瑞西ズ ルザ (電動機)米國ゼ ネラルエレクト リック會社 (ポンプ)瑞西エ ツシヤウエス會社 (内燃機關)ディ ツ 發動機製造會社	三	五・九五	一四、二七二	
廣島市	二	渦卷唧筒	井ノ口式	電力	荏原製作所	一	五・九五	一四、二七二	

水道名	臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	工一臺ノ	最大揚	一臺一晝	備考
吳市	二	唧筒	四吋三段タービン	電力	氣荏原製作所	七	六・〇〇	一、一〇〇	
尾道市	三	タービン唧筒	一臺井ノ口式 二臺直結式	電力	氣荏原製作所 三菱製作所	七	五・六三	三、一〇六	
下關市	四	タービン唧筒	直結横軸	電力	氣荏原製作所	三	四・三三	二、九六六	
和歌山市	三	電動機直結タービン唧筒	四臺一段 四臺二段	電力	石川島造船所 神藤ポンプ製作所	二	六・九五	三、三〇〇	外ニ重油機關直結ポンプ一臺豫備
徳島市	二	タービン唧筒	二段懸送型	電力	西島製作所	二	四・〇〇	一、〇〇八	一基ハ豫備重油機關ハ豫備
丸龜市	四	高壓タービン唧筒	三臺直結單段式 一臺直結二段式	電力	氣荏原製作所	三	四・〇〇	一〇、〇〇八	
宇和島市	四	離心動タービンポンプ	電動機直結横置式	電力	力日立製作所	三	三・〇〇	六、五六六	濾過池ヨリ配水池迄揚水唧筒内一臺ハ豫備トス
久留米市	四	電動唧筒	二段タービンポンプ	電力	氣荏原製作所	三	七・〇〇	四、九六三	
門司市	二	渦卷唧筒	井ノ口式	電力	荏原製作所	二	六・〇〇	一四、〇〇〇	
小倉市	二	渦卷唧筒	井ノ口式	電力	荏原製作所	二	六・〇〇	七、〇〇〇	
若松市	二	渦卷唧筒	井ノ口式	電力	荏原製作所	二	六・〇〇	七、〇〇〇	
大牟田市	二	渦卷唧筒	井ノ口式	電力	荏原製作所	二	六・〇〇	七、〇〇〇	
八幡市	二	渦卷唧筒	井ノ口式	電力	荏原製作所	二	六・〇〇	七、〇〇〇	

水道名	臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	工一臺ノ	最大揚	一臺一晝	備考
關東連	一五	三臺タービン唧筒	二段式電動機直結式	電	スイスズルザー	三六	一〇九・〇九	二、〇〇〇	
大連	四	四臺タービン唧筒	電動機直結式	同	芝浦製作所	三〇	四五・四	四、三〇〇	
金州	二	タービン唧筒	電動機直結式	電	芝浦製作所	三三	三九・三九	七、〇〇〇	
旅順	二	タービン唧筒	三段電動機直結式	電	芝浦製作所	一〇四	六九・六〇	三、五〇〇	
貔子窩	二	直結タービン唧筒	直立タービン式	電	芝浦製作所	三〇	三・九四	一、二二六	
荒玉水道	六	二段タービン唧筒	電動機直結式	電	芝浦製作所	二九四	四・〇〇	二五、〇〇〇	
江村組合	七	電動機直結タービン唧筒	同	同	芝浦製作所	二二五	四八・七	二六、〇九	直送
町村組合	七	電動機直結タービン唧筒	同	同	芝浦製作所	二二五	四八・七	二六、〇九	

水道名	臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	工一臺ノ	最大揚	一臺一晝	備考
玉川水道	七	タービン唧筒	井ノ口式	電	芝浦製作所	三三	五九・〇〇	一、五〇〇	
湘南水道	二	タービン唧筒	井ノ口式	電	芝浦製作所	三三	五九・〇〇	一、五〇〇	
株式登山鐵道株式會社	二	二臺ウオシントン	蒸	蒸	芝浦製作所	三三	五九・〇〇	一、五〇〇	
瓦房店	四	一臺セントリヒ 一臺ユーガル 一臺タービン	蒸	蒸	芝浦製作所	三三	五九・〇〇	一、五〇〇	
熊岳城	二	ウオシントン	蒸	蒸	芝浦製作所	三三	五九・〇〇	一、五〇〇	
蓋平	二	ウオシントン	蒸	蒸	芝浦製作所	三三	五九・〇〇	一、五〇〇	
大石橋	四	タービン唧筒	二段SM横型 井ノ口式二段横 四段OM横型 (二臺)	電	芝浦製作所	三三	五九・〇〇	一、五〇〇	
海城	二	タービン唧筒	横型	電	芝浦製作所	三三	五九・〇〇	一、五〇〇	
鞍山	二	タービン唧筒	横型	電	芝浦製作所	三三	五九・〇〇	一、五〇〇	
遼陽	二	タービン唧筒	横型	電	芝浦製作所	三三	五九・〇〇	一、五〇〇	